HITACHI
Inspire the Next

# 取扱説明書 - 詳細版 -

## 液晶プロジェクター

# CP-D30NJ

## (形名 CP-D30N)

**このたびは弊社の液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。**

はじめに　ご使用の前に、本機の取扱説明書（「かんたんガイド」および本書）をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は大切に保管してください。
この製品には保証書が添付されています。内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

# 《本機の特長》

本機には以下のような特長を備えており、幅広い用途でご活用いただけます。

- 本機は、独自の光学システムにより、非常に近い距離からの大画面投写を実現した短投写距離プロジェクターです。本機は、設置に場所を取らずに大画面映像を表示することができます。
- 本機は、さまざまなビジネスシーンをカバーする多様な入出力端子を備えています。
  HDMI 端子は、デジタル信号による高品位の映像をご利用いただけます。
- ２層式のエアーフィルターは頻繁なお手入れの手間を省き、長くご使用いただけます。
- 本機は、LAN に接続して本機の状態をモニターしたり制御することができます。
- メーカ間を超えた高い相互接続性を実現する、PJLink™ に対応しています。PJLink™ はデータプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。
  詳しくは PJLink™ の web サイトをご参照ください。
  URL: http://pjlink.jbmia.or.jp/ （2010 年 6 月現在）

# 《本書について》

以下をご参考に本書をご活用ください。

① 見出し：奇数ページの右端に記載されています。

② 📖：このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。

③ お知らせ ：本機や接続する機器などに関する参考情報を記載しています。

**お知らせ**

- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。

# 《本書の構成》

本機の取扱説明書 - 詳細版 - は、基本編、応用編、ネットワーク編および技術情報編の４編に分かれています。

# 取扱説明書 - 詳細版 -

## 液晶プロジェクター

# CP-D30NJ（形名 CP-D30N）

# 【基本編】

この基本編では、基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。

| ⚠ 警告 | ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。 |
|---|---|

## もくじ

# はじめに

## 正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

**⚠警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

**⚠注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

**「注意」を示します。**
この記号の後に続けて「気をつけなければならない」ことを記載しています。

 「破裂注意」

 「感電注意」

 「高温注意」

**「禁止」を示します。**
この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。

 「分解禁止」

 「水ぬれ禁止」

 「ぬれ手禁止」

**「強制」を示します。**
この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。

 「電源プラグをコンセントから抜け」

 「アース線を必ず接続せよ」

**お守りください**

本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。

# 使用上のご注意

基本編

## ⚠警 告

### 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
**次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。**
▶煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。
▶内部に異物や液体（金属や水）が入った。
▶落とした、強い衝撃をあたえた。
▶本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。
**電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。**
**お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。**

### 子どもやペットに注意する

誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。
お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には十分ご注意ください。

### 異物や液体を入れない

電源プラグをコンセントから抜け

火災や感電の原因となります。
**万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。**
▶花瓶、コップ、化粧品、薬品などの液体の入ったものや、ぬれた雑きんなどを、本機の上や近くに置かないでください。
▶クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かないでください。
▶付属品、信号ケーブル、信号アダプタ以外のものを、本機と一緒に箱やケースに入れないでください。

### 分解しない、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。
▶本機のキャビネットや付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。
▶本機や付属品を加工しないでください。
▶内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。
▶ランプ、ランプカバー、フィルターユニットなどの部品を外した状態で使用しないでください。

### 衝撃をあたえない

電源プラグをコンセントから抜け

ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。
**万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。**
▶移動するときは電源コードや信号ケーブルの接続を外し、レンズカバーを取り付けてください。
▶アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。
▶修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用ください。

# ⚠警 告（つづき）

## 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

▶ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。

▶キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。

▶アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。（📖1-31）

▶前面、側面、背面を下にして置かないでください。

▶天吊り ( 天井設置 ) など特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。

▶天吊り ( 天井設置 ) など特殊な設置は指定の器具をご使用ください。

## 油を使用する場所に置かない

油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。
また、プラスチックの劣化により、天井設置からの落下など、けがの原因となります。

▶調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。

## 高温に注意する

本機の使用中、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。

▶使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、ランプカバーに触れたりしないでください。

▶排気口の近くにリモコンなどの物を置かないでください。

▶金属の台など、熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。

▶使用後に本機を移動する場合は、本機を十分冷ましてから行ってください。

## ぬらさない

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。
水を掛けたり、水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください。

▶風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。

▶海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。

▶水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

## レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。
視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

## 電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。

基本編

# ⚠警 告（つづき）

## 指定の電源電圧で使用する

指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。必ず、本体に表示されている指定電圧、**交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。**

## 電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタを傷つけない

損傷のある電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。
▶本機など、重い物を載せないでください。
▶ヒーターや本機の吸気口、排気口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。
▶コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。
▶投げたり、ひきずったりしないでください。
▶加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

## ぬれた手で電源を接続したり外したりしない

ぬれ手禁止

感電の原因となります。
ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。

## 電源プラグは付着物をふき取ってから使用する

本機の電源端子や電源コード、電源アダプタのプラグ（刃）部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。
必ず接続の前に、乾いた布などで取り除いてください。

## 電源プラグは根元まで確実に差し込む

電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。
電源コードや電源アダプタを接続するときは、根元まで確実に差し込んでください。
▶ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。

## アース線を必ず接続する

アース線を
必ず接続せよ

アース線を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。
本書の「電源に接続する」（📖**1-24**）に従って、正しく接続してください。
▶２つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。
▶アース線を接続するときは、電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。
▶アース線を外すときは、先に電源アダプタをコンセントから抜いてから外してください。

## アース線をコンセントに差し込まない

アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。
アース線はアース端子以外には接続しないでください

## お手入れするときは電源プラグを抜く

電源プラグを
コンセント
から抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。
お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
必ず本書の「点検とお手入れ」（📖**1-35 ～ 41**）をお読みになり、正しくお手入れしてください。

# 警 告（つづき）

## ランプユニットの取扱いに注意する

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプユニットの取扱いを誤ると、やけどの原因となったり、破裂してけがなどの原因となります。
**万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。排気口などから水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが出ることがあります。十分換気し、吸い込んだり、目や口から入らないようにご注意ください。万一、入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。**内部にはガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。

破裂注意

高温注意

▶必ず本書の「ランプについてのご注意」（📖1-35）、「ランプの交換方法」（📖1-36）をお読みになり、指定のランプを正しくご使用ください。
▶本機の仕様に合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。
▶使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となりやけどの原因となります。ランプの交換は電源を切ってプラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてから行ってください。
▶ランプに衝撃をあたえたり、傷つけたりしないように、丁寧に取り扱ってください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

## 電池の取扱いに注意する

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいのでお子様やペットが飲み込むおそれがあります。
**万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。**
**液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。**

破裂注意

▶交換するときは指定のタイプ（📖1-22,1-39）の新しい ( 未使用 ) 電池を使用してください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い ( 使用した ) 電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。傷のある電池は使用しないでください。
▶電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
▶リモコンを長時間使用しない場合はリモコンから電池を取り出して保管してください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
▶子どもやペットが届かないところに保管してください。
▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

# ⚠注 意

## 重い物を載せたりぶら下げたりしない

不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。
▶本機の上に乗ったり、重い物を載せたりしないでください。
▶本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

## 湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。また超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。
湿気やほこりの多いところには置かないでください。
▶海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
▶調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。
▶喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。

## 高温になるところに置かない

内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。
温度が高くなるところには置かないでください。
▶直射日光の当たるところ、ヒーターやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。
▶本機や付属品を電子レンジに入れないでください。

## 通風口をふさがない

通風が正常に行われないと内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。
▶風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
▶吸気口、排気口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
▶布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
▶布や紙などの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

## エアーフィルターを定期的にお手入れする

エアーフィルターがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。
▶必ず本書の「エアーフィルターを掃除／交換する」（📖**1-37**）をお読みになり、指定のエアーフィルターを正しくご使用ください。
▶エアーフィルターは定期的にお手入れしてください。
▶エアーフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

# ⚠注 意（つづき）

## LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する

ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。

## 磁気を発生するものを近づけない

本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。
▶付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

## 使用しないときは電源プラグを抜く

電源プラグを
コンセント
から抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。
長時間ご使用にならない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

## 落雷のおそれがあるときは使用しない

電源プラグを
コンセント
から抜け

火災や感電の原因となることがあります。
落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください。

## 年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。
年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。
▶お客様による内部のお手入れは危険ですので絶対におやめください。
▶内部のお手入れは、湿気の多くなる梅雨期の前が効果的です。

## CD-ROM の取り扱いに注意する

取扱説明書 CD-ROM は、ケースに入れて大切に保管してください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

# お守りください

### リモコンに衝撃をあたえないでください
破損や故障の原因となることがあります。
▶リモコンを投げたり落としたりしないでください。
▶上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

### リモコンをぬらさないでください
故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。
▶水を掛けたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

### リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください
リモコン送信の障害となって、リモコンが利かないことがあります。

### レンズを傷つけないでください
破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。
▶使用しないときはレンズカバーを取り付けてください。
▶レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）をご使用ください。

### レンズに何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください
高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。

### レンズに直接手を触れないでください
レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

### 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください
リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

### 電波を発生するものを避けてください
本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。携帯電話やトランシーバなどは本機から離れて使用ください。

## お守りください（つづき）

### 電源は正しい手順で切ってください
正しい手順をふまずに電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めたり、投写ランプがつきにくくなることがあります。非常時を除き、電源は決められた手順（📖1-27）で切ってください。
- ▶停電やシャットダウンスイッチの使用などによって、正しい手順をふまずに電源を切った（切れた）場合は、電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

### 電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください
接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

### キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて
取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。
お手入れは正しい方法（📖1-40）で行ってください。
- ▶ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
- ▶ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
- ▶スプレーは使用しないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。
- ▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

### 長時間見るときは、ときどき目を休めてください
長時間連続して画面を見ると目が疲れます。
ときどき画面から離れて目を休めてください。

### 梱包材は大切に保管してください
修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

## お知らせ

### ●本機の特性について
本機は、短投写距離を特長としており、以下のような特性をもっています。予めご了承ください。
- ▶ロールアップ式スクリーンなど、投写面がたわんだり揺れたりするスクリーンでは、投写映像に大きな歪みが生じるため、ご使用になれません。ボード式スクリーンなど、平板な面へ投写してご使用ください。
- ▶スクリーンゲインの高いビーズタイプは適していません。ゲイン 1.0 程度の広視野角タイプ（マットタイプ）を推奨します。
- ▶スクリーンの織目と液晶画素の干渉縞 ( モアレ) が発生する場合があります。故障ではありません。モアレ発生を抑えたスクリーンをご使用ください。
- ▶本機の位置や高さが僅かでも変化すると、投写映像は大きく移動したり、歪みが生じたりします。
- ▶本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面が歪んだり、フォーカスが変動することがあります。ランプが点灯してから性能が安定するまでの約 30 分程度は、特に変化が生じ易くなりますので、必要に応じて確認と再調節を行ってください。
- ▶フォーカスを調節すると、画面上部のサイズが変化します。画面の位置や角度を調節する前に、フォーカス調節を行ってください。

### ●映像特性について
- ▶本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面（スクリーンや壁面など）の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやコンピュータのモニターとは異なることがありますが、故障ではありません。
- ▶偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

お知らせ （つづき）

### ●寿命部品について

光学部品（ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS（Polarized Beam Splitter)、コントラストアップフィルム）および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日6時間以上ご使用になる場合は、1年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また6時間以上連続してご使用になったり、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶ランプが点灯してから短い時間のうちに電源を切らないでください。また電源を切った後10分間は電源を入れないでください。電源の入れたり切ったりを、高温状態で行ったり、短い時間に続けて行ったりすると、ランプが不点灯となったり、ランプの寿命を縮める原因となります。

### ●液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様（📖1-42）と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

### ●輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点（光ったままの点）や黒点（光らない点）が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

### ●本機内部からの音について

本機を、ゆすったり動かしたりすると中からカタカタという音が聞こえるときがあります。これは、本機の設置姿勢に合わせて中で空調の切り替えを行うフラップが動くためで故障や不具合ではありません。

### ●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。
本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

### ●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの速度を制御する機能を備えています。

周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、冷却ファンの回転騒音も大きくなります。

### ●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効（LCDとCRTの同時表示またはCRTの設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

### ●セキュリティ・スロット／バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

### ●この製品（付属品を含む）は日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。
This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

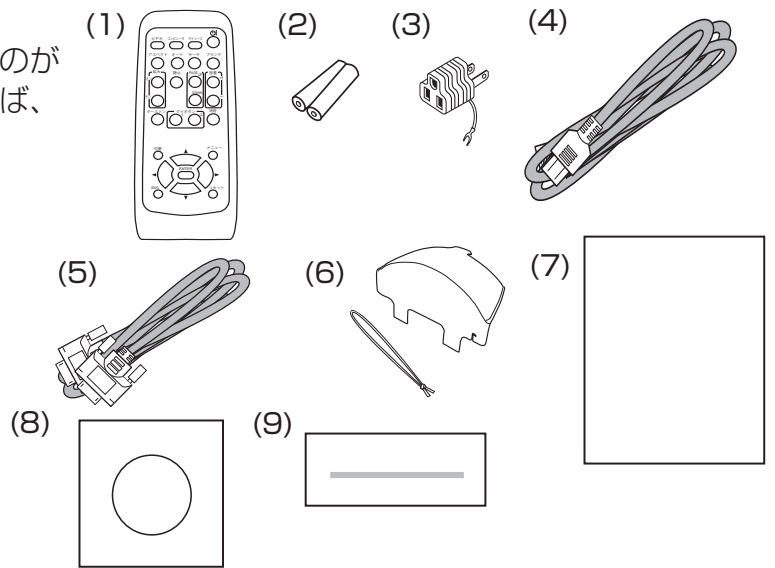
### ●電源高調波について

高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第3-2部 : 限度値 - 高調波電流発生限度値 (1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

# 付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品には
プロジェクター本体（本機）の他に、以下のものが
含まれています。万一不足しているものがあれば、
すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

(1) リモコン
(2) 単３型乾電池× 2 個（リモコン用）
(3) 電源アダプタ
(4) 電源コード
(5) コンピュータケーブル
(6) レンズカバー、ひも
(7) 取扱説明書かんたんガイド
(8) 取扱説明書 - 詳細版 -(CD-ROM)
(9) 保証書

## ⚠警 告

●**不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない**

●**電源コードや信号ケーブルを傷つけない**
本機など、重い物を載せないでください。

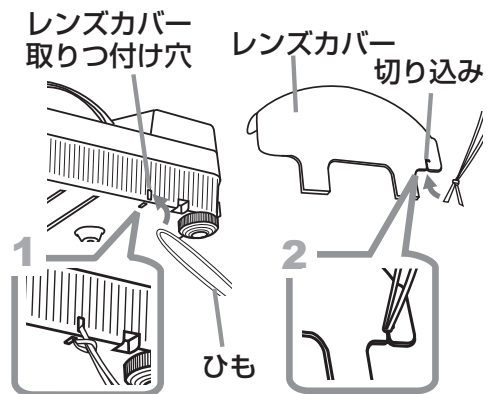
●**電池の取扱いに注意する**
子どもやペットが届くところに放置しないでください。

## お守りください

●梱包材は大切に保管してください。
修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

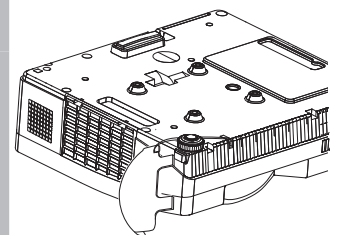
# レンズカバーを取り付ける

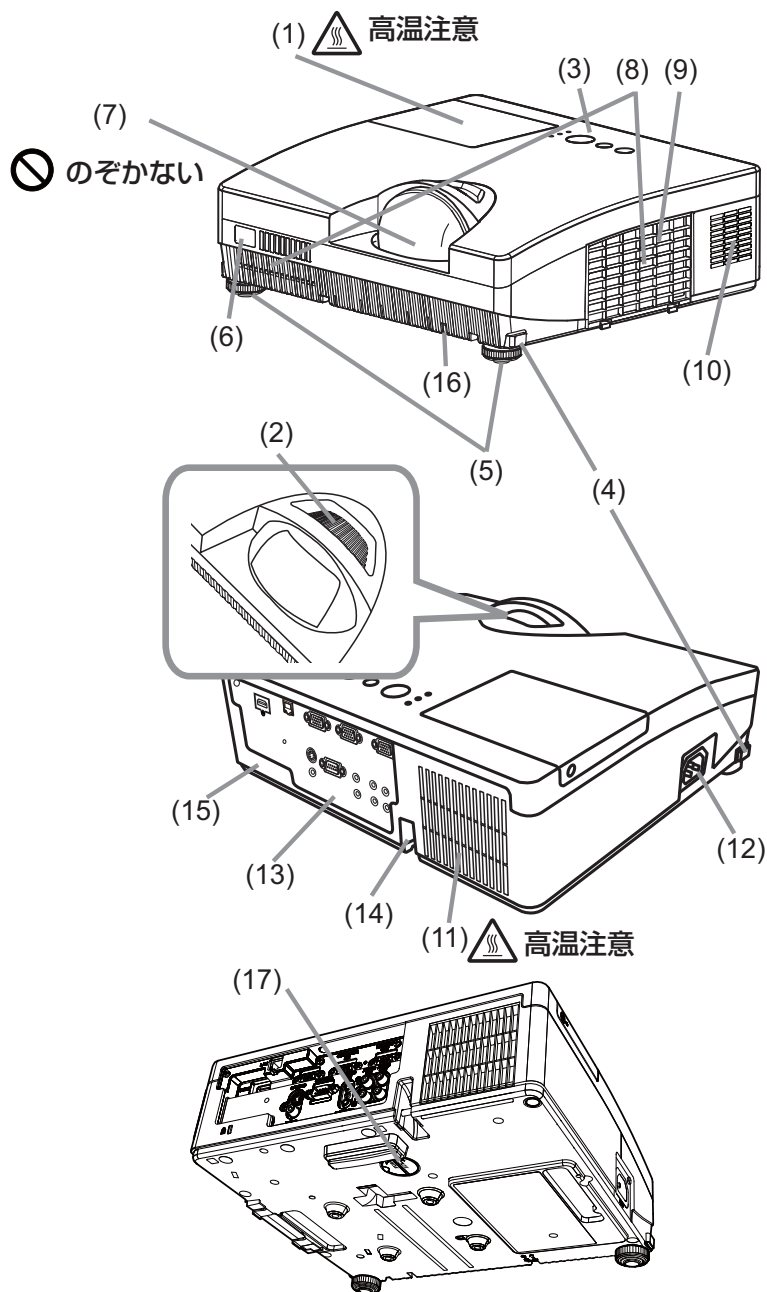
レンズカバー
取りつ付け穴
レンズカバー
切り込み
1
2
ひも

紛失防止のため、レンズカバーは本体に取り付けてご使用ください。
1．右図の 1 のようにレンズカバー取り付け穴にひもを固定してください。 ひもにある結び目はレンズカバーにひもを固定するのに使用します。
2．結び目がレンズ側になるようにレンズカバーの切り込みにひもの結び目を入れてください。ひもは切り込みの端まで挿入してください。

## お守りください

●プロジェクターを天吊りで使用する場合はレンズの前にレンズカバーをつるさないでください。レンズカバーがプロジェクターからの光を遮ったり、レンズに当り故障の原因となることがあります。 プロジェクターを天吊りで使用する場合はレンズカバーをプロジェクターの側面に掛けるか、またはプロジェクターの上に置いてください。 例えば、右の図のようにアジャスタ脚にひもを巻きつけてレンズカバーを掛けてください。

# 各部の名称

基本編

## プロジェクター（本機）

(1) ランプカバー (📖1-35,36)
　この内側がランプケースです。
　ランプが取り付けられています。
(2) フォーカスリング (📖1-31)
(3) 操作パネル (📖1-14)
(4) アジャスタボタン（× 2）(📖1-31)
(5) アジャスタ脚 ( × 2)(📖1-31)
(6) リモコン受光部 (📖1-23)
(7) レンズ (📖1-40)
(8) 吸気口
(9) フィルターカバー (📖1-37)
(10) スピーカー (📖1-28)
(11) 排気口
(12) 電源端子 (📖1-24)
(13) 端子パネル (📖1-14)
(14) セキュリティ・バー (📖1-21)
(15) セキュリティ・スロット (📖1-21)
(16) レンズカバー取り付け穴 (📖1-12)
(17) 電池 カバー (📖1-39)

### ⚠警 告

●衝撃をあたえない
**アジャスタ脚**は、本体を落とさないように持った状態で操作してください。

●レンズをのぞかない
**本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。<u>視覚障害</u>などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。**

●高温に注意する
使用中や使用後しばらく、**排気口**に近づいたり、**ランプカバー**に触れたりしないでください。

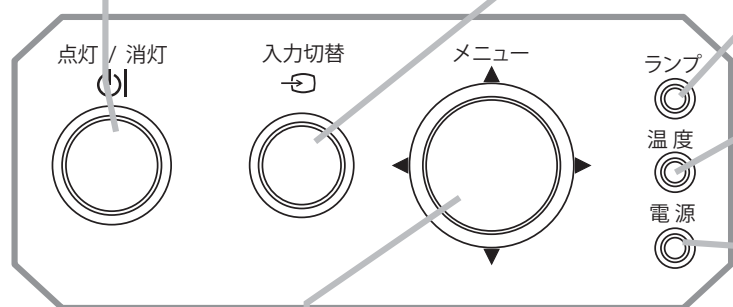
## 操作パネル

**点灯／消灯ボタン**（📖1-24,27）
ランプの点灯 / 消灯（スタンバイ）を切り替えます。

**入力切替ボタン**（📖1-29, 2-12）
映像信号を切り替えます。

**ランプ インジケータ**（📖4-29）
本機のランプの状態についてお知らせします。

**温度 インジケータ**（📖4-29）
本機内部の温度状態についてお知らせします。

**電源インジケータ**（📖1-24,1-27,4-29）
本機の電源の状態をお知らせします。

**メニュー ボタン**（▲/▼/◀/▶ **カーソルボタン**）（📖2-2）
メニュー画面を表示します。（メニューを操作します。）

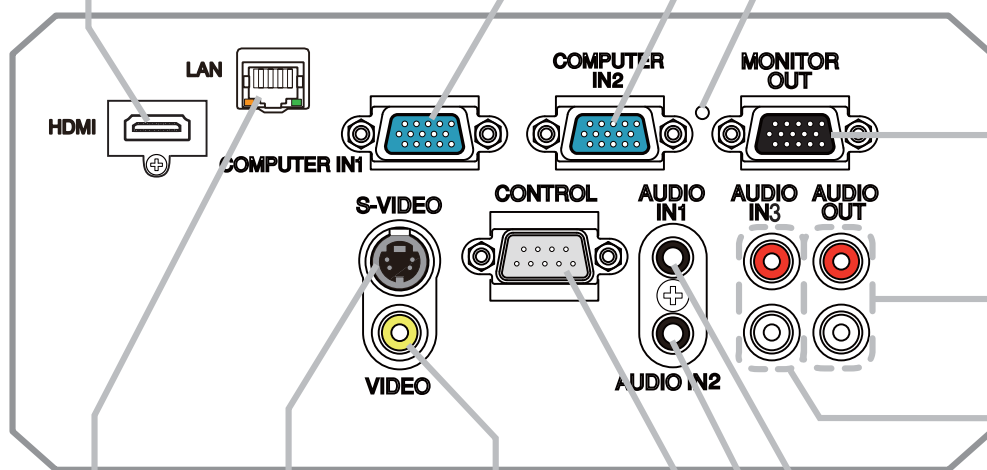
## 端子パネル

**HDMI 端子**
DVD プレーヤなどからのデジタル映像／音声信号の入力端子です。

**COMPUTER IN1 端子** コンピュータからの映像信号の入力端子です。

**COMPUTER IN2 端子**

**シャットダウンスイッチ**（📖4-31）
本機を強制終了するためのスイッチです。

LAN
HDMI
COMPUTER IN1
COMPUTER IN2
MONITOR OUT
S-VIDEO
CONTROL
AUDIO IN1
AUDIO IN3
AUDIO OUT
VIDEO
AUDIO IN2

**MONITOR OUT 端子**
映像信号の出力端子です。

**AUDIO OUT (R, L) 端子**
音声信号の出力端子です。

**AUDIO IN3 (R, L) 端子**
音声信号の入力端子です。

**AUDIO IN1 端子**
**AUDIO IN2 端子**
音声信号の入力端子です。

**S-VIDEO 端子**　**VIDEO 端子**
ビデオ／ DVD プレーヤなどからの映像信号の入力端子です。

**LAN 端子**
ネットワークへの接続端子です。

**CONTROL 端子**
コンピュータなどから制御する端子です。

## お守りください

●**電源は正しい手順で切ってください**
シャットダウンスイッチは、正しい手順で電源を切れない場合にだけご使用ください。シャットダウンスイッチで電源を切ったときは、放置して十分冷ましてください（📖4-31）。

# リモコン



前面

**コンピュータボタン** (📖1-29)
COMPUTER IN1/2、HDMI 端子からの映像信号を選択します。

**ビデオボタン** (📖1-29)
VIDEO 端子、S-VIDEO 端子からの映像信号を選択します。

**アスペクトボタン** (📖1-30)
表示画面の縦横比を設定します。

**オートボタン** (📖1-32)
画面の自動調整を行います。

**拡大オン / オフボタン** (📖1-33)
画面の拡大オン / オフを行います。

**静止ボタン** (📖1-34)
一時的に表示画面を静止させるときに使用します。

**キーストンボタン** (📖1-33)
画面の台形歪みを補正します。

**PAGE UP/DOWN ボタン**
本機では使用しません。

**位置ボタン** (📖1-32)
画面の位置を調節します。

**ESC ボタン** (📖2-2)
メニュー画面の操作などに使用します。

**マイソースボタン** (📖1-29,2-29)
このボタンに登録した端子からの映像信号を選択します。

**点灯／消灯ボタン** (📖1-26,1-27)
ランプの点灯 / 消灯（スタンバイ）を切り替えます。

**サーチボタン** (📖1-30)
本機に入力されている映像信号を検索します。

**ブランクボタン** (📖1-34)
一時的に画面を消す時に使用します。

**音量 ＋ / －ボタン** (📖1-28)
音量を調節します。

**消音ボタン** (📖1-28)
音声をオン／オフします。

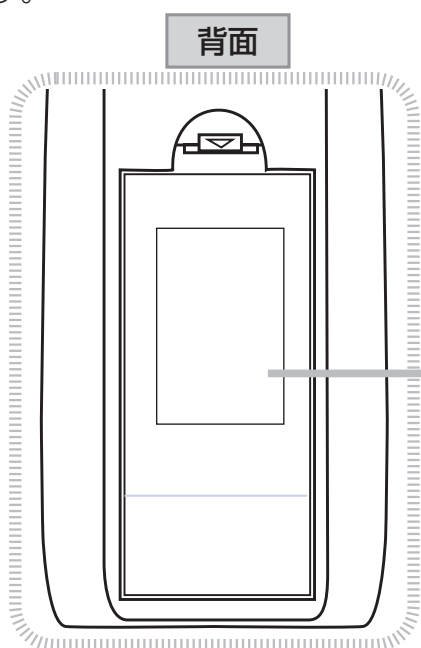
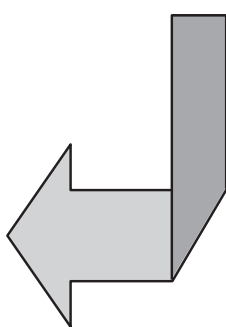
**マイボタン 1/2** (📖2-28)
機能を設定してご使用になれます。

**メニューボタン** (📖2-2)
メニュー画面を表示します。

**カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタン** (📖2-2)

**リセットボタン** (📖2-2)

**ENTER ボタン** (📖2-2)
メニュー画面の操作などに使用します。

背面

**電池カバー** (📖1-22)
内側に電池ケースがあります。
電池の取り扱いには注意してください。

**お知らせ**

●リモコンの各機能は、信号などの条件によって動作が異なる場合があります。
詳しくは、各参照ページをお読みください。

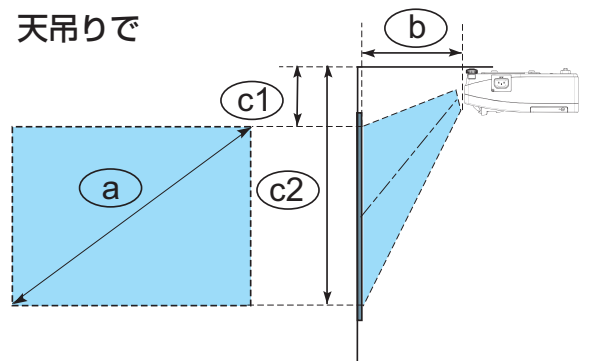
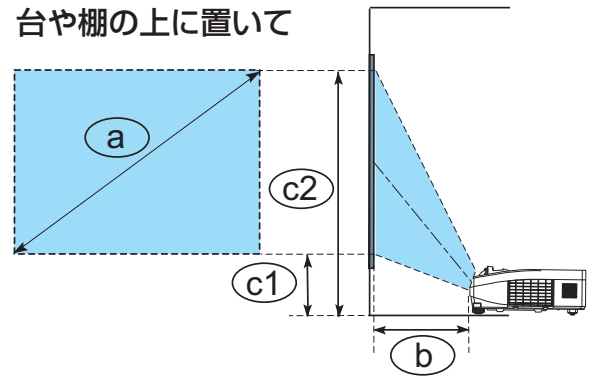
# 準備・設置

## 設置する

本機は、高温、湿気、ほこりや直射日光を避け、安定した涼しい場所に設置してください。ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置を決めてください。
プロジェクターとスクリーンの距離については下表をご参照ください。下表の数値はフルスクリーン (1024 × 768) の場合の参考値です。

ⓐ 画面サイズ ( 対角寸法 ) ⓑ 投写距離
ⓒ1, ⓒ2 スクリーン高さ

**台や棚の上に置いて**

**天吊りで**

| スクリーンサイズ ⓐ ( 対角寸法 ) | | 投写距離 ⓑ | | スクリーン高さ ⓒ1 | | スクリーン高さ ⓒ2 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 型 ( インチ ) | m | m | インチ | m | インチ | m | インチ |
| 60 | 1.5 | 0.595 | 23 | 0.157 | 6 | 1.071 | 42 |
| 70 | 1.8 | 0.704 | 28 | 0.172 | 7 | 1.239 | 49 |
| 80 | 2.0 | 0.814 | 32 | 0.187 | 7 | 1.407 | 55 |
| 90 | 2.3 | 0.923 | 36 | 0.203 | 8 | 1.574 | 62 |
| 100 | 2.5 | 1.033 | 41 | 0.218 | 9 | 1.742 | 69 |

## ⚠警 告

電源プラグをコンセントから抜け

**●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く**
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

高温注意

**●高温に注意する**
熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。

分解禁止

**●分解しない、改造しない**
本機や付属品を加工しないでください。

**●衝撃をあたえない**
アジャスタ脚は本体を落とさないようにしっかり支えた状態で操作してください。

**●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない**
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。
キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。
アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。
設置器具の指定品をご使用になり、天吊り ( 天井設置 ) などの特殊な設置は、必ず販売店にご依頼ください。

## ⚠警 告（つづき）

**●ぬらさない、ぬれる場所に置かない、油煙の当たるところに置かない**
風呂場やシャワー室、調理台のある場所や機械油などを使用する場所などに置かないでください。海や川、プールなどの水辺の近くや屋外には置かないでください。
水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

## ⚠注 意

**●湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない**
調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。
特に超音波式加湿器などの近くでは、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、画像劣化や故障などの原因となることがあります。
喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。

**●高温になるところに置かない**
直射日光の当たるところ、ヒーターやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。

**●通風口をふさがない**
風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
布や紙、テーブルクロスなどの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

**●磁気を発生するものを近づけない**
付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

## お守りください

●設置の際は、本機とスクリーンとの間に障害物がないことをよく確認してください。
●本機と壁などとのスペースを 30cm 以上とってください。
●設置器具は指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
●セキュリティ・スロット／バーを落下防止用に使用する場合は、販売店にご相談ください。
●光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。
●電波を発生するものを避けてください。

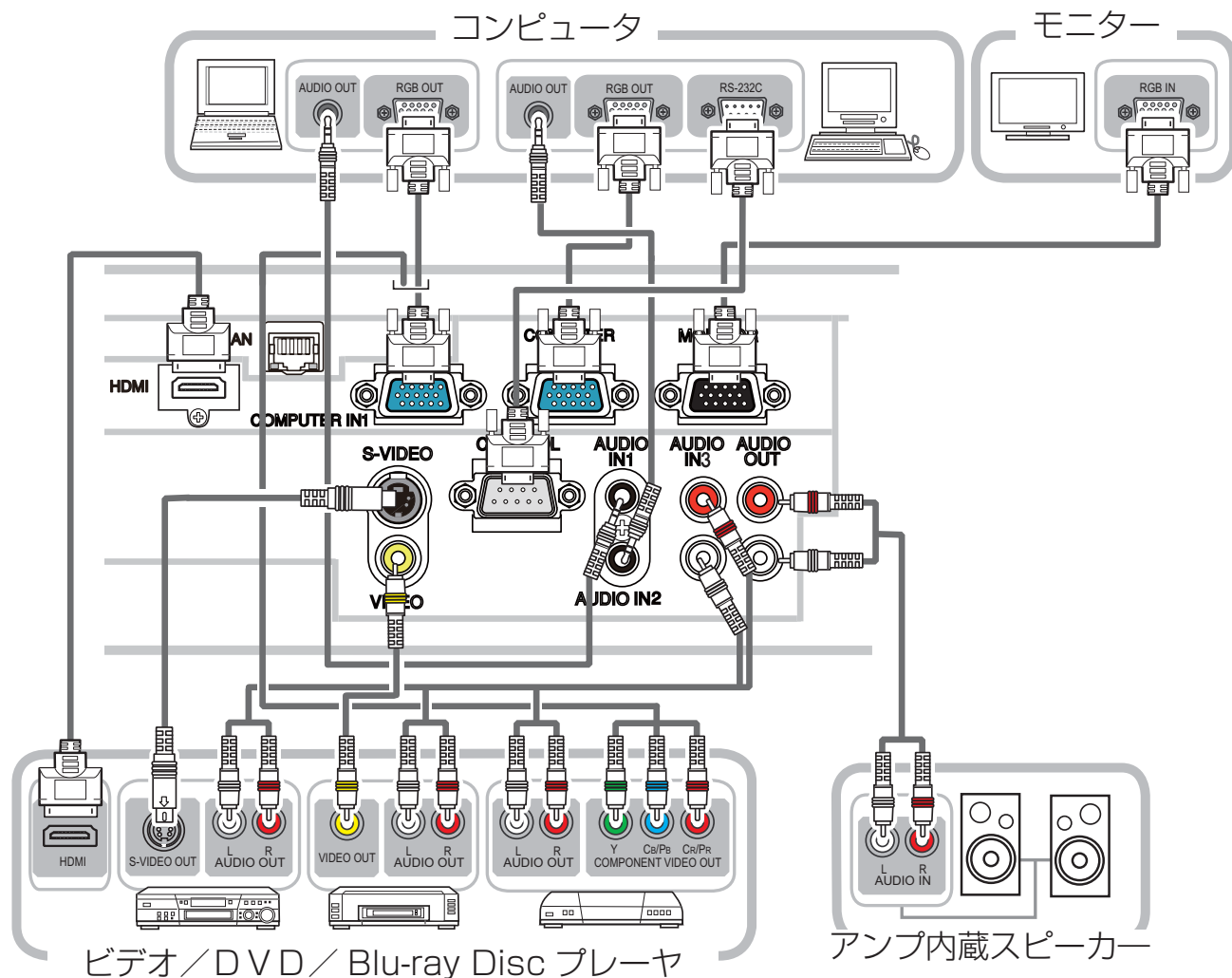
**お知らせ**

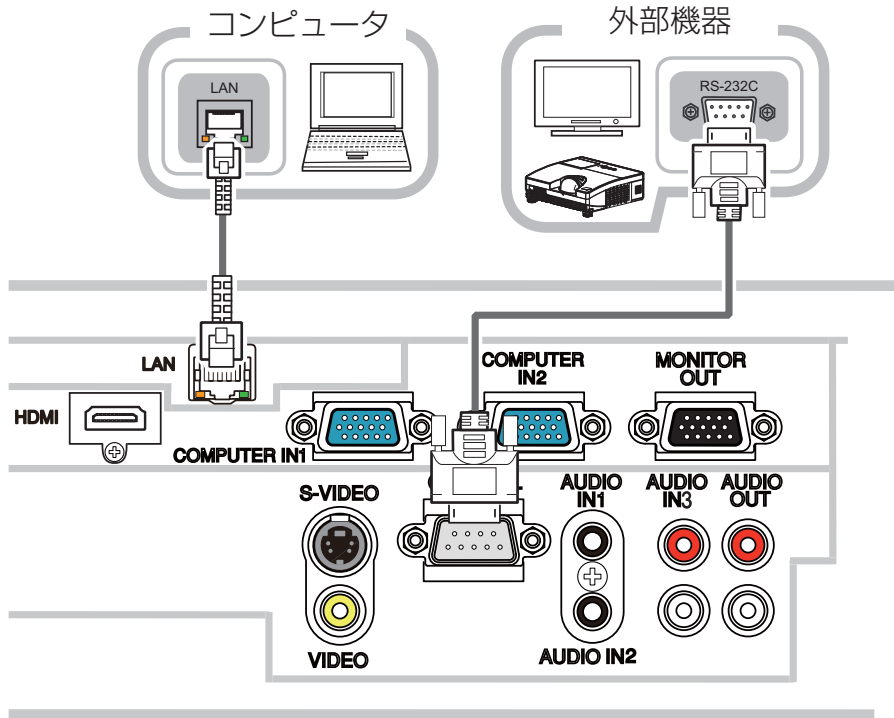
●天吊り設置にすると、本機はプラスチック製のため、映像表示位置が変わることがあります。
再設定が必要な場合は、販売店または業者にお問い合わせください。
●製品には個体差があります。表の数値には誤差（± 8%）が生じることがありますので、設置の際にはご注意ください。
●リモコン受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
この場合には本機の位置を調節してください。

# 他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプタが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。

解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプタを準備してください。本機の端子形状は「入出力信号端子」（📖4-4 ～ 8）をご覧ください。本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、以下の図をご参考に接続を行ってください。

COMPUTER IN1/2 端子にコンポーネントビデオ信号を入力するには、「COMPUTER IN 端子へのコンポーネントビデオ信号の入力について」（📖4-5）をご覧ください。

本機のネットワーク機能をご利用になるには、本機の LAN 端子をコンピュータの LAN 端子に接続してください。また、ネットワークブリッジ機能をご利用になるには、さらに本機の CONTROL 端子を、ネットワーク端末としてご使用になる外部機器の RS-232C 端子に接続してください。
本機のネットワーク機能についての詳細は、「ネットワーク編」をご参照ください。

## ⚠警 告

**●分解しない、改造しない**
本機や付属品を加工しないでください。

**●信号ケーブルやコネクタを傷つけない**
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

**●信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する**
本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の信号ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ、適切なものをご使用ください。

## ⚠注 意

**●接続するときは電源プラグを抜く**
接続作業は、本機や接続する機器の電源を切って行ってください。本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

## お守りください

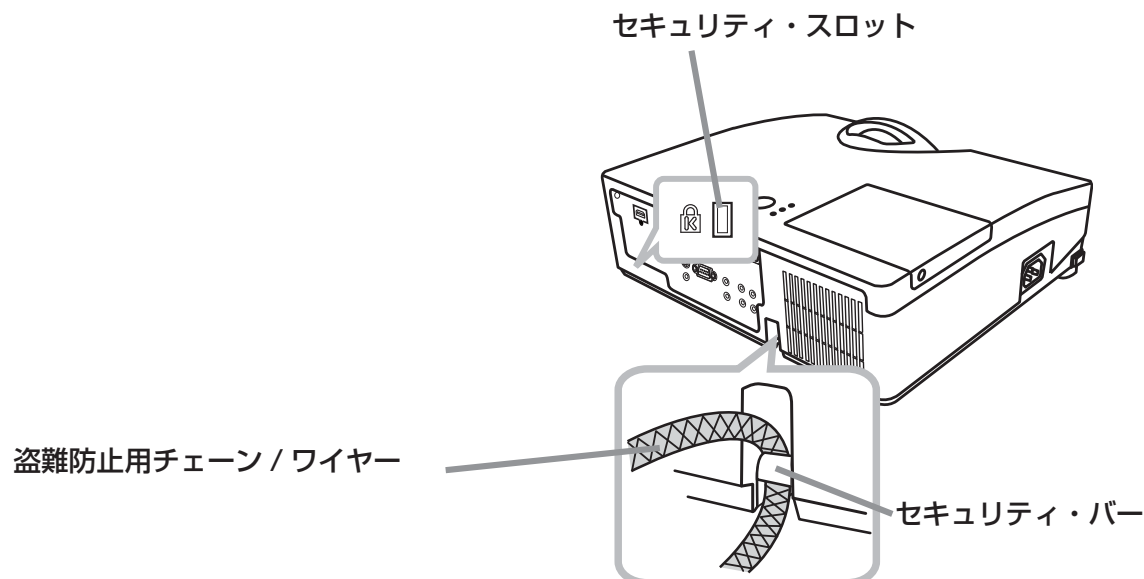
●接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。正しく接続されていないと本機や接続される機器の故障の原因になります。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
●本機の各接続端子は凹んでいるので、L 形ではなく、ストレート形プラグのケーブルを使用してください。
● LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。

### お知らせ

●ノートパソコンや、ディスプレイ一体型コンピュータなどと接続する場合は、RGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT の同時表示または CRT の設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコン、ディスプレイ一体型コンピュータの説明書をご覧ください。
●入力信号によっては、本機の自動調整機能（📖1-32）が正しく働かなかったり、映像を表示できなかったりすることがあります。また複数の表示モードを持っているコンピュータでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。あらかじめご確認ください。
●コンピュータ上で解像度を切り替えるとき、本機の自動調整機能が正常に動作しなかったり通常より時間が掛かったりすると、解像度切替えのための画面表示が確認できず、もとの解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。
●本機は UXGA(1600 × 1200) 信号まで表示できますが、信号処理の過程で本機の液晶パネルの解像度 (1024 × 768) に変換しています。映像品質は入力信号と本機のパネルの解像度が同じときに最良です。
●本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機を VESA DDC（Display Data Channel）対応のコンピュータに接続してご使用になると、プラグ & プレイを実現できます。
※プラグ & プレイは、コンピュータと、表示装置などの周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。
　・本機の COMPUTER IN1 端子とコンピュータを付属のコンピュータケーブルで接続してご使用ください。
　・本機は「プラグ＆プレイ・モニター」として認識されます。このとき、ディスプレイドライバは　標準のものをご使用ください。
　・接続するコンピュータによってはプラグ＆プレイが動作しない場合があります。
●本機の HDMI 端子は HDCP（High-bandwidth Digital Content protection）に対応しています。HDCP 対応の DVD プレーヤなどのビデオ信号を表示することができます。
●本機は、以下の HDMI 信号に対応しています。
　・ビデオ信号　：480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60
　・コンピュータ信号：「コンピュータ信号について」（📖4-2, 3）をご参照ください
●本機は、HDMI および DVI 対応機器に接続することができますが、機器によっては映像が映らない、音声が出力されないなど、正常に動作しない場合があります。
● DVI 対応機器を本機に接続する場合は、DVI-HDMI 変換ケーブルで本機の HDMI 端子に接続してください。
● HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ付きのものをご使用ください。

# セキュリティ・スロット／バーを使う



本機は、市販の盗難防止用ロックをご使用になるためのセキュリティ・スロットと、盗難防止用ワイヤーやチェーンをご使用になるためのセキュリティ・バーを備えています。
セキュリティ・バーには直径 10mm までのワイヤーまたはチェーンを取り付けることができます。
詳細はご使用になる盗難防止用ロック、盗難防止用チェーン / ワイヤーの説明書をご覧ください。

## お守りください

●盗難防止用チェーン / ワイヤーは、高温になりますので排気口に近づけないでください。
●セキュリティ・スロット／バーを落下防止用に使用する場合は、販売店にご相談ください。

### お知らせ

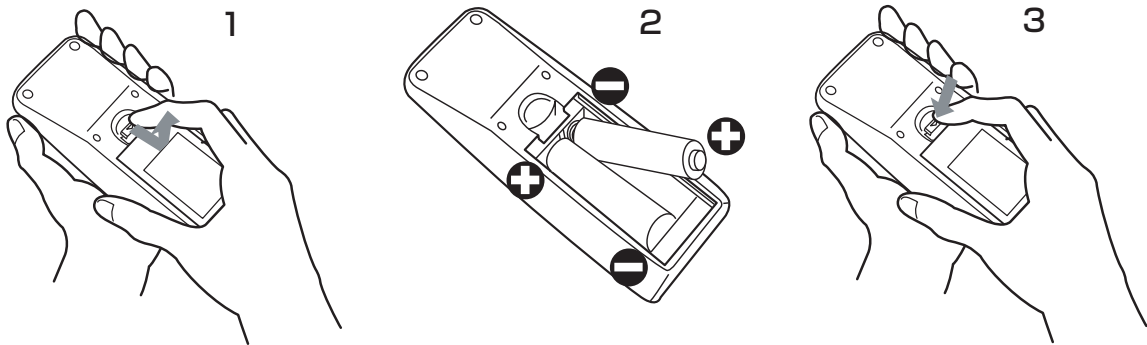
●本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

# リモコンを準備する

## 電池を入れる

付属のリモコンは単３型乾電池２本を使用します。ご使用の前に電池をリモコンに入れてください。
電池は必ず下記のものをご使用ください。

**付属リモコン用電池：日立マクセル製、型名 LR6 または R6P**

1．電池カバーのつまみを軽く手前に引きながら電池カバーを外してください。
2．リモコンの中に表示された極性表示（⊕、⊖）を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
3．電池カバーをもとのように閉じてください。

## ⚠ 警 告

破裂注意

**●電池の取扱いに注意する**

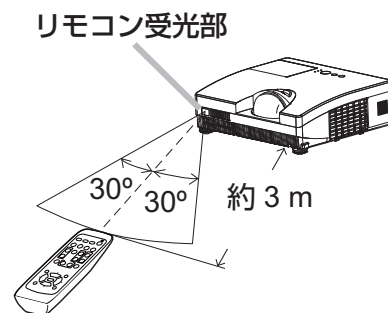
取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

**万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。**
**液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。**

▶電池は、必ず指定のタイプ（上記）の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
▶電池は、電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
▶子どもやペットが届かないところに保管してください。
▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

## リモコン信号について

付属のリモコンは、本機のリモコン受光部へ信号を送って機能します。リモコン信号は、受光部への入射角度左右に各 30°、距離約 3 mの範囲で有効です。
リモコン信号は、スクリーンなどに反射させて操作できる場合もあります。（反射面によっては反射できない場合もあります。）

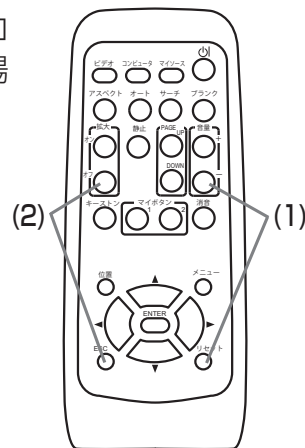
また、受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合には本機の位置を調節してみてください。

## リモコン信号の周波数を切り替える

付属のリモコンは、２種類の信号周波数を切り替えてご使用いただけます。リモコンが利きにくいときや正常に動作しないとき、周波数を切り替えると改善される場合があります。

1．リモコンの周波数を変更するには、以下の２つのボタンを同時に約３秒押し続けてください。

(1) モード１( 標準 )：音量 - とリセットボタン

(2) モード２( 高 )　：拡大 - オフと ESC ボタン

2．プロジェクターの受光部を設定してください。
「その他」メニューの「特別な設定」-「リモコン周波数」（📖**2-31**）で、リモコンの設定に合ったモードを有効にしてください。

# ⚠警告

高温注意

**●高温に注意する**
排気口の近くにリモコンを置かないでください。

分解禁止

**●分解しない、改造しない**
リモコンを加工しないでください。

# お守りください

●リモコンに衝撃をあたえないでください。リモコンを投げたり落としたり、上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

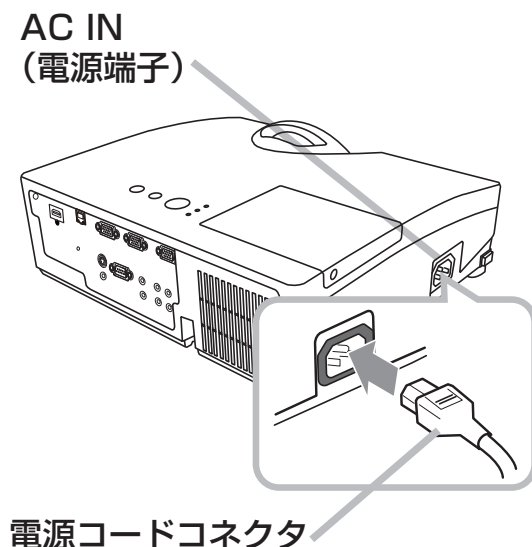
●リモコンに水を掛けたり、リモコンをぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

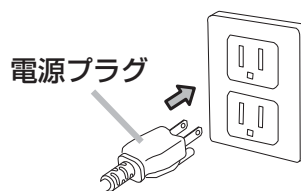
●リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください。リモコンは赤外線で本機に信号を送っています。（クラス１LED 製品）リモコンと本機の受光部の間に障害物があると、リモコンが利かないことがあります。

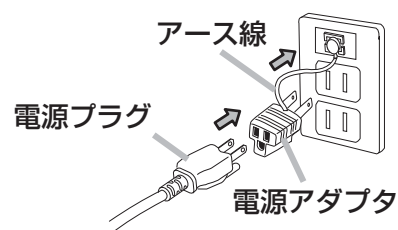
●光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

# 基本操作

## 電源に接続する

本機の電源端子と AC（交流）100V の電源コンセントを、付属の電源コードと必要に応じて電源アダプタで接続してください。

**■3つ穴コンセントをご使用のとき**

1．電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。
2．電源プラグをコンセントに接続してください。

**■2つ穴コンセントをご使用のとき**

1．電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。
2．電源アダプタのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。
3．電源アダプタをコンセントに接続してから、電源プラグを電源アダプタに接続してください。

**お知らせ**

● 「その他」メニューで「ダイレクトパワーオン」を「有効」にすると（📖**2-25**）、電源に接続したとき自動的にランプが点灯します。

## ⚠警告

電源プラグを
コンセント
から抜け

●**異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く**
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

●**指定の電源電圧で使用する**
必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。

●**電源コードや電源アダプタは同梱品を使用する**
電源コードや電源アダプタは本機に付属のものをご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

●**電源プラグは付着物をふき取ってから使用する**
必ず接続の前に、接続部やその周辺に付着しているほこりや金属類など取り除いてください。

●**電源プラグは根元まで確実に差し込む**
ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。

アース線を
必ず接続せよ

●**アース線を必ず接地する**
2 つ穴コンセントを使用する場合、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。アース線の接続は電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線を外すときは電源アダプタをコンセントから抜いてから、行ってください。

●**電源コードや電源アダプタを傷つけない**
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

●**ぬれた手で電源を接続したり外したりしない**
ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。

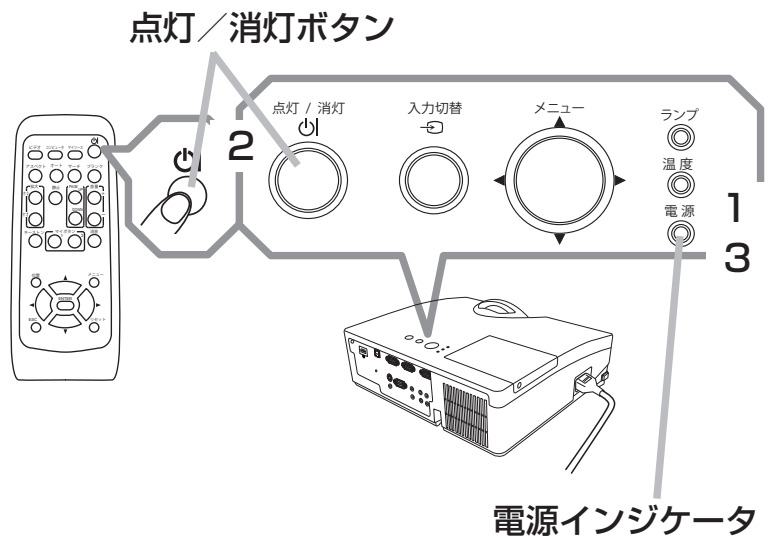
●**アース線をコンセントに差し込まない**
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

## お守りください

●接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、接続している他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

# 電源を入れる

⇒ 本機の電源を入れる前に、必ず「使用上のご注意」(📖1-3 ～ 11) をご確認ください。

1. 電源コードが正しく接続され、操作パネルの電源インジケータが橙色に点灯していることを確認してください。レンズカバーをはずしてください。
2. リモコンまたは操作パネルの点灯／消灯ボタンを押してください。
3. ランプが点灯して、ウォームアップを開始するとともに電源インジケータは緑色に点滅を始めます。
   投写ランプが点灯すると、電源インジケータは点滅をやめ、緑色に点灯します。

## ⚠警 告

**●レンズをのぞかない**
本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

高温注意

**●高温に注意する**
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。

## お守りください

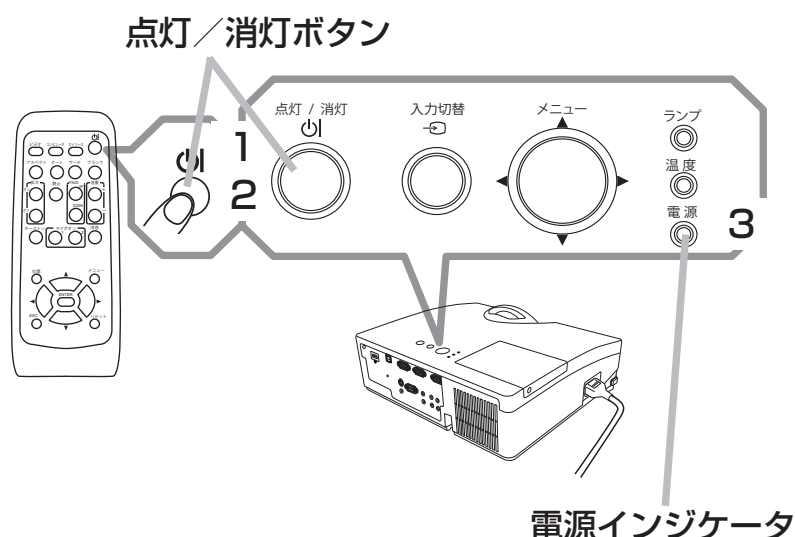
●本機の電源は、接続いしている他の機器より先に入れてください。接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

**お知らせ**

●「その他」メニューで「ダイレクトパワーオン」を「有効」にすると（📖**2-25**）、電源に接続したとき自動的にランプが点灯します。

# 電源を切る



1. リモコンまたは操作パネルの点灯／消灯ボタンを押してください。「電源を切りますか？」のメッセージが約 5 秒間表示されます。
2. もう一度点灯／消灯ボタンを押してください。電源インジケータが橙色に点滅を始めると共にランプが消灯・冷却を始めます。
3. 冷却が終わると電源インジケータは点滅をやめ、橙色に点灯します。
   橙色に点灯したら、レンズ保護のためにレンズカバーを取り付けてください。

ランプが点灯してから短い時間のうちに電源を切らないでください。また電源を切った後 10 分間は電源を入れないでください。電源の入れたり切ったりを、高温状態で行ったり、短い時間に続けて行ったりすると、ランプが不点灯となったり、ランプの寿命を縮める原因となります。

## ⚠警 告

**●レンズをのぞかない**
本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

高温注意

**●高温に注意する**
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。

電源プラグをコンセントから抜け

**●使用しないときは電源プラグを抜く**
本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

## お守りください

●本機の電源は、接続している他の機器より後に切ってください。接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

**お知らせ**

●「その他」メニューの「オートパワーオフ」（📖**2-26**）を「有効」に設定している場合、無信号状態が設定した時間だけ続くと自動的にランプが消灯します。
●シャットダウンスイッチは、正しい手順で電源を切れない場合にだけご使用ください。（📖**3-28**）

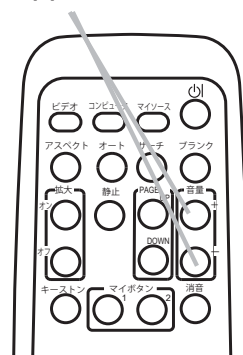
# 音量を調節する

音量 +/ − ボタン

音量を調節するために音量 +/ 音量−ボタンを使います。

音量を調節中は画面上にダイアログが表示されます。なにも操作が行われないと、ダイアログが数秒後に自動的に消えます。

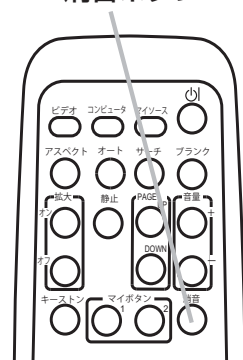
● 「オーディオ」メニュー（**2-19**）の「オーディオソース」で「 🔇 」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、音量は調節できません。また、「オーディオアウト スタンバイ」に「 🔇 」が選択されているか、「スタンバイモード」（**2-18**）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態の時には音量を調節できません。

# 音声を消す

消音ボタン

リモコンの消音ボタン を押してください。音声が消え、消音ダイアログ ( 音声調節のためのガイドの先頭に「 🔇 」が表示されているもの）が表示されます。ダイアログは約 5 秒で消えます。

もう一度消音ボタン を押すか、音量 +/ 音量 - ボタンを押して音量の調節を開始すると、音声は復帰します。

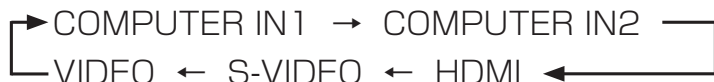
● 「オーディオ」メニュー（**2-19**）の「オーディオソース」で「🔇」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、消音ボタンを押さなくても本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。また、「オーディオアウト スタンバイ」に「 🔇 」が選択されているか、「スタンバイモード」（**2-18**）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態の時には、消音ボタン を押さなくても AUDIO OUT 端子から音声は出力されません。

● 「スクリーン」メニューの「C.C.」（**2-24**）で、「ディスプレイ」が「オート」に設定されている場合、C.C. 対応の、NTSC 方式のビデオ信号、S- ビデオ信号、または 480i@60 コンポーネントビデオ信号を受信しているときに消音ボタン を押すと、自動的に C.C. 機能が有効になります。

# 画面を調整する

## 入力信号を選ぶ

### 入力切替ボタンを押す。

1．操作パネルの入切替力ボタンを押すごとに入力端子を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に以下の順序で切り替えます。

→COMPUTER IN1 → COMPUTER IN2 →
VIDEO ← S-VIDEO ← HDMI ←

●「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」（📖**2-25**）の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。

### リモコンのコンピュータボタン を押す。

1．リモコンのコンピュータボタン を押すごとに入力端子を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に以下の順序で切り替わります。

→COMPUTER IN1 → COMPUTER IN2 → HDMI →

●「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」（📖**2-25**）の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。ビデオ信号 ,S- ビデオ信号のいずれかの端子が選択されていたときに、コンピュータボタン が押されると、COMPUTER IN1 端子を最初に検索します。

### リモコンのビデオボタン を押す。

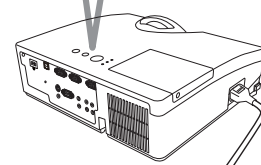
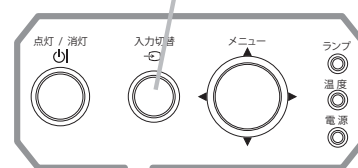
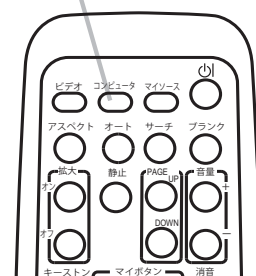
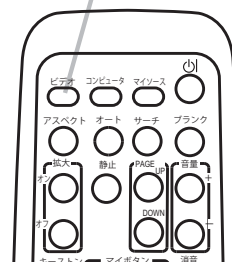
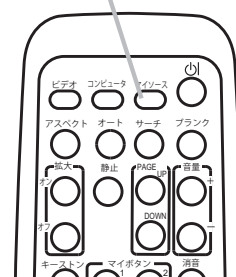
1．リモコンのビデオボタン を押すごとにビデオ信号、S- ビデオ信号の入力端子を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に以下の順序で切り替わります。

S-VIDEO ←→ VIDEO

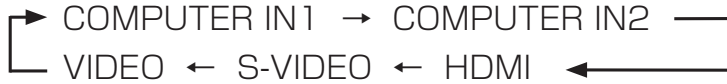
●「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」（📖**2-25**）の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。COMPUTER IN1, COMPUTER IN2, HDMI のいずれかの端子が選択されていたときに、ビデオボタン が押されると、S-VIDEO 端子を最初に検索します。

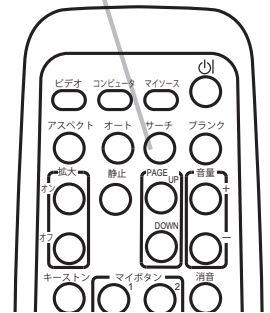
### リモコンのマイソースボタンを押す。

1．リモコンのマイソースボタンを押すと、「マイソース」(📖**2-29**) に設定した信号に入力端子を切り替えることができます。

●この機能はドキュメントカメラにも使用可能です。このボタンを押すことで、ドキュメントカメラを接続した入力端子を選択します。

# 入力信号を検索する

## リモコンのサーチボタン を押す。

1．リモコンのサーチボタン を押すと入力信号の検索を開始します。入力を検出したら検索をやめ、画像を表示します。入力信号が見つからない場合は、サーチボタン を押したときの状態に戻って終了します。

→ COMPUTER IN1 → COMPUTER IN2 →
VIDEO ← S-VIDEO ← HDMI ←

●「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」（📖**2-25**）の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。

# アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ

アスペクトボタン

## リモコンのアスペクトボタン を押す。

1．リモコンのアスペクトボタン を押すたびに、以下の順序で表示画面の縦横比が切り替わります。

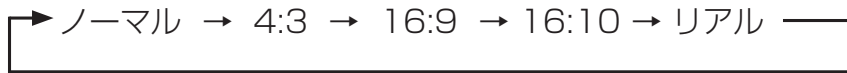
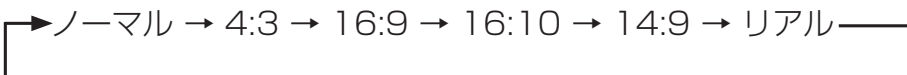
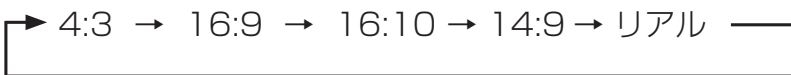
○コンピュータ信号

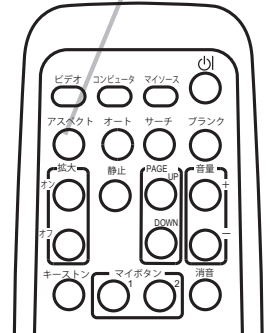
→ ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → リアル →

○ HDMI 信号

→ ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → リアル →

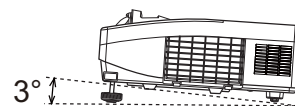
○ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号

→ 4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → リアル →

○信号の入力がないとき

4:3（固定）

**お知らせ**

●信号の入力がないとき、アスペクトボタン は動作しません。
●ノーマルモードではオリジナルのアスペクト設定を保ちます。
●アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定によっては、メニューが画面からはみ出る場合があります。そのときは、アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定を変えて適正に表示されるようにしてください。

# 傾きを調節する

スクリーンなどの投写面に傾きがある場合は、アジャスタ脚を使って本機のレンズ面と投写面をできるだけ平行にしてください。本機のアジャスタ脚では、水平な設置面に対し、前上がりに最大 3°まで傾けることができます。

アジャスタ脚とアジャスタボタンは、本機の左右側面下部、前寄りに一組ずつ計二組あります。アジャスタボタンを押すと､その側面にあるアジャスタ脚の固定がはずれて､脚の長さが変えられます。アジャスタ脚の固定がはずれると、本機が落ちることがありますので、アジャスタボタンは本機を持ちながら操作してください。

1. 後部を設置面に着けたまま、本体を背面から両手で支え、アジャスタボタンを押してください。アジャスタ脚の長さが変えられるようになります。
2. アジャスタボタンを押したまま、本機の位置（角度）を決めます。お好みの位置でアジャスタボタンを放してください。アジャスタ脚が固定されたのを確認して、静かに本体を置いてください。
3. アジャスタ脚をネジのように回すと、アジャスタ脚を固定したまま長さを微調節できます。必要に応じてお使いください。

## ⚠警 告

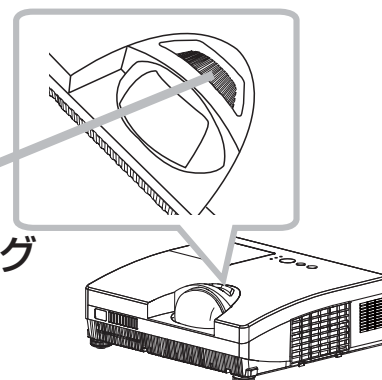
**●衝撃をあたえない**
アジャスタ脚の調節は、本体を持ちながら行ってください。

**●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない**
アジャスタ脚の調節以外の方法で傾けて設置しないでください。

**●傾けて使用しない**
傾けてのご使用は、前後方向 ( 前上がり )3°以内で設置してください。
3°以上の角度に傾けた状態でのご使用は故障や寿命を縮める原因となります。

# フォーカス（焦点）を調節する

投写画面を見ながら、フォーカスリングで映像の焦点を合わせてください。

**絶対にレンズ、投写光をのぞかないでください。**

# 画面の自動調整機能を使う

リモコンのオートボタン を押すと、以下の自動調整が実行されます。

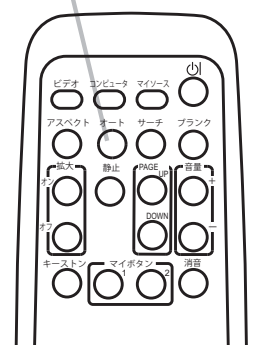
■ **コンピュータ信号を表示しているとき**

画面の垂直位置、水平位置、クロック位相が自動的に調整されます。
コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。

■ **ビデオ信号、S- ビデオ信号を表示しているとき**

入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。この機能は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」が「オート」に設定されているとき（📖**2-13**）のみ有効になります。画面の水平位置と垂直位置が自動的に初期設定に戻ります。

■ **コンポーネントビデオ信号を表示しているとき**

画面の垂直位置、水平位置、が自動的に初期設定に戻ります。クロック位相は、自動調整されます。

**お知らせ**

●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。

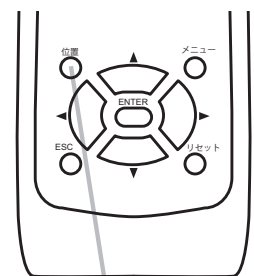
●ビデオ信号を自動調整すると、画像の外側に線などが表示されることがあります。

●コンピュータ信号を自動調整すると、コンピュータによっては、表示映像の縁に黒い枠が表示されることがあります。

●「その他」メニューの「特別な設定」-「オートアジャスト」で、「詳細」または「無効」が設定されていると（📖**2-30**）、自動調整される項目が変わります。

# 画面の位置を調節する

1．リモコンの位置ボタンを押してください。「デジタルシフト」ダイアログが表示されます。

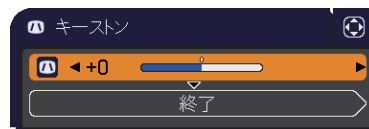
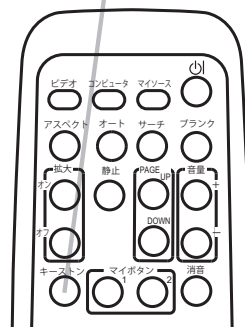
2．ダイアログが表示されている間に、カーソルボタン ▲/▼/◀/▶ で画面位置を調節してください。画面の位置調節を取り消すにはダイアログが表示されている間にリモコンのリセットボタンを押してください。画面をもとの位置に戻すことができます。終了するには、もう一度位置ボタンを押してください。なにも操作をしないと、数秒後にダイアログが自動的に消えます。

**お知らせ**

●この機能は、デジタルズーム機能で縮小している画像の位置を調節するための機能です。

●デジタルズームが 512( フルスクリーン ) に設定されているときは、位置の調節はできません。

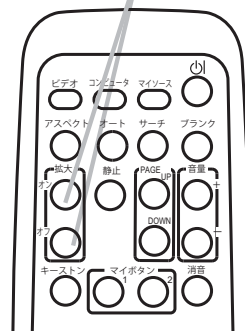
●メニューが表示されているときに位置ボタンを押すと、画面の位置は動かず、メニューの表示位置を調節することができます。

# キーストン（台形歪み）を調節する

1．リモコンのキーストンボタンを押してください。
「キーストン」ダイアログが表示されます。
2．カーソルボタン ◀/▶ で補正量を調節してください。
数秒間なにも操作を行わないか、もう一度キーストンボタンを押すと、ダイアログが消えてキーストンの調節を終了します。

**お知らせ**

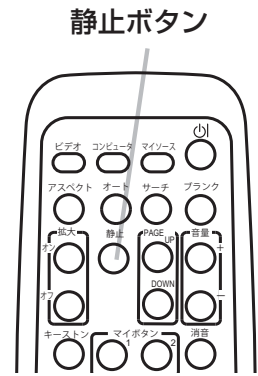
●キーストン補正の調節範囲は表示信号によって異なります。また、表示信号によっては正しく動作しないことがあります。
●この機能は状態監視機能が有効のときは選択できません。(「セキュリティー」メニューの「状態監視」📖**2-43**)
●アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定によっては、メニューが画面からはみ出る場合があります。その場合は、アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定を変えて適正に表示されるようにしてください。

# 画面を拡大する

1．リモコンの拡大 - オンボタンを押すと、画面が 1.5 倍に拡大表示され、「拡大」ダイアログが表示されます。数秒間なにも操作をしないと表示は消えます。このダイアログに表示される三角形のマークは , 拡大領域の移動できる方向を表しています。
2. ダイアログの三角形のマークが表示されている間に、カーソルボタンの▲ / ▼ /◀/▶ を使って拡大領域を移動させることが出来ます。
3. ダイアログの三角形のマークが表示されている間に拡大ーオンボタンを押すと、ダイアログ中に虫メガネのアイコンが表示されます。
4. ダイアログに虫メガネのアイコンを表示している間、▲ / ▼カーソルボタンを使用して倍率を調節します。
5. 拡大表示を解除するには、リモコンの拡大ーオフボタンを押してください。

**お知らせ**

●拡大ダイアログを表示している間に拡大領域の移動 ( 三角形がある ) と倍率調節 ( 虫メガネのアイコンがある ) を切り換えるためには、拡大ーオンボタンを押してください。
●入力信号が変化したときや表示状態を変更する操作（自動調整やアスペクトの切替えなど）を実行したときにも画面の拡大は終了します。
●拡大機能を有効にすると、キーストン補正の状態が正しく表示されないことがありますが、拡大表示を解除すると、もとの状態に戻ります。
●拡大していると水平な縞が画面上に現れることがあります。

# 映像を静止させる

リモコンの静止ボタンを押すと「静止」ダイアログが表示され、映像が静止します。「スクリーン」メニューの「メッセージ」(📖**2-22**)を「表示しない」に設定していると、「静止」ダイアログは表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度静止ボタンを押してください。

**お知らせ**

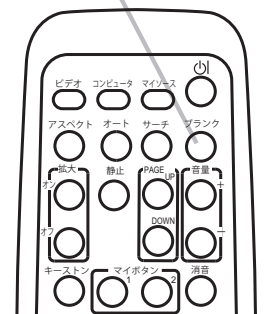
●操作パネルのボタンを押したときにも、映像の静止を終了します。

●本機は同じ映像を長時間表示し続けると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあります。映像を静止させたまま放置したり、終了するのを忘れたりしないようご注意ください。

●静止している映像が劣化してみえるかもしれませんが、故障ではありません。

# 映像を一時的に消す（ブランク）

リモコンのブランクボタン を押すと、映像が消えてブランク画面が表示されます。ブランク画面は「スクリーン」メニューの「ブランク」(📖**2-20**)で設定できます。

もう一度ブランクボタン を押すともとの映像表示に戻ります。

**お知らせ**

●操作パネルのボタンを押したときにもブランク画面の表示を終了します。また、リモコンの他のボタンを押した時にもブランク画面の表示を終了することがありますのでご注意ください。

●映像をブランク画面を表示しても音声は消えません。あらかじめ音量を調節するか、音声を消してからブランク画面の表示を実行してください。

●ブランク機能と音声の消音機能を同時にお使いになりたい場合は、「その他」メニューの「マイボタン」機能に AV ミュートを割り当ててご使用いただけます (📖**2-28**)。

## お守りください

●**レンズに何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください。**

高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。本機のランプを点灯させたまま、投写映像を消したい場合は、上記の「ブランク」機能をご使用ください。

# 点検とお手入れ

## ランプを交換する

### ランプについてのご注意

**警告**  感電注意  高温注意  破裂注意

**本機のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです**
このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命を終える特性があります。寿命の長さはランプによって大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。
ランプが破裂すると、本機の内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが本機の通風口から出たりすることがあります。ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜け

**●ランプが破裂したら、使用を中止して電源プラグを抜き、販売店に連絡する**
飛び散ったガラス片によってけがや本機の内部を傷つける原因となることがあります。
▶ランプが破裂した、または破裂したおそれのある場合は、必ず電源を切って電源プラグを抜き、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。
▶ランプの破裂によって水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが排出されることがあります。排気を十分にして、目や鼻、口から入らないようにご注意ください。万一、入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

**●ランプの交換は、電源プラグを抜き、十分冷ましてから行う**
電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態でランプを取り扱うと、やけどやランプが破裂する原因となります。
▶ランプの交換は、初めに本機の電源を切り、電源プラグを抜いて放置し、ランプや本機内部を十分冷ましてください。

**●天井設置や高所設置では、ランプの交換は販売店にご依頼ください。**
万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業には転落などの危険が伴います。
▶ランプが破裂していない場合でも、ランプの交換は必ず販売店にご依頼ください。ランプカバーは開けないでください。

**●ランプは指定品を使用する**
ランプを交換するときは、本書に指定された型名とご使用になるランプの型名が一致することを事前にご確認ください。本機の仕様に合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。

**●ランプやランプカバーは正しく取り付けて使用する。**
正しく取り付けてられていなかったりネジがゆるんでいたりすると、ランプカバーやランプが外れて、けがや故障の原因となることがあります。
▶ランプを交換した後は、固定用のネジがしっかり締められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。

**●ランプは取扱いに注意し、正しく使用してください。**
ランプは衝撃を加えたり傷つけたり、寿命を超えてご使用になったりすると、破裂したり、不点灯となることがあります。ランプは丁寧に取り扱ってください。
▶古いランプ（中古品）は破裂し易いのでご使用にならないでください。
▶映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりしたら、お早めに交換してください。

**●使用済みのランプは正しく廃棄してください。**
本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。

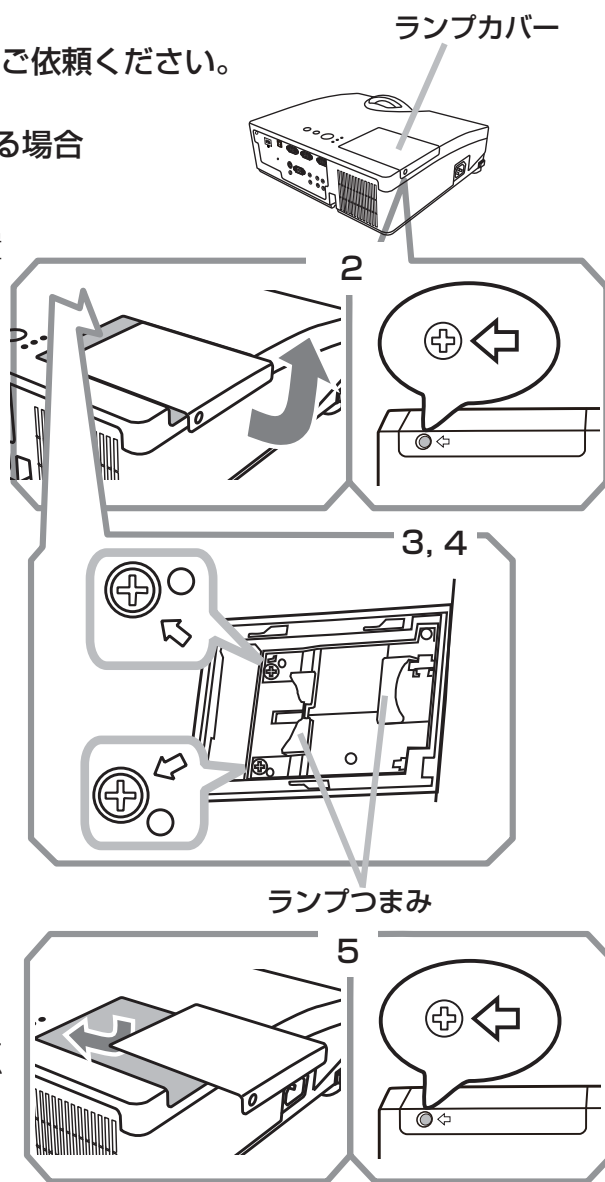
## ランプの交換方法

ランプは使用時間の経過にともない、徐々に映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりすることがあります。また、ランプの寿命にはばらつきがあり、ご使用開始から比較的短時間で破裂したり、不点灯となったりすることがあります。あらかじめ交換用のランプをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。
交換用のランプは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

**型名： CP-D20J 001 (DT01121)**

**次のような場合は、ランプユニットの交換を必ず販売店へご依頼ください。**
**・ランプが破裂した、あるいは破裂したおそれがある場合**
**・プロジェクターが天井 ( 天吊り ) や高所に設置されている場合**

**■ランプを交換する**

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてください。
2. 右図を参考に、ランプカバーのネジ（⇦）を緩め、ランプカバーを外してください。
3. ランプを固定している 2 つのネジ（⇦，⇦）を緩め、ランプつまみを持って、ランプをまっすぐにゆっくりと引き上げて取り出してください。
4. 用意した新しいランプの型名が、上記の型名と一致することをご確認のうえ、前のランプと同じように入れ、2 つのネジ（⇦，⇦）をもとのように締めて固定してください。絶対に他のネジは緩めないでください。
5. ランプカバーを閉じて、もとのようにネジ（⇦）を締めて固定してください。
6. 以下の手順に従い、本機のメニューを使ってランプ時間を初期化してください。
   (1) 本機の電源を入れ、「詳細メニュー」（📖**2-3**）を表示させてください。
   (2) カーソルボタン▼ / ▲で「その他」メニューを選択し、カーソルボタン ► を押してください。
   (3) カーソルボタン▼ / ▲で「ランプ時間」を選択し、カーソルボタン ► を押すと、ランプ時間を初期化するダイアログが現れます。
   (4) ダイアログの「OK」を選んでカーソルボタン ► を押すと、ランプ時間が初期化されます。

## お守りください

●ランプを取り出したり取り付けたりする際、本機の内部に触れないでください。故障、映像不良の原因となることがあります。
●ランプ時間の初期化は正しく行ってください。ランプユニットを交換したら必ずランプ時間を初期化してください。ランプを交換せずにランプ時間を初期化しないでください。ランプ時間は、初期または前回ランプ時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。ランプ時間の初期化を正しく行わないと実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。
●ランプ交換の際は、エアーフィルターも交換してください (📖**1-37**)。本機の交換用ランプに付属のエアーフィルターをご使用いただけます。

# エアーフィルターを掃除／交換する



本機のフィルターユニットは、フィルターカバーと２種類のエアーフィルターから構成されています。
この二重のエアーフィルターは頻繁なお手入れの手間を省き、かつ長くご使用いただけますが、本機内部の換気と正常な動作を維持するため、定期的な確認とお手入れをお願いいたします。「エアーフィルターの掃除をお願いします」などのメッセージが現われたときや、インジケータが点灯した場合は、できるだけ早くお手入れしてください。

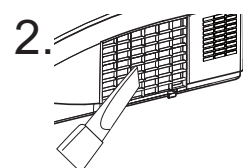
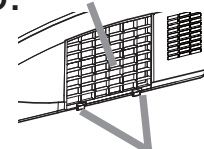
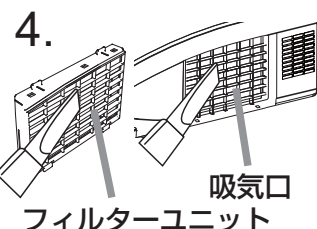
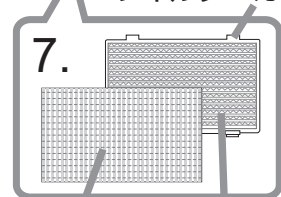
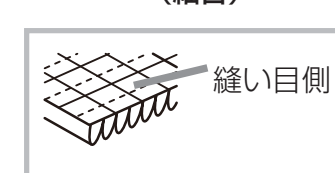
エアーフィルターが破損したり、汚れがひどくて掃除しきれない場合はエアーフィルターを取り替えてください。交換用のエアーフィルターは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

**型名：CP-AW100NJ 002（UX35971）**

ランプを交換するときは、エアーフィルターも交換してください。本機の交換用ランプには、本機用のエアーフィルターが付属しています。

以下の手順に従って交換してください。

1. 本機の電源を切って（📖1-27）電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. 掃除機を使って、フィルターカバーとその周辺をお掃除してください。
3. フィルターカバーつまみを引き上げてフィルターカバーを取り外してください。
4. 掃除機を使って、本機の吸気口 ( フィルターユニットが取り付けられていた奥）とフィルターユニットの外側をお掃除してください。
5. フィルターカバーを持って細目のエアーフィルターを取り出します。
   粗目のエアーフィルターは、フィルターカバーに残します。
6. 細目のエアーフィルターが吸い込まれないように持って、両面を掃除機で清掃します。エアーフィルターが痛んでいたり汚れがひどい場合は新しいエアーフィルターに交換してください。
7. 縫い目側が上になるようにして細目のエアーフィルターを粗目のエアーフィルターの上にセットしてください。
8. フィルターユニットを元のように本体に取り付けてください。
9. 本機の電源を入れ、「簡単メニュー」（📖2-5) の「フィルター時間」をメニュー表示に従って操作し、フィルター時間を初期化してください。

(1) メニューボタンを押して、メニューを表示させてください。
(2) ▼ / ▲ボタンを押して「フィルター時間」のところで ► ボタンを押すと、ダイアログが現れます。
(3) ダイアログの「OK」を選んで ► ボタンを押すと、フィルター時間が初期化されます。

## ⚠ 警告

●**エアーフィルターをお手入れする前に、電源プラグを抜き、十分冷ます**
エアーフィルターをお手入れする前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。

●**エアーフィルターは正しく使用し、定期的にお手入れする**
エアーフィルターがほこりや汚れで詰まったり、正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。
▶フィルターカバーやエアーフィルターを外した状態では使用しないでください。
▶エアーフィルターが痛んでいたり汚れがひどい場合は新しいエアーフィルターに交換してください。その際、必ず指定のエアーフィルターを正しくご使用ください。

## お守りください

●フィルター時間の初期化は正しく行ってください。エアーフィルターをお掃除または交換したら必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィルターをお掃除または交換せずにフィルター時間を初期化しないでください。フィルター時間は、初期または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。フィルター時間の初期化を正しく行わないと実際のエアーフィルターの使用時間とフィルター時間の値が一致しません。

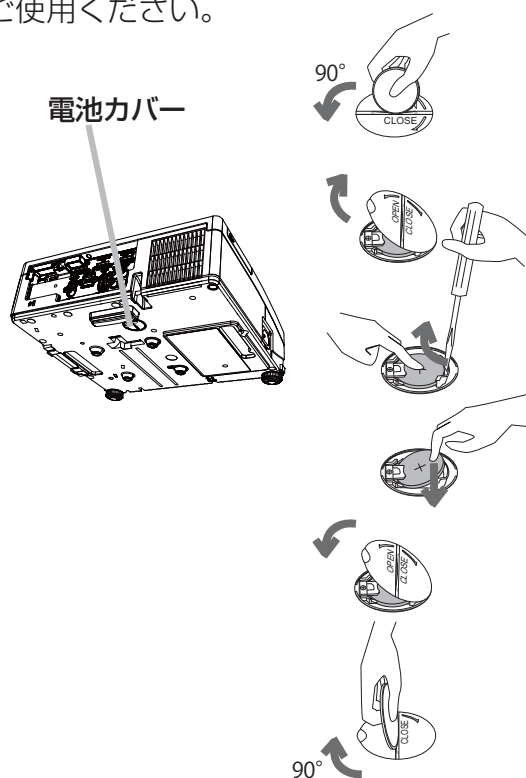
**お知らせ**

● 「フィルター掃除通知」機能（📖**2-30**) をご使用になると、お掃除または交換時期をお知らせするメッセージを表示させることもできます。
● 本機が「吸気口をチェックしてください」メッセージを表示した時は、本機の電源をオフにして、内部の温度が上昇するのを防いでください。

# 内蔵時計用電池の交換

本機は電池式内蔵時計を備えています。電池が消耗して、時計がずれたり止まったりしたら、新しいボタン型電池と交換してください。電池は必ず下記のものをご使用ください。

**日立マクセル製、型名 CR2032 または CR2032H**

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. 本機の底面を上に向けて置いてください。
3. 電池カバーを外します。図を参考に、電池カバーの溝にコインなどを合わせて「OPEN」と表示されている方向に回し、電池カバーが浮いてきたらつまみあげて外してください。
4. 電池ケースから古い電池を取り外します。図に従って電池を取り出してください。
5. 新しい電池を入れます。電池ケースの中の極性表示㊀に従って、電池の－側を下 ( 中）に、＋ 側を上 ( カバー側）にして入れてください。電池を軽く押し、電池ケースに固定してください。
6. 電池カバーを閉じます。電池カバーの溝にコインなどを合わせて「CLOSE」と表示されている方向に回し、もとのように固定してください。

破裂注意

**●電池の取扱いに注意する**

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

**万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。**

**液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。**

▶電池は、必ず指定のタイプ（上記）の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。

▶電池ケースの極性表示に従って正しく入れてください。

▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

▶子どもやペットが届かないところに保管してください。

▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

# その他のお手入れ

## 内部の点検とお手入れ

内部にほこりがたまった状態で本機を使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、１年に１度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

## レンズのお手入れ

レンズが傷ついていたり、くもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となります。

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）でレンズを軽く拭いてください。レンズを傷つけないように、また、素手で触らないようにご注意ください。

## キャビネットとリモコンのお手入れ

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。
   汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

# 警告

**●お手入れの前に、電源プラグを抜き、十分冷ます**
お手入れのまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。使用中や使用後しばらくは、レンズやその周辺は高温になります。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。

**●ランプ点灯中はレンズをのぞかない**
ランプの点灯中はレンズから強い光が出ます。視力障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

# 注意

**●レンズのクリーニングに掃除機を使わない**
レンズのクリーニングに掃除機を使うと故障の原因となる場合がありますので使用しないでください。

**●本書に指定されているもの以外の洗剤、薬品は使用しない**
表面が変質したり、塗装がはがれることがあります。水または水で薄めた中性洗剤はキャビネットとリモコンのお手入れ以外には使用しないでください。
▶スプレーはご使用にならないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。
▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

**●本機内部に水や洗剤を入れない**
万一、水や洗剤が入ってしまったら、販売店にご連絡ください。

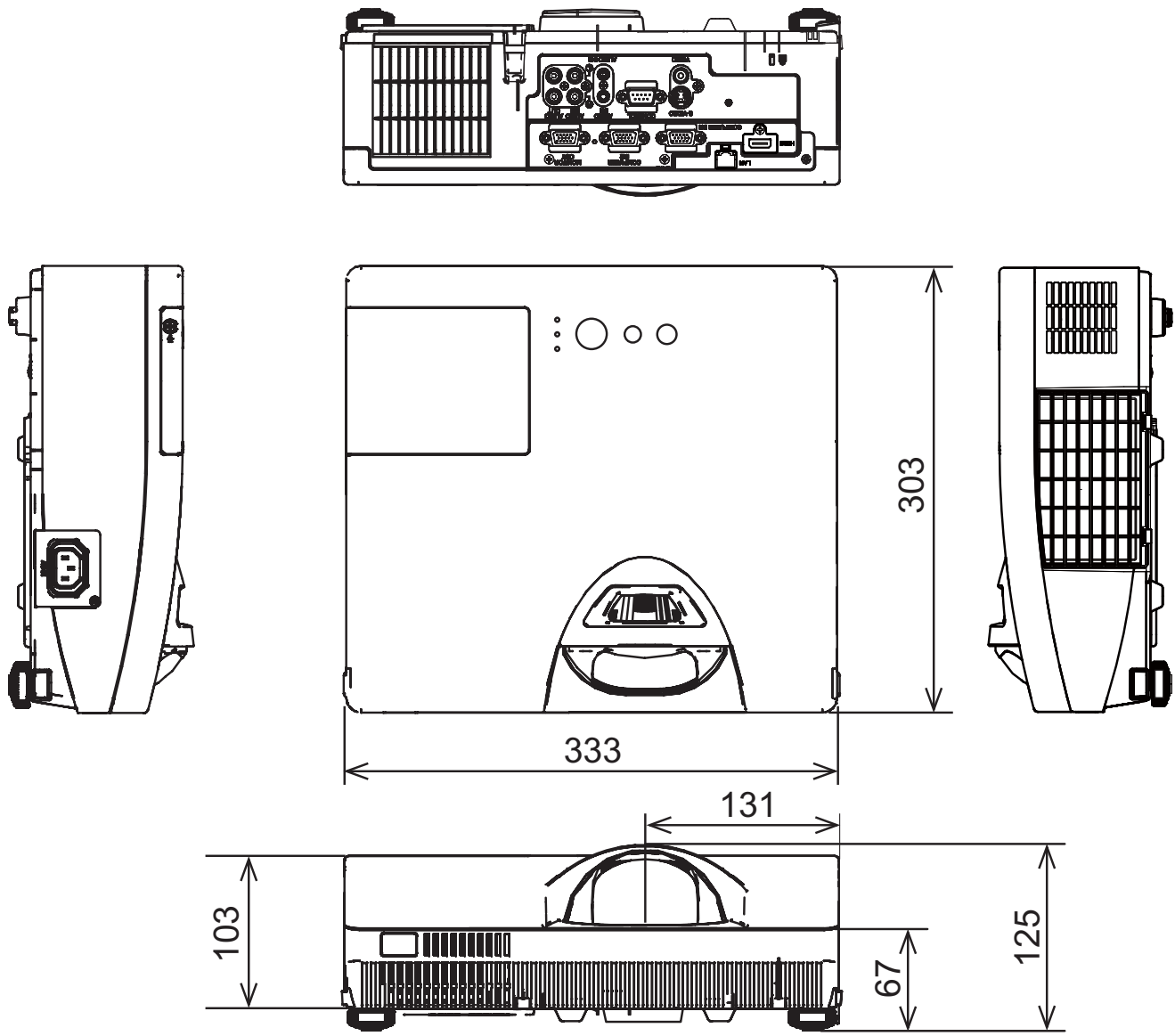
**●本機（キャビネット、レンズ）およびリモコンを傷つけない**
硬いものを当てたり、こすったりして傷つけないようにご注意ください。破損や故障、映像不良の原因となることがあります。

**●内部の点検とお手入れは、販売店に依頼する**
お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

# 仕様

## 一般仕様

| 項目 | 仕様 |
| --- | --- |
| 品名 | 液晶プロジェクター |
| 投写方式 | 透過型液晶パネル 3 板式 |
| 表示素子（液晶パネル） | アスペクト比 4：3<br>786,432 画素（1024 × 768）× 3 枚 |
| 投写レンズ | 固定ズーム、手動フォーカス |
| 光源 | 高圧水銀ランプ (UHP) 210W |
| スピーカー | 10W（モノラル） |
| 電源 | AC100V，50/60Hz ／ 3.3A |
| 消費電力 | 290W |
| 使用温度範囲 | 5 ～ 35℃ |
| 外形寸法 | 333( 幅 ) × 103( 高さ ) × 303( 奥行 )mm　外形寸法図ご参照（📖1-43） |
| 質量 | 約 3.8kg |
| 端子 | **コンピュータ信号入力**<br>COMPUTER IN1 . . . . . . . . . . D サブ 15 ピンミニ× 1<br>COMPUTER IN2 . . . . . . . . . . D サブ 15 ピンミニ× 1<br>**コンピュータ信号出力**<br>MONITOR OUT . . . . . . . . . . D サブ 15 ピンミニ× 1<br>**デジタル信号入力**<br>HDMI . . . . . . . . . . . . . . . . . . HDMI コネクタ× 1<br>**ビデオ信号入力**<br>S-VIDEO . . . . . . . . . . . . . . . . ミニ DIN4 ピン× 1<br>VIDEO . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . RCA × 1<br>**音声信号入出力**<br>AUDIO IN1 . . . . . . . . . . . . . . . . ステレオミニ× 1<br>AUDIO IN2. . . . . . . . . . . . . . . . ステレオミニ× 1<br>AUDIO IN3（R,L） . . . . . . . . . . . . . . . . RCA × 2<br>AUDIO OUT（R,L） . . . . . . . . . . . . . . . . RCA × 2<br>**その他**<br>CONTROL . . . . . . . . . . . . . . . . D サブ 9 ピン× 1<br>LAN . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . RJ45 × 1 |
| 別売品 | 交換用ランプ：CP-D20J 001（DT01121）<br>交換用エアーフィルター：CP-AW100NJ 002（UX35971）<br>天吊り用ブラケット：HAS-AW100<br>延長パイプ：HAS-P100<br>ベース金具：HAS-203L<br>オプションリモコン：RC-R008<br>ケーブルカバー：CCAW100<br>※その他については販売店にご相談ください。 |

# 外形寸法



[ 単位：mm ]

# 取扱説明書 - 詳細版 -

## 液晶プロジェクター

# CP-D30NJ ( 形名 CP-D30N)

応用編

# 【応用編】

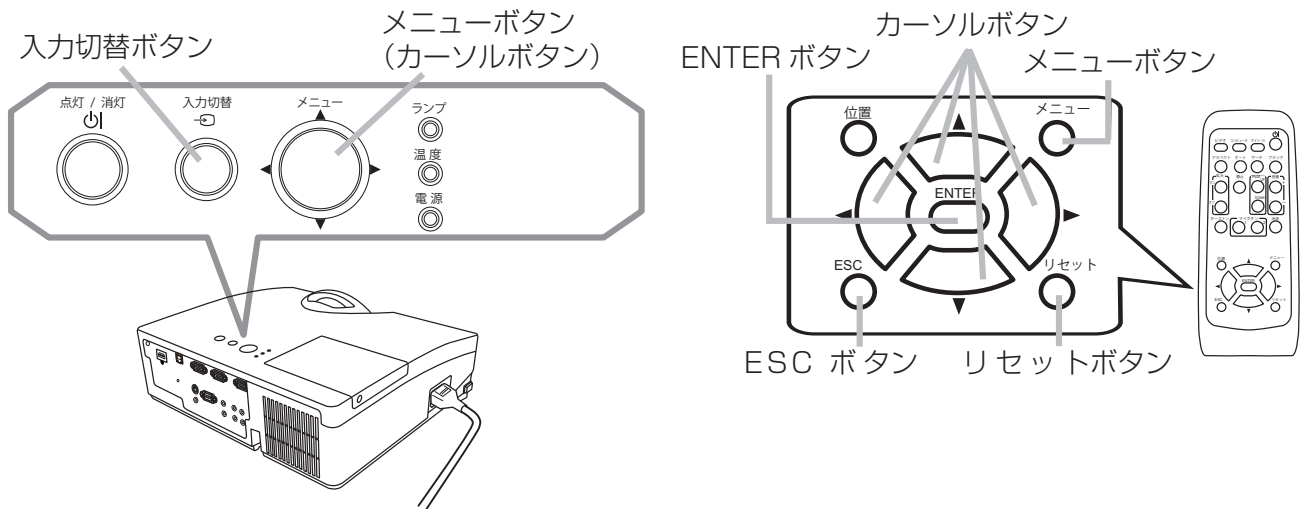
応用編では、詳細な設定や調節を行うメニュー等について説明します。

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

## もくじ

# 設定・調節

## メニュー機能の使いかた

詳細な設定や複雑な調節には、メニュー機能をご使用ください。
本機には、よく使われる機能をまとめた「簡単メニュー」と、「詳細メニュー」があります。詳細メニューは、**「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「ネットワーク」「セキュリティ」「簡単メニュー」**の 10 つの機能別メニューに分かれています。どのメニューも基本操作は同様です。下記をご参考に操作してください。

### ■メニューの表示と操作ボタン

本機のメニュー操作には、主に上図のボタンを使用します。操作パネルのメニューボタン (▲/▼/◀/▶) は、各々カーソルボタンとしてご使用いただけます。はじめに操作パネルのメニューボタンのいずれか、またはリモコンのメニューボタンを押してください。「簡単メニュー」または「詳細メニュー」のどちらか、前回ご使用になっていたほうのメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。
メニュー操作を終了するには、もう一度リモコンのメニューボタンを押すか、終了を選んでカーソルボタン◀ (またはリモコンの ENTERボタン )を押します。なにも操作しない状態が約 30秒間継続すると、自動的に終了します。

### ■簡単メニューの操作

1. カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「詳細メニュー」に切り替えたいときは、「詳細メニュー」を選びます。
2. カーソルボタン◀ /▶で、選択した項目の設定、調節および実行することができます。

簡単メニュー

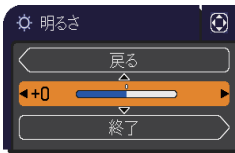
■詳細メニューの操作

1. カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「簡単メニュー」に切り替えたいときは、「簡単メニュー」を選びます。
2. カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目をカーソルボタン▲ / ▼で選択してください。
3. カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのダイアログやサブメニューが表示されます。ダイアログに従って操作してください。

詳細メニュー



お知らせ

●メニュー表示中に位置ボタンを押すと、カーソルボタン◀ / ▶ / ▲ / ▼でメニューの表示位置を調節することができます。
●受信信号によっては、いくつか実行できない機能があります。
●操作をリセットしたいときには、操作中にリセットボタンを押してください。ただし、いくつかの項目（例：言語、音量）はリセットできないのでご注意ください。
●詳細メニューにて前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀またはリモコンの ESC ボタンを押してください。

メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| 終了 | これを選択すると、メニュー操作を終了します。メニューボタンを押すことと同じになります。 |
| 戻る | これを選択すると、前のメニューに戻ります。 |
| 初期化しない／いいえ | これを選択すると、現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。 |
| OK ／はい | これを選択すると、用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。 |

# 簡単メニュー

「メニュー機能の使い方」(📖**2-2,3**) に従い、簡単メニューを表示してください。
簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>アスペクト<br>(画面の縦横比)</td><td>カーソルボタン◀ / ▶で、アスペクト（画面の縦横比）を選択できます。<br>「表示」メニュー (📖2-9) の「アスペクト」をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>デジタル<br>ズーム</td><td>カーソルボタン◀ / ▶で、デジタルズームを調節できます。<br>「設置」メニューの「デジタルズーム」(📖2-16）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>キーストン<br>( 台形歪み補正 )</td><td>カーソルボタン◀ / ▶で、垂直キーストン ( 垂直方向の台形歪み ) の補正量を調節できます。「設置」メニューの「キーストン 」(📖2-17) をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>映像モード</td><td>カーソルボタン◀ / ▶で、映像モードを選択できます。<br>映像モードは、ガンマモードと色温度モードの組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。<br>→ ノーマル ↔ シネマ ↔ ダイナミック ↔ 黒板 ( 黒 ) ←<br>→ デイタイム ↔ ホワイトボード ↔ 黒板 ( 緑 ) ←
<table>
<tr><th>映像モード</th><th>ガンマ</th><th>色温度</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ノーマル</td><td>デフォルト -1</td><td>中</td><td>標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。</td></tr>
<tr><td>シネマ</td><td>デフォルト -2</td><td>低</td><td>フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。</td></tr>
<tr><td>ダイナミック</td><td>デフォルト -3</td><td>高</td><td>明るさを重視した映像です。</td></tr>
<tr><td>黒板（黒）</td><td>デフォルト -4</td><td>ハイブライト -1</td><td>黒板 ( 黒 ) に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。</td></tr>
<tr><td>黒板 ( 緑 )</td><td>デフォルト -4</td><td>ハイブライト -2</td><td>黒板 ( 緑 ) に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。</td></tr>
<tr><td>ホワイトボード</td><td>デフォルト -5</td><td>中</td><td>スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。</td></tr>
<tr><td>デイタイム</td><td>デフォルト -6</td><td>ハイブライト -3</td><td>明るい室内でのご利用に適しています。</td></tr>
</table>
お知らせ<br>
●ガンマモードと色温度モードの組み合わせが上記の映像モードと異なる場合、メニュー上の表示は「カスタム」と表示されます。「映像」メニュー（📖2-6,7）の「ガンマ」および「色温度」をご参照ください。<br>
●選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。<br>
●アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定によっては、メニューが画面からはみ出る場合があります。その場合は、アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定を変えて適正に表示されるようにしてください。</td></tr>
</table>

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| **エコモード** | カーソルボタン◀ / ▶で、本機使用中のエコモードを選択できます。<br>「設置」メニュー (📖**2-17**) の「エコモード」をご参照ください。 |
| **反転表示** | カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転させることができます。<br>「設置」メニューの「反転表示」(📖**2-17**) をご参照ください。 |
| **初期化** | 「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。<br>カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、確認のためのダイアログが表示されます。<br>**初期化しない → OK**<br>初期化を実行するときは、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。<br>お知らせ<br>●「フィルター時間」と「表示言語」は初期化されません。 |
| **フィルター時間** | メニューに表示されている数字は、エアーフィルターの使用時間です。<br>カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、フィルター時間初期化確認のためのダイアログが表示されます。<br>フィルター時間の初期化については、「その他」メニューの「フィルター時間」(📖**2-27**) をご参照ください。 |
| **表示言語** | カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。<br>「スクリーン」メニューの「表示言語」(📖**2-20**) をご参照ください。 |
| **詳細メニュー** | この機能は、「詳細メニュー」を選択し、カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン）を押した時点で実行されます。<br>カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、「簡単メニュー」を「詳細メニュー」(「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「オーディオ」、「スクリーン」、「その他」、「ネットワーク」、「セキュリティ」メニュー ) に切り替えられます。<br>「詳細メニュー」には、より多彩な機能を備えております。お好みに合わせた調節や設定にして、ご活用ください。(📖**2-6 ～ 46**) |
| **終了** | カーソルボタン◀ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、操作を終了し、メニューを閉じます。 |

# 映像メニュー

「映像」メニューでは下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、操作を開始または実行できます。
下表およびメニュー表示に従って操作してください。

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| 明るさ | カーソルボタン◀ / ▶で、映像の明るさを調節できます。<br>**暗く ↔ 明るく** |
| コントラスト | カーソルボタン◀ / ▶で、コントラストを調節できます。<br>**弱く ↔ 強く** |
| ガンマ | カーソルボタン▲ / ▼で、ガンマモードを選択できます。<br>**デフォルト -1 ↔ カスタム -1 ↔ デフォルト -2 ↔ カスタム -2 ↔ デフォルト -3**<br>**↕ ↕**<br>**カスタム -6 カスタム -3**<br>**↕ ↕**<br>**デフォルト -6 ↔ カスタム -5 ↔ デフォルト -5 ↔ カスタム -4 ↔ デフォルト -4**<br><br>**ガンマのカスタムモード調節手順**<br>カスタムモード（“カスタム”のつくモード）を選択し、カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、調節メニューが表示されます。この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。<br>カーソルボタン◀ / ▶で調節したい項目を選択し、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。<br>カスタムモード調整メニューを表示している間に ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押すと、右図のようなテストパターンが表示されます。テストパターンはリモコンの ENTER ボタンを押すたび以下のように変更できます。<br>**パターンなし → グレイスケール (9 ステップ) ┐**<br>**└ ランプ波形 ← グレイスケール (15 ステップ)**<br>お好みのパターンをお選びになり、これを参考に調節してください。<br>8 つの調節バーは、テストパターン (9 ステップ ) の最も暗い階調 ( 左端 ) を除く 8 つの階調に対応しています。例えばテストパターン上の左から 2 番目の階調を調節したい場合、それに対応する「1」の調節バーを使用します。テストパターン左端の最も暗い階調は調節できません。<br><br>お知らせ<br>●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| 色温度 | カーソルボタン▲ / ▼で、色温度を設定するための色温度モードを切り替えられます。<br>色温度モードは、色温度を設定／調節するためのモードです。<br>**高 ↔ カスタム -1 ↔ 中 ↔ カスタム -2 ↔ 低 ↔ カスタム -3**<br>**↕ カスタム -6　　　　　　　　ハイブライト -1 ↕**<br>**ハイブライト -3 ↔ カスタム -5 ↔ ハイブライト -2 ↔ カスタム -4**<br><br>**色温度のカスタムモード調節手順**<br>カスタムモード（“カスタム”のつく各モード）を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、選択したモードのオフセットとゲインを調節するメニューが表示されます。<br>この調節機能を使うと、オフセット調節は、テストパターンの全階調の色温度を変更できます。またゲイン調節は、主にテストパターンの明るい階調の色温度を変更できます。<br>カーソルボタン◀ / ▶で各色のオフセットまたはゲインを選び、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。<br>カスタムモード調節メニューを表示している間に ENTER ボタンを押すと、右図のようなテストパターンが表示されます。テストパターンは ENTER ボタンを押すたび以下のように変更できます。<br>**パターンなし → グレイスケール（9 ステップ）**<br>**└ ランプ波形 ← グレイスケール（15 ステップ）**<br>お知らせ<br>●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。 |
| 色の濃さ | カーソルボタン◀ / ▶で、色の濃さを調節できます。<br>**淡く ↔ 濃く**<br>お知らせ<br>●この項目はビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号で選択できます。<br>● HDMI 信号は「入力」メニューの「HDMI フォーマット」（📖**2-13**）を「ビデオ」に設定している場合に有効となります。もしくは HDMI フォーマットを「オート」に設定し、本機がフォーマットを「ビデオ」と認識した場合に有効となります。 |
| 色あい | カーソルボタン◀ / ▶で、色合いを調節できます。<br>**赤っぽく ↔ 緑っぽく**<br>お知らせ<br>●この項目はビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号で選択できます。<br>● HDMI 信号は「入力」メニューの「HDMI フォーマット」（📖**2-13**）を「ビデオ」に設定している場合に有効となります。もしくは HDMI フォーマットを「オート」に設定し、本機がフォーマットを「ビデオ」と認識した場合に有効となります。 |

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>画質</td><td>カーソルボタン◀ / ▶で、画質を調節できます。<br>**やわらかく　↔　くっきり**<br>お知らせ<br>●調節した瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが、故障ではありません。</td></tr>
<tr><td>マイメモリー</td><td>本機は 1 から 4 の番号のついた 4 つのメモリーを備えており、「映像」メニューの設定を最大 4 組まで記憶保存することができます。<br>カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、選択した項目の機能を実行します。<br>**セーブ -1 ↔ セーブ -2 ↔ セーブ -3 ↔ セーブ -4**<br>↕　　　　　　　　　　　↕<br>**ロード -4 ↔ ロード -3 ↔ ロード -2 ↔ ロード -1**<br>**■セーブ操作**<br>「セーブ -1」、「セーブ - 2」、「セーブ - 3」、「セーブ - 4」を実行すると、対応する番号のメモリーに現在の「映像」メニューの全設定データを記憶します。<br>既にデータが記憶されているメモリーにセーブ操作を行うと、メモリーにデータが上書きされますのでご注意ください。<br>**■ロード操作**<br>「ロード -1」、「ロード - 2」、「ロード - 3」、「ロード - 4」を実行すると、対応する番号のメモリーからデータを呼び出し、そのデータに応じて映像を自動調整します。<br>対応する番号のメモリーに設定データが記憶されていない場合は選択できません。<br>ロード操作を行うと、メモリーに記憶されている設定が現在の設定に上書きされますので、ご注意ください。現在の設定を保存したいのであれば、ロード操作を行う前にセーブ操作を行ってください。<br>お知らせ<br>●ロード操作を行った瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが故障ではありません。<br>●マイボタンを押してロード操作を行うこともできます。詳細は「その他」メニュー（📖**2-28**）の「マイボタン」をご覧ください。</td></tr>
</table>

# 表示メニュー

「表示」メニューでは下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

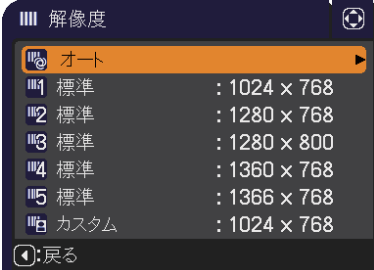
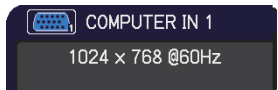
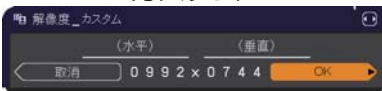
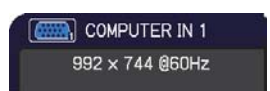
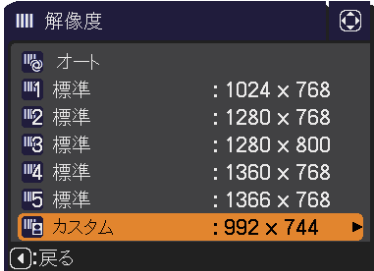
応用編

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| **アスペクト<br>( 画面の縦横比 )** | カーソルボタン▲ / ▼で、アスペクト ( 画面の縦横比 ) を選択できます。<br>**コンピュータ信号を受信している場合**<br>**→ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → リアル**<br>**HDMI 信号を受信している場合**<br>**→ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → リアル**<br>**ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信している場合**<br>**→4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → リアル**<br>**信号の入力がないとき**<br>**4:3（固定）**<br>お知らせ<br>●「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。<br>●アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定によっては、メニューが画面からはみ出る場合があります。その場合は、アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定を変えて適正に表示されるようにしてください。 |
| **オーバースキャン** | カーソルボタン◀ / ▶で、オーバースキャン ( 表示率 ) を調節できます。<br>**小さく (** 画像は大きくなります） ↔ **大きく (** 画像は小さくなります）<br>お知らせ<br>●この項目はビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号で選択できます。<br>● HDMI 信号は「入力」メニューの「HDMI フォーマット」（📖**2-13**）を「ビデオ」に設定している場合に有効となります。もしくは HDMI フォーマットを「オート」に設定し、本機がフォーマットを「ビデオ」と認識した場合に有効となります。<br>●表示率を大きくしすぎると、画面のふちにノイズが現れる場合があります。この場合には表示率を小さくしてください。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| **垂直位置** | カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。<br>**下へ ↔ 上へ**<br>お知らせ<br>●位置を動かしすぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、位置を初期化して戻してください。「垂直位置」を選択した状態でリモコンのリセットボタンを押すと「垂直位置」を初期設定に戻すことができます。<br>●ビデオ信号、S- ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(📖**2-9**) の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。<br>● HDMI 信号を受信している時は、調節できません。 |
| **水平位置** | カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。<br>**右へ ↔ 左へ**<br>お知らせ<br>●位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、水平位置を初期設定に戻してください。「水平位置」を選択した状態でリセットボタンを押すと「水平位置」を初期設定に戻すことができます。<br>●ビデオ信号、S- ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(📖**2-9**) の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合、調節できません。<br>● HDMI 信号を受信している時は、調節できません。 |
| **クロック位相** | カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。<br>**右へ ↔ 左へ**<br>お知らせ<br>●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ、調節が可能です。 |
| **水平サイズ** | カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。<br>**小さく ↔ 大きく**<br>お知らせ<br>●コンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。<br>●大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、リセットボタンを押して「水平サイズ」を初期設定に戻してください。<br>●調整時に映像が劣化してみえる場合がありますが、故障ではありません。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| オートアジャスト実行 | カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、画面の自動調整を実行できます。<br>**■コンピュータ信号を受信している場合**<br>「垂直位置」(📖**2-10**)、「水平位置」(📖**2-10**)、「クロック位相」(📖**2-10**)が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。<br>**■ビデオ信号、S- ビデオ信号を受信している場合**<br>「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(📖**2-13**) が「オート」に設定されていると、入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。<br>「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。<br>**■コンポーネントビデオ信号を受信している場合**<br>「垂直位置」、「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。「クロック位相」が自動的に調節されます。<br>お知らせ<br>●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。<br>●ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。<br>●コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の縁に黒いフレームが映る場合があります。<br>●「その他」メニュー (📖**2-25**) の「特別な設定」ー「オートアジャスト」(📖**2-30**) で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。 |

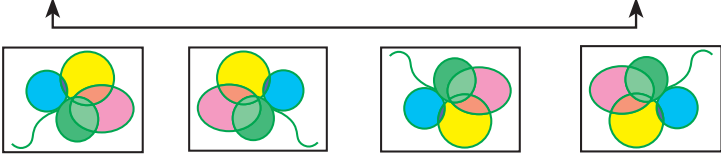
# 入力メニュー

「入力」メニューでは、下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ ( または リモコンの ENTER ボタン ) を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| プログレッシブ | カーソルボタン▲ / ▼で、プログレッシブモードを選択できます。<br>**TV ↔ フィルム ↔ オフ**<br>お知らせ<br>●この機能は、ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号、および HDMI 信号のうち 480i@60、576i@50 を受信している場合に動作します。<br>●「TV」、「フィルム」を選択すると、より鮮明な映像になります。「フィルム」は 2-3 プルダウン変換システムに適応しますが、物体がすばやく移動するシーンで線がギザギザになるなど、表示に不具合が出ることがあります。このような場合には「オフ」を選択してください。 |
| VIDEO NR | カーソルボタン▲ / ▼で、映像ノイズの低減レベルを選択できます。<br>**強 ↔ 中 ↔ 弱**<br>お知らせ<br>●この機能は、ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号、および HDMI 信号のうち 480i@60、576i@50 を受信している場合に動作します。<br>●この機能により画質が劣化することがあります。その場合は「中」、「弱」を選択してください。 |
| 色空間 | カーソルボタン▲ / ▼で、色空間モードを選択できます。<br>**オート ↔ RGB ↔ SMPTE240 ↔ REC709 ↔ REC601**<br>色空間モードは、色を表す方式を設定するためのモードです。<br>「オート」を選択すると適切な色空間モードが自動的に設定されます。<br>お知らせ<br>●コンピュータ信号、またはコンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ、選択が可能です。<br>●「オート」を選択すると適切なモードが自動的に選択されます。<br>●信号によっては「オート」が正しく動作しない場合があります。このような場合には、「オート」以外で入力信号に合う設定を選択してください。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
| --- | --- |
| ビデオ<br>フォーマット | S-VIDEO 端子と VIDEO 端子から受信する映像信号の、ビデオフォーマット（信号方式）を設定できます。<br>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。<br>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。<br>**オート ↔ NTSC ↔ PAL ↔ SECAM**<br>**↕ ↕**<br>**N-PAL ↔ M-PAL ↔ NTSC 4.43**<br>「オート」を選択すると、入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。<br>**お知らせ**<br>●この機能は、VIDEO 端子、S-VIDEO 端子からの映像信号を受信しているときのみ動作します。<br>●入力信号によっては正しく機能しない場合があります。画像が不安定な場合 ( 画像が乱れる、色がつかないなど ) には、オート以外で、入力信号に合った信号モードを選択してください。<br>●「オート」の実行には 10 秒程度の時間がかかる場合があります。 |
| HDMI<br>フォーマット | HDMI 端子から受信する映像信号のデジタルフォーマットが設定できます。<br>カーソルボタン▲ / ▼で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。<br>**オート ↔ VIDEO ↔ COMPUTER**<br>■オート：自動的にフォーマット判定<br>■ VIDEO：DVD 信号として映像処理を行います。<br>■ COMPUTER：コンピュータ信号として映像処理を行います。<br>**お知らせ**<br>●「COMPUTER」を選択していると、色の濃さ、色合い、オーバースキャンの調節はできません。 |
| HDMI<br>レンジ | HDMI 端子から受信する映像信号のデジタル信号モードを選択できます。<br>カーソルボタン▲ / ▼で、デジタル信号モードを選択します。<br>**オート ↔ ノーマル ↔ 拡張**<br>■「オート」モード：自動的に入力信号レベルに合わせます。<br>■「 ノーマル」モード：DVD 信号レベル（16-235）に合わせます。<br>■「拡張」モード：コンピュータ信号レベル（0-255）に合わせます。<br>**お知らせ**<br>●映像のコントラストが強すぎたり弱すぎたりするときに、本設定を切り替えると改善される場合があります。 |

## 入力メニュー ( つづき )

| 設定項目 | 操作内容 |
| --- | --- |
| COMPUTER<br>- イン | COMPUTER IN 1 / 2 端子から入力される映像信号（コンピュータ信号）の , 信号受信モードを設定できます。<br>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。<br>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から入力される映像信号の受信モードを選択してください。<br>**オート ↔ SYNC ON G オフ**<br>「オート」モードに設定すると、その端子からの SYNC. ON Green 信号、およびコンポーネントビデオ信号を受信できるようになります。COMPUTER IN 1 / 2 端子へのコンポーネントビデオ信号入力の接続については、(📖**4-4**) を参照してください。<br>「オート」モードで映像が正しく表示されない、または正常な入力信号が検出されない場合には、「SYNC ON G オフ」モードに設定してください。<br>**お知らせ**<br>●正常な入力信号が検出されないときに「SYNC ON G オフ」モードに設定する場合は、一旦信号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してください。 |
| フレームロック | COMPUTER IN1 / 2 端子から入力される映像信号の、フレームロック機能の有効 / 無効が設定できます。<br>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。<br>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、フレームロック機能の有効 / 無効を選択してください。<br>**有効 ↔ 無効**<br>フレームロック機能は、動画をよりスムーズに表示する為の機能です。<br>**お知らせ**<br>●この機能は、垂直周波数が 49 ～ 51Hz、59 ～ 61Hz の信号を受信しているときのみ有効です。<br>●この機能により画質が劣化することがあります。この場合には「無効」にしてください。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| 解像度 | COMPUTER IN1 / 2 端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。<br>入力メニューでカーソルボタン▲ / ▼とカーソルボタン▶で解像度を選択してください。解像度のメニューが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択します。<br>**■オート**<br>「オート」を選択すると、入力信号に適切な解像度が設定されます。<br>**■標準**<br>「標準」を選択すると、設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。<br>**■カスタムモード**<br>(1) カーソルボタン▲ / ▼で「カスタムモード」を設定すると、「解像度カスタム設定」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。<br>(2) 入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押してください。「解像度設定を変更しますか？」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、▶ボタンを押してください。設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。<br>(3)「カスタム」設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン◀（または ENTER ボタン）を押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。<br>お知らせ<br>●すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。 |

# 設置メニュー

「設置」メニューでは、下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ ( または リモコンの ENTER ボタン ) を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| デジタルズーム | カーソルボタン◀ / ▶で、デジタルズームを調節できます。<br>**縮小 ↔ 拡大**<br>**お知らせ**<br>●アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定によっては、メニューが画面からはみ出る場合があります。その場合は、アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定を変えて適正に表示されるようにしてください。 |
| デジタルシフトV | カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。<br>**下 ↔ 上**<br>**お知らせ**<br>●本機能はデジタルズームが 512(フルスクリーン)に設定されていると使用できません。 |
| デジタルシフトH | カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。<br>**左 ↔ 右**<br>**お知らせ**<br>●本機能はデジタルズームが 512(フルスクリーン)に設定されていると使用できません。 |
| 画像表示位置 | カーソルボタン▲ / ▼で、画面の縦位置を選べます。<br>**上 ↔ 中 ↔ 下**<br>**お知らせ**<br>●この項目は、以下のときには設定を変更できません<br>・「アスペクト」(📖**2-9**) の設定が 4 : 3 のとき<br>・「アスペクト」の設定が「ノーマル」で、受信している信号のアスペクトが 4 : 3 もしくは、縦の長さが 4 : 3 よりも長いとき<br>・「アスペクト」の設定が「リアル」のとき、表示される画面の縦幅が表示される範囲いっぱいに表示されているとき<br>・以下のメッセージが画面に表示されたとき<br>”信号が入力されていません”<br>”信号は同期範囲外です”<br>”入力信号が不安定です”<br>・ブランク画面（📖**2-20**) もしくはテンプレート画面（📖**2-23**) を表示しているとき |

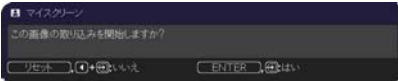
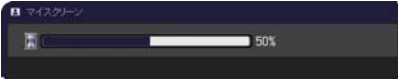
| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| **キーストン**<br>**(台形歪み補正)** | カーソルボタン◀ / ▶で、垂直キーストン(垂直方向の台形歪み)の補正量を調節できます。<br>**画像の下側を小さく ↔ 画像の上側を小さく**<br>**お知らせ**<br>●アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定によっては、メニューが画面からはみ出る場合があります。その場合は、アスペクト、デジタルズーム、キーストンの設定を変えて適正に表示されるようにしてください。<br>●キーストン補正の調節範囲は、入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。<br>●この項目は、「セキュリティ」メニューの「状態監視」を「有効」に設定しているときは選択できません。 |
| **エコモード** | カーソルボタン▲ / ▼で、エコモードを切り替えられます。<br>**ノーマル ↔ エコ**<br>「エコ」モードを選択すると、本機使用中の消費電力を抑え、動作音を低減できます。<br>**お知らせ**<br>●「エコ」モードでは画像の明るさもやや抑えられます。 |
| **反転表示** | カーソルボタン▲ / ▼で、画面の反転表示モードを選択できます。<br>**通常表示 ↔ 左右反転 ↔ 上下反転 ↔ 上下左右反転**<br>**例**<br>**お知らせ**<br>●「セキュリティ」メニュー（📖**2-40**）―「状態監視」（📖**2-43**）を「有効」に設定している状態で反転モードを変更し、電源を切ってから再度電源を入れると、状態監視アラームが表示されます。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| スタンバイモード | カーソルボタン▲ / ▼で、本機がスタンバイ状態であるときの消費電力モードを選択できます。<br>**通常 ↔ 省電力**<br>「省電力」を選択すると、消費電力を下げることができますが、スタンバイ時の機能が以下のように制限されます。<br>● RS-232C 通信はパワーオンおよびスタンバイモード切替以外は無効になります。<br>● MONITOR OUT 端子から信号は出力されません。<br>●「オーディオ」メニュー (📖**2-19**) の「音声入力設定」の設定に関わらず、AUDIO　OUT 端子から信号が出力されなくなります。<br>●ネットワークの通信はできません。 |
| モニターアウト | 本機の画面に表示する映像信号と MONITOR OUT 端子に出力される映像信号の組み合わせを設定できます。<br>以下の (1) で選択された端子からの信号がスクリーンに表示され、(2) で選択された端子の信号が MONITOR OUT 端子に出力されます。<br>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、映像信号の入力端子を選択してください。<br>本機がスタンバイ状態のときに出力される映像信号を設定するには、「スタンバイ」を選択してください。それは、スタンバイモードがノーマルに設定されているときのみ選択できます。<br>(2) カーソルボタン◀ / ▶で MONITOR OUT 端子に出力する COMPUTER IN の端子を選択してください。<br>COMPUTER IN1 は以下のように選択できます。<br>**COMPUTER IN1 ↔ オフ**<br>COMPUTER IN2 は以下のように選択できます。<br>**COMPUTER IN2 ↔ オフ**<br>他の入力端子とスタンバイは以下のように選択できます。<br>**COMPUTER IN1 ↔ COMPUTER IN2 ↔ オフ**<br>**お知らせ**<br>●「オフ」を設定すると、MONITOR OUT 端子から信号が出力されません。 |

# オーディオメニュー

「オーディオ」メニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ ( または リモコンの ENTER ボタン ) を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

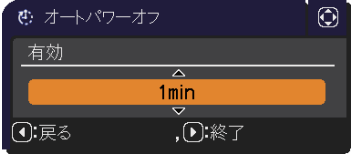
応用編

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| 音量 | カーソルボタン◀ / ▶で、音量を調節できます。<br>**小さく** ( −側 ) ↔ **大きく** ( ＋側 ) |
| スピーカー | カーソルボタン▲ / ▼で、内蔵スピーカーのオン／オフを選択できます。<br>**オン** ↔ **オフ**<br>オフが選択されているときは、内蔵スピーカーから音声が出力されません。 |
| 音声入力設定 | 音声信号の入力端子と映像信号の入力端子の組み合わせを設定します。<br>以下の (1) で選択した端子から入力された画像がスクリーンに出力される時、(2) で選択した端子から入力された音声が出力されます。<br>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、選択する映像信号の入力端子を選択してください。<br>COMPUTER IN1 ↔ COMPUTER IN2<br>↕<br>オーディオアウト スタンバイ ↕<br>↕<br>VIDEO ↔ S-VIDEO ↔ HDMI<br>本機がスタンバイ状態であるときに AUDIO OUT 端子から出力される音声信号を設定するには、「オーディオアウト スタンバイ」を選択してください。<br>戻るを選んでカーソルボタン◀（または ENTER）ボタンを押すと前のメニューに戻ります。<br>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した映像信号の入力端子に組み合わせる音声信号の入力端子を設定してください。<br>AUDIO IN1 ↔ AUDIO IN2 ↔ AUDIO IN3 ↔ 🔇 ↔ H<br>• 「H」は、HDMI 端子のみ設定することができます。H を設定すると、映像入力に HDMI 端子が選択されたとき HDMI 端子の音声信号が出力されます。<br>お知らせ<br>●本機がスタンバイ状態のときには、内蔵スピーカーから音声が出力されません。<br>●「スタンバイモード」(📖**2-18**) で「省電力」が選択されている場合は「オーディオアウトスタンバイ」を選択できません。<br>● 消音「🔇」を設定すると、音声信号が出力されません。<br>● 消音「🔇」 を選んだ場合メニューの「C.C.」−「ディスプレイ」が「オート」に設定されていれば、C.C. 対応の NTSC 方式の S- ビデオ信号、ビデオ信号または COMPUTER IN1、COMPUTER IN2 に入力される 480i@60 を受信すると、自動的に C.C. 機能が有効になります。 |
| HDMI AUDIO | HDMI AUDIO は、初期値は 1 に設定されています。もし音声が出ないときは 2 に切り替えてみてください。 |

# スクリーンメニュー

「スクリーン」メニューでは下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ ( または
リモコンの ENTER ボタン ) を押すと、操作を開始または実行でき
ます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| **表示言語** | カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー表示言語を選択できます。<br>選択した表示言語を適用するには、ENTER または入力切替ボタンを押してください。 |
| **メニュー位置** | カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー位置を調節できます。操作を終了するには、リモコンのメニューボタンを押すか、約 10 秒間操作しないと終了します。 |
| **ブランク** | カーソルボタン▲ / ▼で、ブランク画面を選択できます。<br>ブランク画面はリモコンのブランクボタンを押したときに投映される映像です。<br>**マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 青 ↔ 白 ↔ 黒**<br>■**「マイスクリーン」**:「マイスクリーン」(📖**2-21**) で登録したお好みの映像が表示されます。<br>■**「オリジナル」**: 本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。<br>■**「青、白、黒」**: 各色の無地画面が表示されます。<br>お知らせ<br>●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。 |
| **初期画面** | カーソルボタン▲ / ▼で、初期画面を選択できます。「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない ( 入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など ) ときに投映される映像です。<br>**マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 表示しない**<br>■**「マイスクリーン」**:「マイスクリーン」(📖**2-21**) で登録したお好みの映像が表示されます。<br>■**「オリジナル」**: 本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。<br>■**「表示しない」**: 黒の無地画面が表示されます。<br>お知らせ<br>●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分でブランク画面に変わります。「ブランク」(📖 **上記** ) で「マイスクリーン」または「オリジナル」が選択されている場合は、黒の無地画面に変わります。<br>●「セキュリティ」メニューで、マイスクリーンパスワード機能が有効に設定 (📖**2-41**) されているときは、初期画面は「マイスクリーン」に固定されます。 |

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>マイスクリーン</td><td>ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像 ( マイスクリーン ) を登録することができます。あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。<br>(1)「マイスクリーン」を選択してダイアログを表示させ、「マイスクリーン」に登録したい映像が画面に表示されるのを待ってリモコンのENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押してください。<br>画面が静止し、登録する画像の位置を指定する為の枠が表示されます。<br>タイミングを間違えた、他の画面を登録したい、という場合はリモコンのリセットボタンを（または操作パネルのカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に）押してください。枠が消えて画面の静止が解除されます。<br>(2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で登録する画像の位置を調節してください。（受信中の信号によっては、位置調節ができない場合があります。）<br>位置調節が終わったら、リモコンの ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して画像の登録を開始してください。<br>画像の位置を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場合はリセットボタンを（または操作パネルのカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に）押してください。<br>登録には数分ほどかかります。<br>登録が完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。<br>登録に失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。<br>マイスクリーン<br>この画像の取り込みを開始しますか?<br>リセット ◀+⊞いいえ ENTER ⊞はい<br>マイスクリーン<br>位置を設定してください。<br>リセット ◀+⊞いいえ ENTER ⊞はい<br>マイスクリーン<br>50%<br>お知らせ<br>●この項目は、「マイスクリーンロック」（📖 下記 ) が「有効」に設定されているときは選択できません。<br>●この項目は、「セキュリティ」メニューのマイスクリーンパスワード機能（📖2-41）が有効に設定されているときは選択できません。<br>●この項目は、HDMI 信号では、選択できません。</td></tr>
<tr><td>マイスクリーンロック</td><td>カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。<br>有効 ↔ 無効<br>「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。<br>お知らせ<br>●この項目は、マイスクリーンパスワード機能が有効に設定されているときは選択できません。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>メッセージ</td><td>カーソルボタン▲ / ▼で、メッセージモードを選択できます。<br>表示する ↔ 表示しない<br>「表示する」を選択すると、以下のメッセージが表示されます。<br>・「オート実行中」<br>・「信号が入力されていません」<br>・「信号は同期範囲外です」<br>・「入力信号が不安定です」<br>・「検索中…」<br>・「信号検出中…」<br>・「操作できないボタンが入力されました」<br>・入力切替による入力信号表示<br>・「アスペクト」の変更による縦横比の表示<br>・「マイメモリー」の変更による表示<br>・「映像モード」の変更による表示<br>・静止ボタンを押したときの「静止」<br>・「テンプレート」の変更による表示<br>お知らせ<br>● 「表示しない」に設定したときは、静止ボタンを押して映像を静止させても「静止」のメッセージが表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度静止ボタンを押す必要があります。静止ボタンを押して映像を静止させていることを忘れないようご注意ください。</td></tr>
<tr><td>入力<br>チャンネル名</td><td>本機の入力端子に名前 ( チャンネル名 ) を割り当てることができます。<br>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択してください。<br>(2) カーソルボタン▶を押すと、「入力チャンネル名」ダイアログが表示されます。以下の手順にしたがって、チャンネル名を登録してください。<br>入力チャンネル名<br>COMPUTER IN 1 : Desktop PC<br>COMPUTER IN 2 : note PC<br>HDMI : HDD Recorder<br>S-VIDEO : CAMERA<br>VIDEO : DVD<br>:戻る<br>■チャンネル名を入力する<br>最初の行（下線付き）に現在のチャンネル名が表示されます。名前をまだ指定していないときは、最初の行は空白です。<br>カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して入力してください。リセットボタン（またはカーソルボタン◀と入力切替ボタンの同時押し）で 1 文字削除することができます。また、「全消去」で ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押すと表示されている文字を全て削除することが出来ます。チャンネル名は最大 16 文字入力できます。<br>■チャンネル名を編集する<br>カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、チャンネル名が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して選択します。選択した文字を、チャンネル名を入力するときと同じ手順で編集してください。<br>■チャンネル名を保存する<br>チャンネル名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶ ( または ENTER ボタン )、または操作パネルの入力切替ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀ ( または ENTER ボタン )、または入力切替ボタンを押します。</td></tr>
</table>

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| テンプレート | カーソルボタン▲ / ▼で、テンプレート画面のパターンを選択できます。<br>テストパターン ↔ 点線 1 ↔ 点線 2 ↔ 点線 3<br>地図 2 ↔ 地図 1 ↔ 円 2 ↔ 円 1 ↔ 点線 4<br>選択したテンプレート画面を表示させるには、カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押してください。<br>カーソルボタン◀で表示画面からパターン選択画面に戻ります。<br>テンプレート画面は、テンプレート機能を割り当てられたマイボタン 1/2(📖**2-28**) を押すことによっても表示できます。表示はマイボタンを押す直前に選択していたテンプレート画面となります。<br><br>地図 1 および地図 2 では、地図を水平にスクロールしたり上下をさかさまに表示することができます。地図 1 もしくは地図 2 でリモコンのリセットボタンを 3 秒以上押すとガイタンスが表示されます。<br>ガイダンスには、地図表示の以下の機能のボタン操作を示します。<br>カーソルボタン▲を押してから ENTER または入力切替ボタンを押す：北半球が、上側で示されます<br>カーソルボタン▼を押してから ENTER または入力切替ボタンを押す：南半球が上側で示されます。<br>カーソルボタン◀ / ▶を押してから ENTER または入力切替ボタンを押す：水平に地図をスクロールします。 |

応用編

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| C.C.<br>(Closed<br>Caption) | クローズドキャプション（C.C.）は、ビデオやテレビ番組、ファイルなどの、音声情報やその他の付加的な文字情報を、表示ガイドや字幕などの視覚的な情報として画面に写す機能です。この機能をお使いいただくためには、C.C.に対応した、NTSC 方式のテレビ（ビデオ）信号や480i@60 コンポーネントビデオ信号が必要です。接続している機器や信号源によっては適切に働かない場合があります。この場合、C.C. を無効にしてください。<br>カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択してください。カーソルボタン▶ または ENTER ボタンを押すと、その項目のダイアログが表示されます。 |
| | **ディスプレイ**<br>カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示設定を切り替えられます。<br>**オート ↔ 有効 ↔ 無効**<br>■**「オート」**: 音声がミュートになると、自動的にクローズドキャプションを表示します。<br>■ **「有効」**: クローズドキャプションを表示します。<br>■ **「無効」**: クローズドキャプションを表示しません。<br>お知らせ<br>●画面にメニュー表示が出ている間は、クローズド·キャプションは表示されません。<br>●クローズドキャプション (C.C.) は、テレビ信号やその他のビデオ信号に含まれる対話やナレーションの内容、効果音等の情報を文字で画面に表示する機能です。本機能をお使いになるには、C.C. 機能に対応した映像信号が必要です。 |
| | **モード**<br>カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示モードを選択できます。<br>**キャプション ↔ テキスト**<br>■ **「キャプション」**: 音声情報の字幕を表示します。<br>■ **「テキスト」**: 報道内容や番組ガイド等の文字情報を、スクリーン全体を使って表示します。 C.C. 機能に対応したすべての映像信号が「テキスト」に対応しているわけではありません。 |
| | **チャンネル**<br>カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの言語チャンネルを設定できます。<br>1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4<br>■ **「1」**: チャンネル 1　第一チャンネル / 主言語<br>■ **「2」**: チャンネル 2<br>■ **「3」**: チャンネル 3<br>■ **「4」**: チャンネル 4<br>使用するチャンネル、言語は、ご覧になるビデオやテレビ番組などによって異なります。 |

# その他メニュー

「その他」メニューでは下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ ( または ENTER ボタン ) を押すと操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

| 設定項目 | 操作内容 |
| --- | --- |
| オートサーチ | カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号の自動検索機能の有効 / 無効を設定できます。<br>**有効 ↔ 無効**<br>「有効」を選択すると、信号を受信できなくなったとき、本機は自動的に他の端子からの入力信号を検索し始めます。正常な入力信号が見つかると、検索をやめ、その映像が表示されます。<br>検索は、オートサーチ実行前に選択されていた入力端子から、正常な入力信号を検出するまで、次の順序で繰り返し行われます。<br>COMPUTER IN1 → COMPUTER IN2<br>↑ ↓<br>VIDEO ← S-VIDEO ← HDMI |
| ダイレクトパワーオン | カーソルボタン▲ / ▼で、ダイレクトパワーオン機能の有効／無効を設定できます。<br>**有効 ↔ 無効**<br>「有効」に設定すると、本機の使用中 ( ランプ点灯中 ) に、テーブルタップのスイッチやブレーカーをご使用になって電源を切ったあと、再度電源を接続したときに、点灯／消灯ボタンの操作無しで電源が入り、ランプが自動的に点灯します。<br>お知らせ<br>●以下のいずれかの手順で電源を切った場合は、電源を接続しても、ランプは自動的に点灯しません。点灯／消灯ボタンを押して点灯してください。<br>・点灯／消灯ボタンでランプを消灯したとき。<br>・オートパワーオフ機能でランプが消灯したとき（📖2-26)。<br>●ダイレクトパワーオン機能で電源が入ってから約 30 分間、何も信号が入力されなかったり、何も操作をされなかった場合は、オートパワーオフ機能が無効設定になっていても、自動的にランプが消灯します。 |

応用編

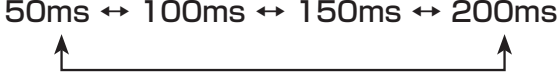
| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| オートパワーオフ | カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る ( ランプを消灯し、冷却動作を始める ) までの待ち時間を設定できます。<br>**長く ( 最長 99 分 )　↔　短く ( 最短 1 分、0 分 : 無効 )**<br>例<br>オートパワーオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。<br>有効に設定 ( 待ち時間を設定 ) すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的にランプが消灯します。<br>**お知らせ**<br>●リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Get コマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートパワーオフ機能は動作しません。<br>●手動で電源を切る方法については「電源を切る」(📖**1-27**) をお読みください。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| ランプ時間 | メニューに表示されている「ランプ時間」の右側の値は、ランプの使用時間です。初期、または前回ランプ時間を初期化した時から現在までのランプの点灯時間を1時間単位で表示します。<br>「ランプ時間」を選択してカーソルボタン▶（またはENTERボタン、リセットボタン）を押すと、ランプ時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ランプ時間を初期化することができます。<br>**初期化しない　→　OK**<br>ランプ時間を初期化した後は、メニューの「ランプ時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。<br>お知らせ<br>●ランプを交換したときは必ずランプ時間を初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。<br>●ランプ交換の際は必ず「ランプを交換する」（📖**1-35,36**）をお読みください。 |
| フィルター時間 | メニューに表示されている「フィルター時間」の右側の値は、エアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルター時間を初期化した時からの現在までの本機の稼動時間を1時間単位で表示します。<br>「フィルター時間」を選択してカーソルボタン▶（またはENTERボタン、リセットボタン）を押すと、フィルター時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、フィルター時間を初期化することができます。<br>**初期化しない　→　OK**<br>フィルター時間を初期化した後は、メニューの「フィルター時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。<br>お知らせ<br>●エアーフィルターを掃除または交換したときは必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィルターの掃除または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルター時間の値が一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージ（📖**2-30**）が正しく表示されません。<br>●エアーフィルターの掃除または交換については、「エアーフィルターを掃除／交換する」（📖**1-37**）をお読みください。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| マイボタン | リモコン上の2つのマイボタン 1/2 に機能を割り当てることができます。<br>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定するボタン（1 または 2）を選択してカーソルボタン▶（または ENTER ボタン）でマイボタンセットアップダイアログを表示します。<br>(2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でマイボタンに割り当てる機能を選択し、リモコンの ENTER または入力切替ボタンを押してください。<br>◎ COMPUTER IN1：COMPUTER IN1 端子からの信号を選択します。<br>◎ COMPUTER IN 2：COMPUTER IN2 端子からの信号を選択します。<br>◎ HDMI：HDMI 端子からの信号を選択します。<br>◎ S-VIDEO：S-VIDEO 端子からの信号を選択します。<br>◎ VIDEO：VIDEO 端子からの信号を選択します。<br>◎インフォメーション：「入力 _ インフォメーション」ダイアログ ( 受信中の入力信号情報 )(📖**2-34**）を表示します。映像信号が入力されていない、または正常な入力信号を検出できない場合は何も表示されません。<br>◎マイイメージ：マイイメージメニューを表示します。(📖**2-38**）<br>◎メッセンジャー：メッセンジャーテキストデータの表示 / 非表示画面を切り替えます。表示するデータがないときは、「メッセンジャー機能のデータが有りません」と表示します。<br>◎マイメモリー:「マイメモリー」で記憶した設定のロード操作を行います。(📖**2-8**）<br>■マイメモリーを設定したときのマイボタン動作<br>設定データがメモリに保存されていれば、マイボタン 1/2 を押すたびに、順次設定データを呼び出し適用します。メモリに設定データが保存されていないときは「保存データ無し」のダイアログが表示されます。マイボタン 1/2 を押したときの「映像」メニューの設定とロードしようとする設定が異なると、右のようなダイアログが現れます。<br>現在の設定を変えたくない場合はカーソルボタン▶を押してください。データをロードすると、現在の設定が上書きされます。<br>◎映像モード：映像モードを変更します。（📖**2-4**）<br>◎フィルターリセット：フィルター時間の初期化確認ダイアログを表示します。（📖**2-27**）<br>◎テンプレート：テンプレート選択画面の表示／非表示を切り替えます。（📖**2-23**）<br>◎デジタルズーム：デジタルズームのメニューのオン／オフを切り替えます。デジタルズームのメニューがオンのときにカーソルボタン◀ / ▶で拡大率を変更できます。<br>◎デジタルシフト：デジタルシフトのメニューのオン／オフを切り替えます。デジタルシフトのメニューがオンのときにカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で画面を移動できます。<br>◎ AV ミュート：映像と音声のオン／オフを切り替えます。<br>◎解像度：解像度のメニューの表示／非表示を切り替えます。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| マイソース | カーソルボタン▲ / ▼で、リモコンのマイソースボタンで選択できる、映像信号の入力端子を設定することができます。<br>COMPUTER IN1 ↔ COMPUTER IN2<br>↕ ↕<br>VIDEO ↔ S-VIDEO ↔ HDMI<br>お知らせ<br>●ドキュメントカメラからの信号を入力している端子を設定すれば、マイソースボタンをドキュメントカメラ用として使用することができます。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| 特別な設定 | この項目を選択してカーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、「特別な設定」メニューが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択してください。カーソルボタン▶ ( またはリモコンの ENTER ボタン ) を押すと、その項目のダイアログが表示されます。 |
| | **ファン速度**<br>カーソルボタン▲ / ▼で、冷却ファンの回転速度モードを選択できます。<br>**高速 ↔ 標準**<br>山岳地域などの高地でご使用の場合には、「高速」設定とすることをおすすめします。「高速」に設定すると本機のファンの回転速度を上げ、冷却効率を上げることができます。<br>**お知らせ**<br>●「高速」ではファンによる騒音が大きくなります。また、高地以外で設定すると、逆に部品 ( ランプなど ) の信頼性に影響を与える恐れがあります。 |
| | **オートアジャスト**<br>カーソルボタン▲ / ▼で、画面の自動調整を実行する際に自動的に調整、あるいは初期設定に戻す項目を設定できます。<br>**詳細 ↔ 高速 ↔ 無効**<br>自動的に調整される項目は、受信中の信号によって異なります。<br>■**「詳細」**: 画面の自動調整を実行すると、各項目が自動的に調整されます。<br>■**「高速」**: 画面の自動調整を実行すると、自動的に調整される項目のうち、「水平サイズ」は初期設定に戻り、残りの項目は自動的に調整されます。<br>■**「無効」**: 画面の自動調整を実行すると、各項目が初期設定に戻ります。<br>**お知らせ**<br>●入力信号、信号ケーブル、接続機器の状態によっては正常に機能しない場合があります。その場合は、「無効」に設定してから、手動で調整をお願いします。 |
| | **ゴースト**<br>(1) カーソルボタン◀ / ▶で、調節する色を選択してください。<br>(2) カーソルボタン▲ / ▼で、ゴーストが見えなくなるように調節してください。 |
| | **フィルター掃除通知**<br>カーソルボタン▲ / ▼で、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが表示されるまでの時間を設定できます。<br>**500h ↔ 1000h ↔ 2000h ↔ 3000h ↔ 4000h ↔ 5000h ↔ 無効**<br>エアーフィルターを清潔に保てるよう、本機のご使用環境に合わせて設定してください。「無効」以外を設定すると、フィルター時間 (📖**2-27**) の値が設定した時間に達したとき、エアーフィルターの掃除をお願いするメッセージが表示されます。「無効」が設定されていると、このお知らせメッセージは表示されません。<br>**お知らせ**<br>●お掃除メッセージが表示されなくても、エアーフィルターは定期的に掃除してください。エアーフィルターがホコリなどでつまると、本機の内部温度が上がり過ぎて、故障や本機の寿命を縮める原因となることがあります。<br>●ご使用環境やエアーフィルターの状態に気を付けてご使用ください。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| 特別な設定<br>（つづき） | **キーロック**<br>カーソルボタン▲ / ▼で、操作パネルのボタンをロック設定できます。<br>**有効 ↔ 無効**<br>「有効」を選ぶと、点灯／消灯ボタン以外の操作パネルのボタンを押しても反応しなくなります。<br>お知らせ<br>●いたずらや誤操作を防止したい場合などに、この機能をご使用ください。リモコン操作には影響しません。 |
| | **リモコン周波数**<br>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、信号受信周波数モードを選択します。<br>1：**標準** ↔ 2：**高**<br>(2) カーソルボタン◀ / ▶でリモコン受光部の有効 / 無効を切り替えてください。<br>**有効 ↔ 無効**<br>工場出荷時には「1：標準」と「2：高」の両方とも有効になっています。リモコンが正常に機能しない場合、「1: 標準」または「2:高」だけを有効にしてみてください。「1：標準」と「2：高」の両方を無効にすることはできません。 |

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">操作内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">特別な設定<br>(つづき)</td><td colspan="2">通信設定<br>この項目を選択してカーソルボタン▶ または ENTER ボタン を押すと、「通信設定」メニューが表示されます。<br>このメニューは、CONTROL 端子の通信設定を構成することができます。カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択します。<br>▶ボタンを押すと、サブメニューの選択した設定項目が開きます。<br>または、◀ボタンを押すと変更設定に関係なくひとつ前の画面に戻ります。<br><br>お知らせ<br>●「通信タイプ」(📖 下記 ) を「オフ」に設定していると「通信設定」メニューの、他の項目は選択できません。</td></tr>
<tr><td>通信設定</td><td>通信タイプ<br>CONTROL 端子を経由する伝達通信タイプを選択できます。<br>ネットワークブリッジ ↔ オフ<br>■「ネットワークブリッジ」:<br>コンピュータから本機を経由して、外部機器をネットワーク端末として制御したい時に選択してください。詳細は、【ネットワーク編】「3.8 プロジェクターを経由して外部機器を制御する（ネットワークブリッジ機能を使う)」（📖3-40）をご参照ください。<br>■「オフ」:<br>CONTROL 端子をコンピュータに接続して RS-232C 通信を行う時に選択してください。<br><br>お知らせ<br>●工場出荷時は、「オフ」に設定されています。<br>●ネットワークブリッジを選択する時は、通信方式をご確認ください。</td></tr>
</table>

| 設定項目 | | 操作内容 |
|---|---|---|
| 特別な設定<br>(つづき) | 通信設定<br>(つづき) | **シリアル設定**<br>「通信タイプ」が「ネットワークブリッジ」に設定されているときのCONTROL 端子の通信状態を選択することができます。<br>**ボーレート**<br>4800 bps ↔ 9600 bps<br>↕ ↕<br>38400 bps ↔ 19200 bps<br>**パリティ**<br>**なし ↔ 奇数 ↔ 偶数**<br>お知らせ<br>●「通信タイプ」が「オフ」に設定されているときは、ボーレートは「19200bps」パリティは「なし」に固定されます。<br>●ネットワークブリッジを選択する時は、「通信方式」をご確認ください。 |
| | | **通信方式**<br>このメニューは、通信タイプのネットワークブリッジが選択されている時のみご利用になれます。<br>ネットワークブリッジの、CONTROL 端子からの伝達用の通信方式を選んでください。<br>**半二重通信 ↔ 全二重通信**<br>■ **「半二重通信」**: データの送信、受信を交互に行います。<br>■ **「全二重通信」**: データの送受信を同時に行います。<br>お知らせ<br>●工場出荷時は、「半二重通信」に設定されています。<br>●半二重通信を選択する時は、応答データ受信期間とバイト間タイムアウトの項目をご確認ください。 |
| | | **応答データ受信期間**<br>このメニューは、通信タイプにネットワークブリッジ、通信方式に半二重通信が設定されている時のみご利用になれます。<br>外部機器からの応答を待つ時間を選択してください。<br>**オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s**<br>■「オフ」: コンピュータから連続してデータを送信することができます。送信先の外部機器からの応答データを確認しなくてもよい場合に選択してください。<br>■ 1s/2s/3s : 送信先の機器からの応答待機時間を 設定します。その間は、本機の CONTROL 端子からデータは送信されません。<br>お知らせ<br>●工場出荷時は、オフに設定されています 。 |

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">操作内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">特別な設定<br>(つづき)</td><td>通信設定<br>(つづき)</td><td>バイト間タイムアウト<br>このメニューは、通信タイプにネットワークブリッジ、通信方式に半二重通信が設定されている時のみご利用になれます。<br>外部機器からの応答データが終了と判断できる為の時間を選択してください。<br>50ms ↔ 100ms ↔ 150ms ↔ 200ms<br>お知らせ<br>●工場出荷時は、50ms に設定されています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">インフォメーション<br>この項目を選択すると「入力 _ インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。<br>入力_インフォメーション / COMPUTER IN 1 / 1024 x 768 @60Hz / フレームロック / ◀:戻る ,▶:終了<br>入力_インフォメーション / S-VIDEO / PAL / オート / ◀:戻る ,▶:終了<br>入力_インフォメーション / COMPUTER IN 1 / 1080i @ 60Hz / ◀:戻る ,▶:終了<br>お知らせ<br>● " フレームロック” と表示されている場合は、フレームロック機能（📖2-14）が動作していることを示します。<br>●無信号と同期外れ状態では、この項目は選択できません。<br>●「セキュリティ」(📖2-40) ー「マイテキスト表示」(📖2-46) が「有効」に設定されていると、「入力 _ インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">工場出荷設定<br>カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。<br>初期化しない → OK<br>お知らせ<br>●マイスクリーンパスワード（📖2-41）が設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。また、マイスクリーン画像もクリアされません。<br>●「ランプ時間」、「フィルター時間」、「表示言語」、「フィルター掃除通知」、「ネットワーク」、「スタンバイモード」および「セキュリティ」の各項目の設定は初期化されません。</td></tr>
</table>

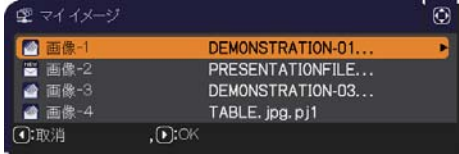
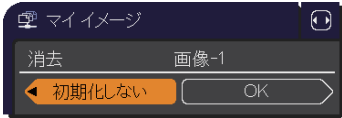
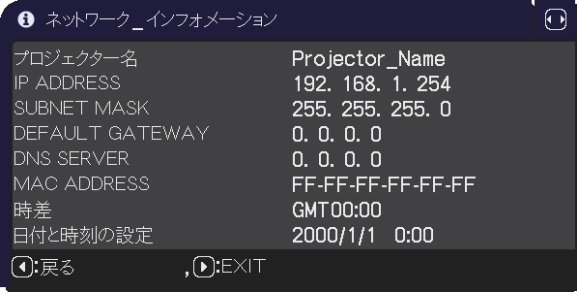
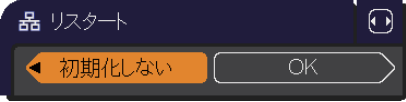
# ネットワークメニュー

本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

「メニュー機能の使い方」(📖**2-2, 3**)に従い、「ネットワーク」メニューを表示してください。「ネットワーク」メニューでは、下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。
ネットワーク機能の詳細については、【ネットワーク編】をご参照ください。

**お知らせ**

- ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合、日時(📖**2-36**)を設定する必要があります。
- 設置メニューのスタンバイモードが「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときネットワークの通信はできません。スタンバイモードを「通常」に設定してから本機をネットワークに接続してください。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">操作内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">セットアップ</td><td colspan="2">この項目を選択してカーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押すと、「ネットワークセットアップ」メニューを表示します。<br>カーソルボタン▲ / ▼で、設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のダイアログが表示されます。</td></tr>
<tr><td>DHCP<br>(Dynamic Host Configuration Protocol)</td><td>カーソルボタン▲ / ▼で、DHCP のオン/オフを切り替えることができます。<br>オン ↔ オフ<br>ネットワークが、「DHCP」に対応していない場合は「オフ」を選択してください。<br>お知らせ<br>● 「DHCP」を「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。<br>● 「DHCP」が「オン」に設定されているのに DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、自動的に IP アドレスが割り当てられます。</td></tr>
</table>

| 設定項目 | | 操作内容 |
|---|---|---|
| セットアップ<br>( つづき ) | IP ADDRESS | カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、IP アドレスを入力します。<br>この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。<br>お知らせ<br>● IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。<br>● IP アドレスに“0.0.0.0”は設定できません。 |
| | SUBNET MASK | カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、ご利用のコンピュータと同じサブネットマスクを入力します。<br>この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。<br>お知らせ<br>●サブネットマスクに“0.0.0.0”は設定できません。 |
| | DEFAULT GATEWAY | カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、デフォルトゲートウェイを入力します。<br>デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。<br>この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。 |
| | DNS SERVER | カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、DNS サーバーのアドレスを入力します。<br>DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名とＩＰアドレスを対応させるシステムです。 |
| | 時　差 | カーソルボタン▲ / ▼で、時差を入力します。<br>ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。不確かな場合はネットワーク管理者にお尋ねください。<br>時差を設定し終えたら、カーソルボタン▶を押すと、「ネットワークセットアップ」メニューに戻ります。 |
| | 日付と時刻の設定 | カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、年（西暦下 2 桁）、月、日、時、分を入力します。<br>接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| プロジェクター名 | 本機の名前 ( プロジェクター名 ) を登録することができます。<br>■プロジェクター名を入力する<br>最初の 3 行 ( 下線付き ) に現在のプロジェクター名が表示されます。プロジェクター名をまだ登録していないときは、最初の 3 行は空白です。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、ENTER または入力切替ボタンを押して入力してください。リセットボタンもしくはカーソルボタン◀入力切替ボタンの同時押しで 1 文字削除することができます。また、カーソルを画面上の「消去」または「全消去」に移動させ、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押すと、1 文字または表示されている文字を全て削除することが出来ます。最大 64 文字まで入力できます。<br>■プロジェクター名を変更／削除する<br>カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、プロジェクター名が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して選択します。選択した文字を、プロジェクター名を入力するときと同じ手順で編集してください。<br>■プロジェクター名を保存する<br>プロジェクター名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「ＯＫ」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、ENTER または入力切替ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、ENTER または入力切替ボタンを押します。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| マイ イメージ | マイ イメージ機能で転送された静止画像を、本機で表示できます。<br>カーソルボタン▲ / ▼で、表示したい画像ファイルを選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、画像を表示できます。<br>**画像 -1 ↔ 画像 -2 ↔ 画像 -3 ↔ 画像 -4**<br>(1) 画像が表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼で表示する画像を切り替えることができます。画像表示中にリセットボタンを押すと、マイ イメージ消去確認ダイアログが表示されます。<br>(2) ダイアログが表示されている間にカーソルボタン▶を押すと、表示している画像のファイルを、記録メディアから削除できます。削除したくない場合は、カーソルボタン◀を押してください。<br>マイ イメージ機能を使用するには、専用のソフトウェアが必要です。日立のホームページからダウンロードしてご使用ください。ホームページの「サービス&サポート」欄から、画面表示に従って、ダウンロードできます。<br>**日立ホームページ URL　http://www.hitachi.co.jp/proj/**<br>詳細は、**【ネットワーク編】**「3.5 マイイメージ」（📖**3-33**）をご参照ください。<br>**お知らせ**<br>●静止画像を含まない項目は選択できません。<br>●表示できる画像ファイル名は半角で 16 文字以内です。<br>●本機の表示言語（📖**2-20**）が日本語に設定されていないと、日本語のファイル名は正しく表示されません。また、日本語に設定されていると、英数字以外の文字（Ç, ä など）は正しく表示されません。 |
| AMX D.D.<br>(AMX Device Discovery) | 「AMX デバイスディスカバリー 」の設定を行います。この項目をオンに設定すると、同じネットワークに接続した AMX コントローラで本機を検出することができるようになります。「AMX デバイスディスカバリー 」についてのの詳細は、AMX のホームページ　URL:http://www.amx.com　をご覧ください。 |

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>インフォメーション</td><td>この機能は、「インフォメーション」を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押した時点で実行されます。<br>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「ネットワーク _ インフォーメーション」ダイアログが表示され、現在のネットワーク設定情報を確認することができます。<br><br>ネットワーク_インフォメーション<br>プロジェクター名 Projector_Name<br>IP ADDRESS 192. 168. 1. 254<br>SUBNET MASK 255. 255. 255. 0<br>DEFAULT GATEWAY 0. 0. 0. 0<br>DNS SERVER 0. 0. 0. 0<br>MAC ADDRESS FF-FF-FF-FF-FF-FF<br>時差 GMT00:00<br>日付と時刻の設定 2000/1/1 0:00<br>:戻る ,:EXIT<br><br>お知らせ<br>●「プロジェクター名」は、最初の 16 文字のみが表示されます。<br>●「プロジェクター名」は、未登録の場合、空欄が表示されます。<br>● 内蔵時計用電池の電圧が低下すると、正確な日時が入力されていても設定時刻に狂いが生じる場合があります。「内蔵時計用電池の交換」（📖1-39）の手順に従って電池を交換してください。<br>●「DHCP」（📖2-35）を「オン」に設定しているのに、本機が DHCP サーバーからアドレスを習得できていない場合、「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、および「DEFAULT GATEWAY」はそれぞれ“0.0.0.0”と表示されます。</td></tr>
<tr><td>特別な設定</td><td>ネットワーク リスタート<br>ネットワーク設定を初期化して、再起動することができます。<br>ネットワークの動作が止まったとき、操作ができなくなったときなどに実行してください。<br>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、リスタート確認ダイアログが表示されます。<br><br>特別な設定<br>リスタート 実行する<br>:RETURN<br><br>カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ネットワークをリスタートします。<br><br>リスタート<br>初期化しない OK<br><br>お知らせ<br>● ネットワークリスタートを実行すると、ネットワークが一時切断されます。<br>●「DHCP」（📖2-35）が「オン」に設定されていると、IP アドレスが変更される場合があります。<br>● ネットワークリスタート実行後、「ネットワーク」メニューは約 30 秒間操作できなくなります。</td></tr>
</table>

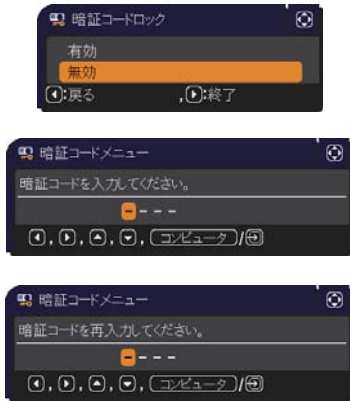
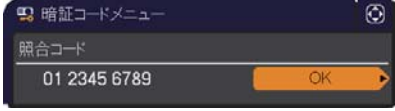
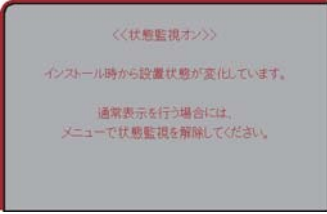
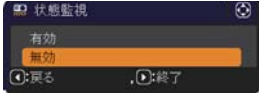
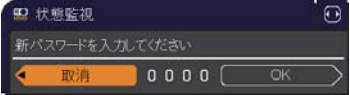
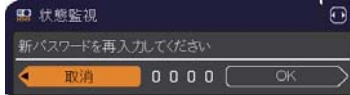
# セキュリティメニュー

本機はセキュリティ機能を備えています。
「セキュリティ」では、下表の項目を操作することができます。
パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、
保証書はかならず大切に保管してください。

1. カーソルボタンの▲ / ▼で「セキュリティ」メニューの「パスワードを入力してください」を選びカーソルボタン▶を押してください。「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。

2. カーソルボタンの▲ / ▼ / ◀ / ▶で登録されているセキュリティパスワードを入力してください。工場出荷時には、パスワードは 5010 に設定されています。セキュリティパスワードは変更できます（📖 **下記**）。カーソルを「パスワードを入力してください」ダイアログの右端に移動して、カーソルボタン▶ ( または ENTER ボタン ) を押し、「セキュリティ」メニューを表示します。
3. 下表の項目を操作することができます。

**セキュリティパスワードを忘れた場合**

1. 「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されている間に、リセットボタン、または操作パネルのカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に３秒間押すと、「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。
2. 10 桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて
**お客様ご相談窓口 ( 家電ビジネス情報センター )　TEL 0120-3121-19**
までご連絡ください。確認後パスワードをご連絡いたします。

**お知らせ**
- ●間違ったパスワードを 3 回入力すると、電源が切れます。これ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。
- ●「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されているときに一定時間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。
- ●工場出荷時のパスワードはできるだけ早めに変更してください。

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| セキュリティパスワード変更 | セキュリティパスワードを変更することができます。<br>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、「セキュリティ」メニューのセキュリティパスワード変更を選び▶を押してください。「新パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。<br>(2) カーソルボタンの▲ / ▼ / ◀ / ▶で、新パスワードを入力してください。<br>(3) カーソルを「新パスワードを入力してください」ダイアログの右端に移動します。カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されますので、同じパスワードを入力してください。<br>(4) カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動して、カーソルボタン▶を押すと、新しいセキュリティパスワードが設定され、「 新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。この間に新しいパスワードをメモしてください。ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「セキュリティ」メニューに戻ります。<br>**お知らせ**<br>●セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| マイスクリーンパスワード | マイスクリーンパスワード機能で、マイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。<br>**1 マイスクリーンパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）**<br>1-1 カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティ」メニューのマイスクリーンパスワードを選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押してください。マイスクリーンパスワード有効 / 無効メニューが表示されます。<br>1-2 カーソルボタン▲ / ▼で有効を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。<br>1-3 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されるので、同じパスワードを再度入力してください。<br>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。この間にパスワードをメモしてください。ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「マイスクリーンパスワード」ダイアログに戻ります。<br>新パスワード入力（小）ダイアログ<br>マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニュー（📖**2-20**）の「マイスクリーン」（📖**2-21**）、 および「マイスクリーンロック」を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。<br>**お知らせ**<br>●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。<br>**2 マイスクリーンパスワード機能を無効にする**<br>マイスクリーンパスワード機能を無効にすると、通常の操作が可能になります。<br>2-1 1-1 の手順に従って「マイスクリーンパスワード有効 / 無効」メニューを表示してください。<br>2-2「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると画面は「マイスクリーンパスワード有効 / 無効」メニューに戻ります。<br>パスワード入力（大）ダイアログ<br>**3 マイスクリーンパスワードを忘れた場合**<br>3-1 1-1 の手順に従って「マイスクリーン有効 / 無効」メニューを表示してください。<br>3-2「無効」を選択し、「マイスクリーンパスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。<br>3-3 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて<br>**お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター）　TEL 0120-3121-19**<br>までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| 暗証コード<br>ロック | 暗証コードロックは、登録された暗証コードが入力されない場合に本機が使用されることを防ぐ機能です。<br>**1 暗証コードロック機能を有効にする（暗証コードを設定・登録する）**<br>1-1 カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティ」メニューの暗証コードロックを選び、▶ボタン ( またはリモコンの ENTER ボタン ) で「暗証コード有効 / 無効」メニューを表示します。<br>1-2 カーソルボタン▲ / ▼で有効を選択すると「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。<br>1-3 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶、コンピュータおよび入力切替ボタンで 4 つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じ暗証コードを再入力して、暗証コードの登録が完了します。<br>「暗証コードを入力してください」ダイアログまたは「暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されているときに、約 55 秒何も入力しないと、ダイアログが閉じます。必要ならば 1-1 から手順を繰り返してください。<br>暗証コードロック機能を有効にすると、本機を電源につなぎ、最初に電源を入れるたびに暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを入力しない限り、本機を使用できなくなります。間違った暗証コードが入力されると「暗証コードを入力してください」ダイアログが再度表示されます。<br>間違った暗証コードを 3 回入力すると、ランプが消灯します。その後は、暗証コードの入力を間違えるたびにランプが消灯します。また、ダイアログが表示されてから正しい暗証コードを約 5 分間以内に入力しない場合も、ランプが消灯します。ただし、この機能は、一度本機の電源を完全に切った後で、再度電源を入れないと有効になりません。<br>お知らせ<br>●暗証コードを忘れないようにしてください。<br><br>**2 暗証コードロック機能を無効にする**<br>暗証コードロック機能を無効にすると、本機は通常どおりに起動します。<br>2-1 1-1 の手順に従って、「暗証コードロック有効 / 無効」メニューを表示してください。<br>2-2 カーソルボタン▲ / ▼で「無効」を選択すると、「暗証コードロックを入力してください」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、「暗証コードロック」は「無効」に設定されます。<br>間違った暗証コードを 3 回入力すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが閉じます。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| 暗証コード<br>ロック<br>(つづき) | **3 暗証コードを忘れた場合**<br>3-1「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されている間にリセットボタン、または操作パネルのカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に、3秒間押してください。「暗証コードメニュー／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁の暗証コード照合コードが表示されています。<br>お知らせ<br>●「暗証コードメニュー」ダイアログが表示されているときに約５分間何も入力しないと、ランプが消灯します。<br>3-2 10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて **お客様ご相談窓口 ( 家電ビジネス情報センター )　TEL 0120-3121-19** までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。 |
| 状態監視 | 本機の設置状態が変更されたときに、状態監視のアラームを表示し、本機を記録されている元の状態に戻すか、あるいはこの機能を無効にしない限り本機を使用できなくすることができます。<br>お知らせ<br>●約５分間状態監視オンの警告を表示した後、ランプが消灯します。<br>●状態監視機能が有効である限り、キーストン補正の調節状態を変更できなくなります。<br>**1 状態監視機能を有効にする**<br>状態監視機能を有効にすると、本機の電源を入れたときの角度（前後の傾き）、反転表示モード (📖**2-17**) が、記録されている設定と異なると、状態監視のアラームが表示され、本機は入力信号を表示しなくなります。また、キーストン補正が調節できなくなります。<br>1-1 カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティ」メニューの監視状態を選択し、▶（またはリモコンの ENTER ボタン）を押すと「監視状態 有効 / 無効」メニューが表示されます。<br>1-2 カーソルボタン▲ / ▼で「状態監視 有効 / 無効」メニューの「有効」を選択してください。「有効」を選択すると、現在の角度（前後の傾き）、反転表示モードが記録されます。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。<br>1-3 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください」(小) ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶ ( または ENTER ボタン ) を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードをもう一度入力してください。<br>新パスワード入力 ( 小 ) ダイアログ |



応用編

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| 状態監視<br>(つづき) | 1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶ ( または ENTER ボタン ) を押すと、状態監視パスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。<br>このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。<br>リモコンの ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「状態監視 有効 / 無効」メニューに戻ります。<br><br>お知らせ<br>●状態監視のパスワードを忘れないようにしてください。<br>●この機能は、AC 電源を切った後に本機を起動した時にのみ作動します。<br>●「状態監視」ダイアログで「有効」を選択したときに、本機が安定した状態で設置されていないと、この機能は正常に動作しません。<br><br>**2 状態監視機能を無効にする**<br>2-1 1-1 の手順にしたがって「状態監視 有効 / 無効」メニューを表示してください。<br>2-2「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログが表示されます。登録された状態監視パスワードを入力すると、「状態監視」は「無効」に設定され、「状態監視 有効 / 無効」メニューに戻ります。<br>パスワード入力<br>( 大 ) ダイアログ<br>間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。必要ならば 2-1 から手順を繰り返してください。<br><br>**3 状態監視パスワードを忘れた場合**<br>3-1 1-1 の手順に従って「状態監視 有効 / 無効」メニューを表示してください。<br>3-2「無効」を選択し、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁の状態監視パスワード照合コードが表示されています。<br>3-3 10 桁のパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて<br>**お客様ご相談窓口 ( 家電ビジネス情報センター )　TEL 0120-3121-19**<br>までご連絡ください。確認後、状態監視パスワードをご連絡いたします。 |

| 設定項目 | 操作内容 |
|---|---|
| マイテキスト<br>パスワード | 「マイテキスト入力」(📖2-46) で登録した、マイテキストの上書きを防止することができます。マイテキストパスワード機能を有効にすると、「マイテキスト表示」、「マイテキスト入力」の操作ができなくなり、マイテキストの登録・変更、および表示の設定を変更できなくなります。<br>**1 マイテキストパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）**<br>1-1 カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキストパスワード」を選び、カーソルボタン▶ ( または ENTER ボタン ) を押して「マイテキストパスワード有効 / 無効」メニューを表示してください。<br>1-2 カーソルボタン▲ / ▼で「マイテキストパスワード」メニューの「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。<br>1-3 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶を使ってパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードをもう一度入力してください。<br>新パスワード入力 ( 小 ) ダイアログ<br>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶ ( または ENTER ボタン ) を押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。この間にパスワードをメモしてください。<br>リモコンの ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「マイテキストパスワード有効 / 無効」メニューに戻ります。<br>**2 マイテキストパスワード機能を無効にする**<br>2-1 1-1 の手順に従って、「マイテキストパスワード 有効 / 無効」メニューを表示してください。<br>2-2「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイテキストパスワードを入力すると「マイテキストパスワード 有効 / 無効」メニューに戻ります。<br>間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。必要ならば 2-1 から手順を繰り返してください。<br>パスワード入力 ( 大 ) ダイアログ<br>**3 マイテキストパスワードを忘れた場合**<br>3-1 1-1 の手順に従って「マイテキストパスワード 有効 / 無効」メニューを表示してください。<br>3-2「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」( 大 ) ダイアログが表示されます。このダイアログには、10 桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。<br>3-3 10 桁のマイテキストパスワード照合コードをお客様のお名前、電話番号と合わせて<br>**お客様ご相談窓口 ( 家電ビジネス情報センター )　TEL 0120-3121-19**<br>までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。 |

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>マイテキスト<br>表示</td><td>カーソルボタン▲ / ▼でマイテキストの表示／非表示を切り替えられます。<br>有効 ↔ 無効<br>「有効」に設定すると、初期画面（📖2-20) と「入力＿インフォーメーション」ダイアログ (📖2-34) に、登録したマイテキストが表示されます。<br>お知らせ<br>●「マイテキストパスワード」（📖2-45) が「無効」に設定されているときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。</td></tr>
<tr><td>マイテキスト<br>入力</td><td>初期画面、および「入力＿インフォーメーション」ダイアログに表示するマイテキストを入力・編集することができます。<br>■マイテキストを入力する<br>最初の 3 行 ( 下線付き ) に現在のマイテキストが表示されます。マイテキストをまだ登録していないときは、最初の 3 行は空白です。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、リモコンの ENTER または入力切替ボタンを押して入力してください。リセットボタンもしくはカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に押すことで 1 文字削除することができます。また、カーソルを「消去」または「全消去」に移動させて、ENTER または入力切替ボタンを押すことで、 1 文字または全ての文字を削除することが出来ます。マイテキストは 1 行につき最大 24 文字入力できます。<br>■マイテキストを編集する<br>マイテキストを編集するには、カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、マイテキストが表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、リモコンの ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して選択します。選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順で編集してください。<br>■マイテキストを保存する<br>テキストの入力・編集が終わったら、1 番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶、ENTER または入力切替ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀、ENTER または入力切替ボタンを押します。<br>お知らせ<br>●「マイテキストパスワード」（📖2-44) が「無効」になっているときのみ、「マイテキスト入力」の操作が行えます。</td></tr>
</table>

# 取扱説明書

## 液晶プロジェクター

## CP-D30NJ ( 形名 CP-D30N)

# 【ネットワーク編】

このネットワーク編では、本製品のネットワーク機能について説明します。

| ⚠警告 | ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。 |
| --- | --- |

ネットワーク編

## もくじ

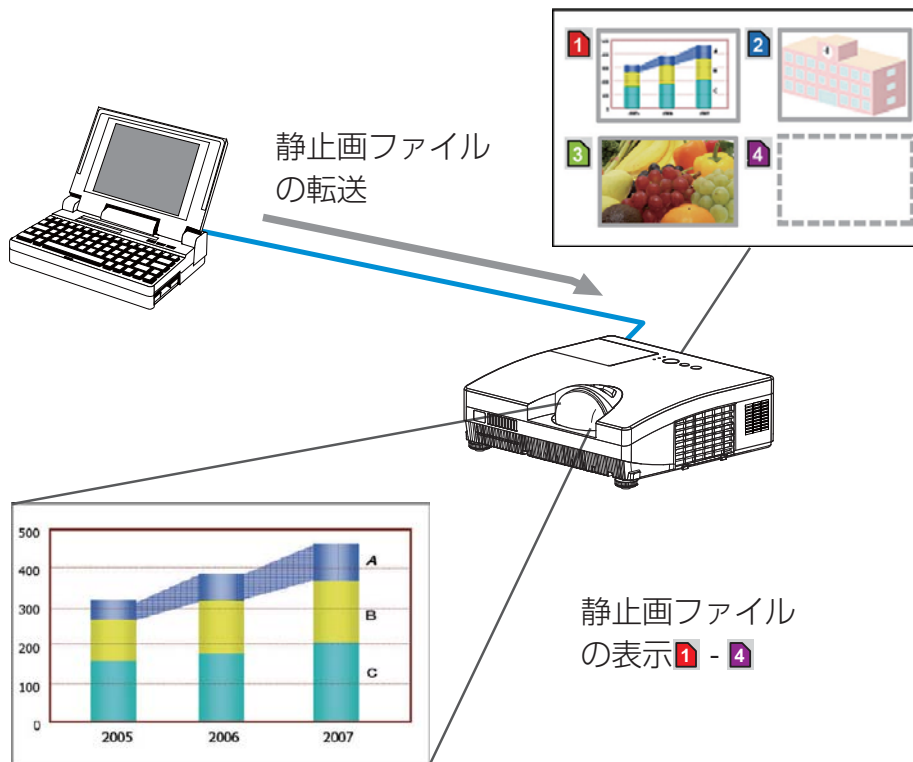
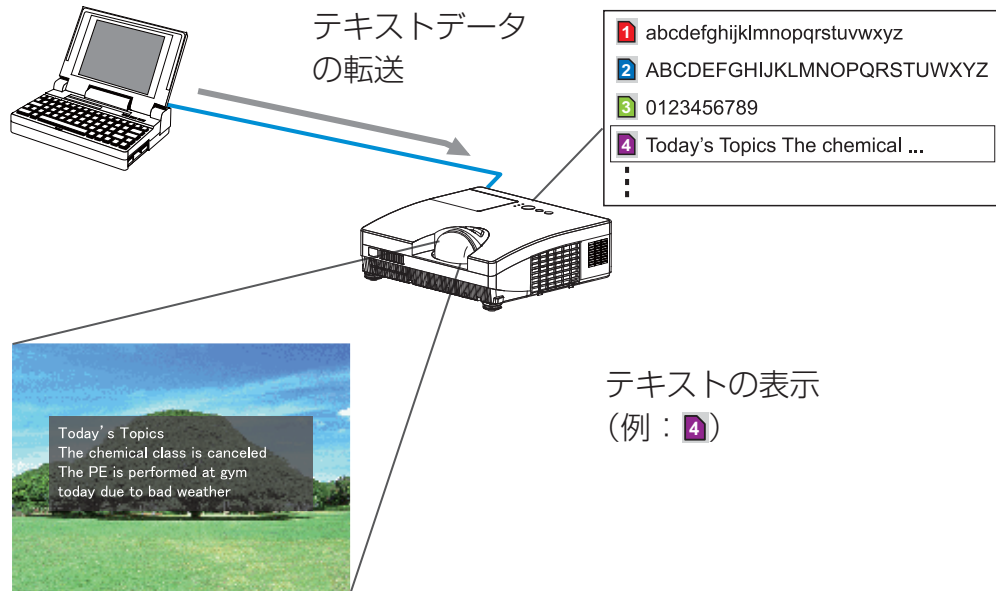
# 1. 主な機能

## 1.1 Web ブラウザを使用した遠隔操作

本機をネットワークに接続すると、同じネットワークに接続されたコンピュータの Web ブラウザを使用して、本機を制御したり、各種設定の変更をすることが出来ます (📖**3-9**)。

## 1.2 マイ イメージ

マイ イメージ機能を使うと、静止画像をネットワーク経由で本機に4つまで転送し、１つずつ表示させることができます (📖**3-33**)。

# 1.3 メッセンジャー機能

メッセンジャー機能を使うと、テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し表示させることができます。また、あらかじめネットワーク経由で本機に転送・登録されたテキストから選択して1つずつ表示させることもできます (📖3-35)。

ネットワーク編

# 2. 機器の接続とネットワーク設定

## 2.1 必要な機器について

本機とコンピュータをネットワーク経由で接続するためには、本機の他に以下のものを用意していただく必要があります。

コンピュータ：1)100Base-TX または 10Base-T 対応のネットワーク機能が備わっていること
2)Web ブラウザソフトがインストールされていること

LAN ケーブル：CAT-5 以上

お知らせ

- Web コントロールには、Internet Explorer® 5.5 以降のバージョンが必要です。
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用してください。
- ネットワークをご使用になるには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。 誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。
- 本機がスタンバイ状態で「スタンバイモード」が「省電力」に設定されているときは、ネットワーク機能は使用できません。ネットワークに接続する前に、本機の「スタンバイモード」を「通常」に設定してください (📖**2-18**)。

# 2.2 ネットワーク接続の設定

## 2.2.1 機器を接続する

1）本機の LAN 端子とコンピュータ を LAN ケーブルで接続してください（📖1-19）。
2）次項の「ネットワーク設定方法」、および「インターネット オプションの設定」に従って、コンピュータのネットワーク設定を行ってください。
3）最後に、本機の電源を入れ、「接続の確認」にしたがって、ネットワークの接続確認をしてください。

> **お知らせ**
> ●既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

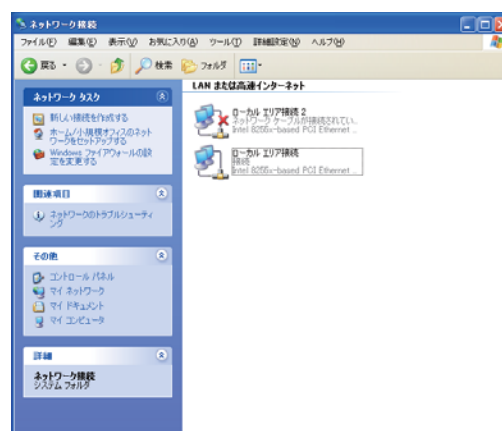


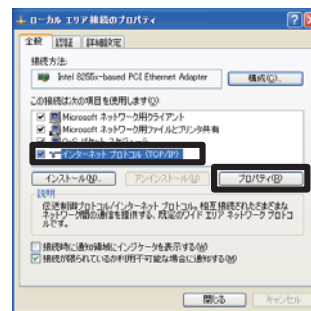
## 2.2.2 ネットワーク設定方法

Windows® XP と Internet Explorer® を使用する場合のネットワーク接続の設定方法について説明します。

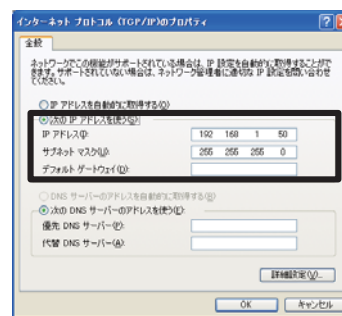
1) 管理者権限で Windows® XP にログオンします。
   管理者権限とは、コンピュータのすべての機能にアクセスできるユーザー権限のことをいいます。
2) [ スタート ] メニューの [ 設定 ] から “コントロールパネル” を開きます。
3) “コントロールパネル” の作業分野、“ネットワークとインターネット接続” を選択し、“ネットワーク接続” のウィンドウを開いてください。クラシック表示を選択している場合は、“コントロールパネル” から “ネットワーク接続” のウィンドウを開いてください。

ネットワークとインターネット接続

4) 使用可能なネットワークモジュールが複数存在するときには、使用したいもののみを有効にし、残りのモジュールは無効にしてください。
   （ここでは、“ローカルエリア接続” を選択した場合を説明します。）
5) “ローカルエリア接続” を右クリックし、プロパティを開きます。

ネットワーク接続

6) “全般” タブで、“インターネットプロトコル (TCP/IP)” を使用プロトコルとして選択 ( チェックボックスをオン ) し、プロパティを開きます。

ローカルエリア接続のプロパティ

7) “次の IP アドレスを使う” を選択 (ラジオボタンをオン) し、コンピュータの “IP アドレス”、“サブネットマスク”、“デフォルト ゲートウェイ” を設定してください。ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、“IP アドレスを自動的に取得する” を選択し、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。

※ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーは、機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。
設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。

インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ

コンピュータに設定する IP アドレスのネットワークアドレス部分と、サブネットマスクの設定は、本機と同じ値を設定してください。
また、コンピュータに設定する IP アドレス全体が、本機もしくは同一ネットワーク内に接続されている機器と重ならないように設定してください。
たとえば、ネットワーク設定が以下の設定である場合、

IP アドレス : 192.168.1.10　　　サブネットマスク : 255.255.255.0

このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、“192.168.1” です。
コンピュータの IP アドレスのネットワークアドレス部分とサブネットマスクが、
本機と同じ設定になるよう、次のように指定します。

IP アドレス : 192.168.1.xxx　　　サブネットマスク : 255.255.255.0

IP アドレスの “xxx” 部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ～ 254 の数値 (10 進数 ) を指定します。この場合、本機の IP アドレスが “192.168.1.10” であるため、“xxx” 部分に 10 は指定できません。

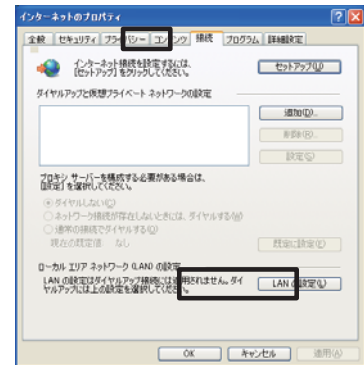
**お知らせ**

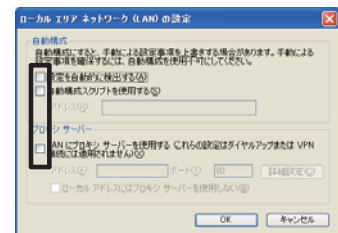
- IP アドレスに "0.0.0.0" は設定できません。
- 本機の IP アドレスは、「ネットワーク」メニューの「インフォメーション」(📖**2-39**) から確認できます。また、「ネットワーク」メニューの「セットアップ」－「IP ADDRESS」(📖**2-36**)、あるいは Web ブラウザを使用して変更することができます (📖**3-12**)。
- 本機とコンピュータが同じネットワーク上にある場合 (ネットワークアドレスが同じ場合)、デフォルト ゲートウェイは空欄とすることができます。本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルト ゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 2.2.3 インターネットオプションの設定

1) “ネットワークとインターネット接続”の作業分野、“インターネット オプション”を選択し、“インターネットのプロパティ”ウィンドウを開きます。クラシック表示を選択している場合は、“コントロールパネル”から“インターネット オプション”を開いてください。

ネットワークとインターネット接続

2) “接続”タブで、[LAN の設定 ] をクリックし、“ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定”のウィンドウを開きます)。

インターネットのプロパティ

3) “ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定”のウィンドウで、すべてのボックスのチェックを外します。
設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。

ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定

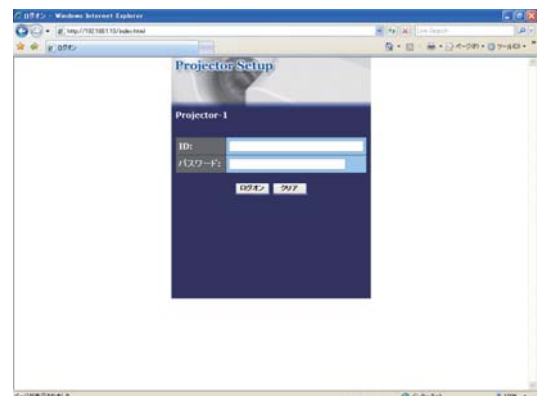
## 2.2.4 接続の確認

1) Web ブラウザを起動して以下の URL を入力し、➡ボタンをクリックしてください。

URL: http://( 本機の IP アドレス )/

たとえば、本機の IP アドレスが“192.168.1.10”であれば、URL は次のようになります。

URL: http://192.168.1.10/

2) 本機と正しく接続されていれば、右のログオンウィンドウが表示されます。ログオンウィンドウが表示されない場合は、機器の接続と設定が正しく行われていることを再度ご確認ください。

ログオンウィンドウ

**お知らせ**

●本機の IP アドレスは、「ネットワーク」メニューの「インフォメーション」（📖**2-39**）から確認できます。

# 3. ネットワーク機能

本機をネットワーク接続すると、ネットワークを経由して、以下の操作、設定が可能です。

## 3.1 Web コントロール

ネットワークで接続したコンピュータから、Web ブラウザを使用して本機の状態確認、設定、制御を行うことができます。
詳細は、「3.1 Web コントロール」（📖**3-9**）をご覧ください。

## 3.2 電子メール機能による自動通知

本機がエラーを検出したときやメンテナンスを必要とするとき、指定されたアドレスへ、電子メールで警告メッセージを自動的に送信することができます。
詳細は、「3.2 電子メール機能による自動通知」（📖**3-29**）をご覧ください。

## 3.3 SNMP による自動通知

本機は SNMP（Simple Network Management Protocol）に対応しており、SNMP マネージャを使用してエラー／警告メッセージを受け取ることができます。
詳細は、「3.3 SNMP による自動通知」（📖**3-30**）をご覧ください。

## 3.4 スケジュール機能

電源オン／オフや転送した静止画像の表示など、本機の操作を、日時を指定して自動的に実行させることができます。
詳細は、「3.4 スケジュール機能」（📖**3-31**）をご覧ください。

## 3.5 マイ イメージ

静止画像をネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。
詳細は、「3.5 マイ イメージ」（📖**3-33**）をご覧ください。

## 3.6 メッセンジャー機能

テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。
詳細は、「3.6 メッセンジャー機能」（📖**3-35**）をご覧ください。

## 3.7 ネットワークからのコマンド制御

ネットワーク経由でコマンドを送信し、本機の操作、設定ができます。
詳細は、「3.7 ネットワークからのコマンド制御」（📖**3-37**）をご覧ください。

## 3.8 プロジェクターを経由して外部機器を制御する（ネットワークブリッジ機能を使う）

本機と RS-232C で接続されている外部機器を、コンピュータからネットワーク経由で操作することができます。（📖**3-40**）

# 3.1 Web コントロール

ネットワークで接続したコンピュータから、Web ブラウザを使用して本機の状態確認、設定、制御を行うことができます。
Web コントロールには ID とパスワードが必要です。 ID には、Web コントロールの全ての項目を設定・操作できる管理者 ID と、一部の機能のみを操作できるユーザー ID の 2 種類があります。
管理者 ID とユーザー ID で表示・操作できるメニューの項目は下表の通りです。

| メインメニュー項目 | 操作内容 | 管理者 ID | ユーザー ID |
|---|---|---|---|
| ネットワーク情報 | 本機の現在のネットワーク設定を表示します。 | ○ | ○ |
| ネットワーク設定 | ネットワーク接続の設定を行います。 | ○ | × |
| ポート設定 | 通信ポートの設定を行います。 | ○ | × |
| メール設定 | 電子メール機能の設定を行います。 | ○ | × |
| 障害通知設定 | エラー／警告の自動通知を設定します。 | ○ | × |
| スケジュール設定 | スケジュールの設定を行います。 | ○ | × |
| 日付 / 時刻設定 | 日時の設定を行います。 | ○ | × |
| セキュリティ設定 | セキュリティの設定を行います。 | ○ | × |
| プロジェクター制御 | 本機を遠隔操作します。 | ○ | ○ |
| プロジェクター状態 | 現在の本機の状態を表示します。 | ○ | ○ |
| ネットワーク再起動 | 本機のネットワーク接続を再起動します。 | ○ | × |

○：メニュー表示
×：メニュー非表示

**お知らせ**

- Web コントロールには、Internet Explorer® 5.5 以降のバージョンが必要です。
- Web ブラウザの設定で、JavaScript® を有効にしてください。JavaScript® が無効になっていると、Web コントロールの画面が正しく表示できないことがあります。JavaScript® を有効にする方法については、Web ブラウザのヘルプをご覧ください。
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用してください。

# 3.1.1 ログオン

Web コントロールを行うためには、以下の手順に従って、本機とネットワークで接続したコンピュータからログオンしてください。

1) Web ブラウザを起動して、アドレスバーに以下の URL を入力し、 ボタンをクリックしてください。

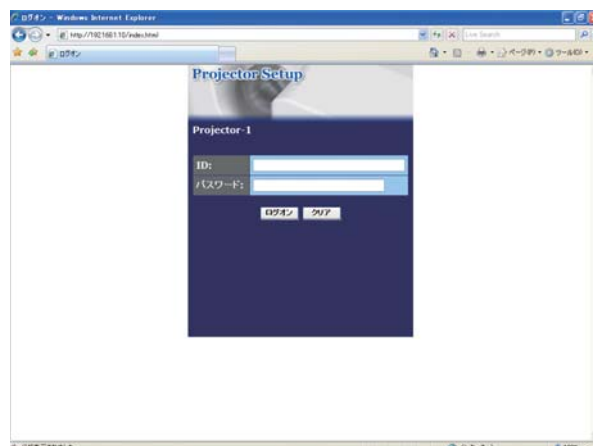
URL: http://( 本機の IP アドレス )/

例：本機の IP アドレスが "192.168.1.10" の場合

URL: http://192.168.1.10/

右のログオンウィンドウが表示されます。

ログオンウィンドウ

2) ID とパスワードを入力して、[ ログオン ] ボタンをクリックします。
管理者 ID、ユーザー ID、およびパスワードの初期設定は下表の通りです。

| ID の種類 | ID | パスワード |
|---|---|---|
| 管理者 ID | Administrator | (工場出荷時は設定されていません) |
| ユーザー ID | User | (工場出荷時は設定されていません) |

ログオンが成功すると、ログオンしたときの ID の種類によって、下の、どちらかのウィンドウが表示されます。

メインメニュー

管理者 ID でログオンした場合

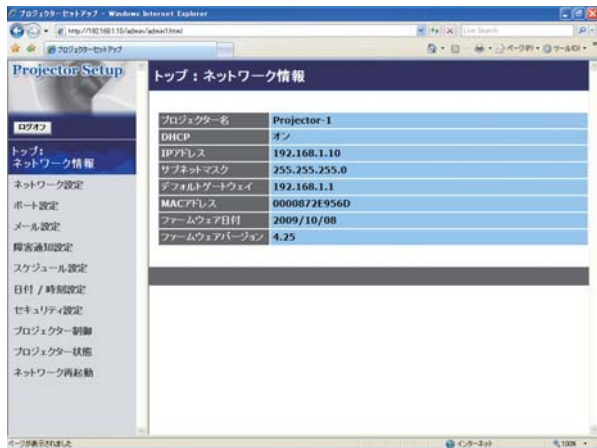
メインメニュー

ユーザー ID でログオンした場合

3) ウィンドウの左側にメインメニューが表示されます。 設定・操作したいメニュー項目を選んでください。

**お知らせ**

●本書中に表示しているメニュー画面は、全て管理者 ID でログオンした場合の画面表示です。管理者にのみ操作できるメニューは、ユーザー ID でログオンした際には表示されません。表示項目については対応表をご覧ください（📖3-9）。

# 3.1.2 ネットワーク情報

メインメニューの [ ネットワーク情報 ] をクリックすると、左の " ネットワーク情報” 画面が表示されます。
“ネットワーク情報” では、本機の現在のネットワークの設定を表示します。

| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| プロジェクター名 | 本機に登録されたプロジェクター名です。 |
| DHCP | 本機の DHCP 設定です。 |
| IP アドレス | 本機の IP アドレスです。 |
| サブネットマスク | 本機のサブネットマスクです。 |
| デフォルトゲートウェイ | 本機のデフォルトゲートウェイです。 |
| MAC アドレス | 本機の MAC アドレスです。 |
| ファームウェア日付 | ネットワークファームウェアのタイムスタンプを表示します。<br>この項目は管理者 ID でログオンしたときのみ表示されます。 |
| ファームウェア<br>バージョン | ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。<br>この項目は管理者 ID でログオンしたときのみ表示されます。 |

## 3.1.3 ネットワーク設定

メインメニューの [ ネットワーク設定 ] をクリックすると、左の " ネットワーク設定" 画面が表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。"ネットワーク設定" では、ネットワーク接続の設定を行います。設定を保存するには [ 適用 ] ボタンをクリックしてください。

<table>
<tr><th colspan="3">項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td colspan="3">IP 設定</td><td>ネットワーク設定を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td colspan="2">DHCP オン</td><td>DHCP を有効にします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">DHCP オフ</td><td>DHCP を無効にします。</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td>IP アドレス</td><td>DHCP を無効にしたときの IP アドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>DHCP を無効にしたときのサブネットマスクを設定します。</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td>DHCP を無効にしたときのデフォルトゲートウェイを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">プロジェクター名</td><td>プロジェクター名を設定します。<br>最大 64 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。<br>!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@ [¥]^_`{|}~</td></tr>
<tr><td colspan="3">sysLocation (SNMP)</td><td>SNMP 使用時に参照する設定場所情報を入力します。<br>半角英数字で 255 文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">sysContact (SNMP)</td><td>SNMP 使用時に参照する連絡先情報を入力します。<br>半角英数字で 255 文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">DNS サーバーアドレス</td><td>DNS サーバーのアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">AMX D.D.<br>(AMX Device Discovery)</td><td>「AMX デバイスディスカバリー 」の設定を行います。この設定により「AMX コントローラ」はネットワークを介し本機を検出することができるようになります。「AMX デバイスディスカバリー 」についての詳細は、AMX のホームページ　URL:http://www.amx.com　をご覧ください。</td></tr>
</table>

**お知らせ**

●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ ネットワーク再起動 ] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖3-28）。

●本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

# 3.1.4 ポート設定

メインメニューの [ ポート設定 ] をクリックすると、" ポート設定” 画面が表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“ポート設定” では、通信ポートの設定を行います。
保存するには ［適用］ ボタンをクリックしてください。



| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| ネットワーク制御ポート１（ポート : 23） | ネットワーク制御ポート１（ポート :23）を設定します。 |
| ポートオープン | ポート :23 を使用するには、［有効］ チェックボックスをオンにします。 |
| 認証 | このポートで認証を使用する場合は、［有効］ チェックボックスをオンにします。 |
| ネットワーク制御ポート２（ポート : 9715） | ネットワーク制御ポート２（ポート :9715）を設定します。 |
| ポートオープン | ポート :9715 を使用するには、［有効］ チェックボックスをオンにします。 |
| 認証 | このポートで認証を使用する場合は、［有効］ チェックボックスをオンにします。 |
| PJLink™ ポート（ポート :4352）) | PJLink™ ポート ( ポート :4352) を設定します。 |
| ポートオープン | ポート :4352 を使用するには、［有効］ チェックボックスをオンにします。 |
| 認証 | このポートで認証を使用する場合は、［有効］ チェックボックスをオンにします。 |
| 画像転送ポート（ポート : 9716） | 画像転送ポート（ポート :9716）を設定します。 |
| ポートオープン | ポート :9716 を使用するには、［有効］ チェックボックスをオンにします。 |
| 認証 | このポートで認証を使用する場合は、［有効］ チェックボックスをオンにします。 |
| テキスト転送ポート（ポート : 9719） | テキスト転送ポート（ポート :9719）を設定します。 |
| ポートオープン | ポート :9719 を使用するには、［有効］ チェックボックスをオンにします。 |
| 認証 | このポートで認証を使用する場合は、［有効］ チェックボックスをオンにします。 |

( 次ページにつづく）.

| 項　目 | | 説　明 |
|---|---|---|
| SNMP ポート | | SNMP ポートを設定します。 |
| | ポートオープン | SNMP を使用するには、［有効］チェックボックスをオンにします。 |
| | トラップアドレス | SMTP トラップの宛先の IP アドレスを設定します。“ネットワーク設定” で、DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなく、ドメイン名もお使い頂けます。ホストまたはドメイン名は半角英数字で 255 文字まで入力できます。 |
| SMTP ポート | | SMTP ポートを設定します。 |
| | ポートオープン | 電子メール機能を使用するには、［有効］チェックボックスをオンにします。 |
| ネットワークブリッジポート | | ネットワークブリッジポートを設定します。 |
| | ポート番号 | ネットワークブリッジポートの番号を設定します。<br>1024 ～ 65535 のうち、4352、9715、9716、9719 以外の番号を設定してください。<br>初期設定では 9717 が設定されています。 |

**お知らせ**

●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワーク再起動］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖3-28）。

# 3.1.5 メール設定

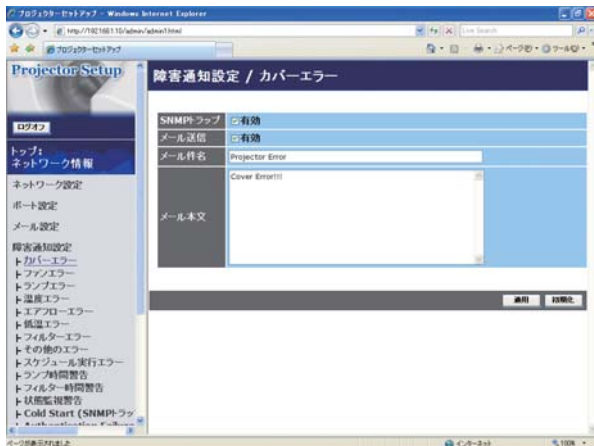
メインメニューの［メール設定］をクリックすると、左の " メール設定" 画面が表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
" メール設定" では、" 障害通知設定" で指定された、エラー／警告の通知を行う電子メールの設定を行います。送信される電子メールについては、「4.14 その他の機能」－「電子メール機能による自動通知」（📖**3-29**）をご参照ください。
設定を保存するには [ 適用 ] ボタンをクリックしてください。



| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| メール送信 | 電子メール機能を使用するには、［有効］チェックボックスをオンにします。<br>電子メールの送信条件を［障害通知設定］フィールドで設定します。 |
| SMTP サーバー<br>アドレス | メールサーバーの IP アドレスを設定します。<br>"ネットワーク設定" で、DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなく、ドメイン名もお使い頂けます<br>ホストまたはドメイン名は半角英数字で 255 文字まで入力できます。 |
| 送信者 E-mail<br>アドレス | 送信者の電子メールアドレスを設定します。<br>半角英数字で 255 文字まで設定できます。 |
| 受信者 E-mail<br>アドレス | 受信者（最大 5 名）の電子メールアドレスを設定します。<br>各アドレスの [To] または [Cc] を指定することもできます。<br>半角英数字で 255 文字まで入力できます。 |
| テストメール送信 | ボタンをクリックすると、"受信者 E-mail アドレス" で設定したアドレスに、テストメールを送信します。 |

**お知らせ**

●メール設定が正しく機能するかどうかは、［テストメール送信］ボタンをクリックして確認できます。［テストメール送信］ボタンを クリックする前に、"メール送信" の［有効］チェックボックスをオンにしてください。
●本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

# 3.1.6 障害通知設定

メインメニューの［障害通知設定］をクリックすると、左の " 障害通知設定” 画面が表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“障害通知設定” では、エラー／警告の自動通知を設定します。［障害通知設定］の下に表示される、各エラー／警告通知項目を選択すると、各項目ごとの通知設定画面が表示されます。
設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。

■エラー／警告通知項目

| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| カバーエラー | ランプカバーがきちんと装着されていません。 |
| ファンエラー | 冷却ファンが動作していません。 |
| ランプエラー | ランプが点灯しません。ランプ、および本機内部が高温になっている可能性があります。 |
| 温度エラー | 本機内部が高温になっている可能性があります。 |
| エアフローエラー | 内部の温度が上がっています。エアーフィルターが目詰まりしている可能性があります。 |
| 低温エラー | 本機の内部温度が低すぎる可能性があります。 |
| フィルターエラー | エアーフィルターの使用時間が通知設定時間を超えました。 |
| その他のエラー | その他のエラーが発生しました。 |
| スケジュール実行エラー | 設定されたスケジュールを正常に実行できませんでした（📖**3-32**）。 |
| ランプ時間警告 | ランプの使用時間が “警告時間” の設定時間に達しました。 |
| フィルター時間警告 | エアーフィルターの使用時間が “警告時間” の設定時間に達しました。 |
| 状態監視警告 | 状態監視機能が異常を検知しました。<br>状態監視機能については、【応用編】の「その他」メニューー「セキュリティ」ー「状態監視」（📖**2-43**）をご覧ください。 |
| Cold Start | 電源が入りました。<br>・スタンバイモードが通常に設定されている場合：AC 電源オフ → スタンバイ<br>・スタンバイモードが省電力に設定されている場合：スタンバイ → ランプオン (📖**2-18**) |
| Authentication Failure | 未認証の SNMP コミュニティからの SNMP アクセスがありました。 |

( 次ページにつづく）.

■通知設定
各々のエラー / 警告通知について、以下の項目を設定できます。

| 項　目 | 説　明 |
| --- | --- |
| 警告時間 | “ランプ時間警告”、または“フィルター時間警告”を通知する時間を設定します。<br>この項目は、" ランプ時間警告”と " フィルター時間警告”を選択した場合のみ表示されます。 |
| SNMP トラップ | この項目の SNMP トラップによる自動通知を有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。<br>この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" を選択した場合は表示されません。 |
| メール送信 | この項目の電子メール機能による自動通知を有効にするには、[有効] チェックックスをオンにします。<br>この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" を選択した場合は表示されません。 |
| メール件名 | 送信する電子メールの件名を設定します。半角で 100 文字まで設定できます。<br>この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" を選択した場合は表示されません。 |
| メール本文 | 送信する電子メールの本文を設定します。半角で 1024 文字まで設定できます。<br>この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" を選択した場合は表示されません。 |

**お知らせ**

● " スケジュール実行エラー”を除くエラーの詳細については、【技術情報編】「故障かなと思ったら」をご覧ください。
●“フィルターエラー”のメール通知は、「その他」メニューの「特別な設定」－「フィルター掃除通知」のフィルター掃除通知のスクリーン表示時期の設定に依存します（📖**2-30**)。設定された、500、1000、2000、3000、4000、5000 時間を超えると通知のメールが送信されます。「無効」を設定していると通知のメールは送信されません。
●“ランプ時間警告”は、ランプ時間をメールで通知します。Web ページから設定したランプ時間を過ぎると、メールが送信されます。
●“フィルター時間警告”は、フィルター時間をメールで通知します。Web ページから設定したフィルター時間を過ぎると、メールが送信されます。
●警告時間 は“ランプ時間警告”と“フィルター時間警告”でのみ設定可能です。
●“Cold Start”と“Authentication Failure”は、SNMP トラップでの自動通知のみ可能です。

# 3.1.7 スケジュール設定

メインメニューの［スケジュール設定］をクリックすると、" スケジュール設定” 画面が表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“スケジュール設定” では、スケジュールの設定を行います。[スケジュール設定]の下に表示される､各スケジュールの日程を選択すると、各スケジュール日程ごとの設定画面が表示されます。すでに設定されているスケジュールがある場合は、リストに表示されます。

■スケジュールの種類

| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| 毎日 | 毎日実行されるスケジュールを設定します。 |
| 日曜日 | 毎週日曜日に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 月曜日 | 毎週月曜日に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 火曜日 | 毎週火曜日に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 水曜日 | 毎週水曜日に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 木曜日 | 毎週木曜日に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 金曜日 | 毎週金曜日に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 土曜日 | 毎週土曜日に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 特定日 1 | 毎年、特定日 1 に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 特定日 2 | 毎年、特定日 2 に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 特定日 3 | 毎年、特定日 3 に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 特定日 4 | 毎年、特定日 4 に実行されるスケジュールを設定します。 |
| 特定日 5 | 毎年、特定日 5 に実行されるスケジュールを設定します。 |

( 次ページにつづく）.

■日時とイベント設定

各日程について、以下の項目を設定します。
設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。
設定した新しいイベントを追加するには、［登録］ボタンをクリックします。
リストに表示されているスケジュールを削除するには［削除］ボタンを、リストに表示されたすべてのスケジュールを削除するには［初期化］ボタンをクリックします。

| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| スケジュール | スケジュールを有効にするには、［有効］チェックボックスをオンにします。 |
| 日付（月 / 日） | スケジュールの日付(イベントを実行する日)を月 / 日の形式で設定します。この項目は、“特定日”（1 ～ 5）を選択した場合のみ表示されます。 |

| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| 時刻 | イベントを実行する時間を時 : 分の形式で設定します。 |
| コマンド［パラメータ］ | 実行するイベントを設定します。 |
| 　電源 | 電源のオン／オフを設定します。 |
| 　入力ソース | 映像入力信号を設定します。 |
| 　画像表示 | マイ イメージ機能（3-33）で転送した画像を表示します。 |
| 　テキスト表示 | メッセンジャー機能（3-35）で転送したテキストデータを表示します。 |

お知らせ

●プロジェクターの位置を移動した際は、スケジュールを調整する前に、プロジェクターに設定されている日時を確認してください。強い衝撃により､日時設定 ( 次項 ) がずれる可能性があります。
●「設置」メニュー の「スタンバイモード」(2-18) が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときにはスケジュールが実行されません｡スケジュールを有効にする際には､「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。
●本機のランプが点灯していない、または表示するデータが本機に登録されていないと、“マイ イメージ”と“メッセンジャー”のイベントは正常に実行されません。
●“入力ソース”と“画像表示”のイベントは、本機のセキュリティ機能が働き、プロジェクターの使用が制限された状態では実行されません。
●本機で、温度エラー、ランプエラーなどの何らかのエラーが発生していると、スケジュールは正常に実行されません。
●スケジュールが正しく実行されない場合は､【技術情報編】「故障かなと思ったら」をご覧ください。

## 3.1.8 日付／時刻設定

メインメニューの［日付 / 時刻設定 ] をクリックすると、左の " 障害通知設定” 画面が表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“日付 / 時刻設定” では、日時の設定を行います。設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。

| 項　目 | | | | 説　明 |
|---|---|---|---|---|
| 現在日付 | | | | 年 / 月 / 日の形式で本日の日付を設定します。 |
| 現在時刻 | | | | 時 : 分 : 秒の形式で現在時刻を設定します。 |
| サマータイム | | | | サマータイムを有効にするには､[有効］チェックボックスをオンにします。 |
| | 開始 | | | サマータイムを開始する日時を設定します。 |
| | | 月 | | サマータイムを開始する月（1 ～ 12）を設定します。 |
| | | 週 | | サマータイムを開始する日の曜日が、その月で何週目か（最初、2、3、4、最後）を設定します。 |
| | | 日 | | サマータイムを開始する日の曜日（日、月、火、水、木、金、土）を設定します。 |
| | | 時刻 | 時 | サマータイムを開始する“時”（0 ～ 23）を設定します。 |
| | | | 分 | サマータイムを開始する“分”（0 ～ 59）を設定します。 |
| | 終了 | | | サマータイムを終了する日時を設定します。 |
| | | 月 | | サマータイムを終了する月（1 ～ 12）を設定します。 |
| | | 週 | | サマータイムを終了する日の曜日が、その月で何週目か（最初、2、3、4、最後）を設定します。 |
| | | 日 | | サマータイムを終了する日の曜日（日、月、火、水、木、金、土）を設定します。 |
| | | 時刻 | 時 | サマータイムを終了する“時”（0 ～ 23）を設定します。 |
| | | | 分 | サマータイムを終了する“分”（0 ～ 59）を設定します。 |

( 次ページにつづく）.

| 項　目 | | 説　明 |
|---|---|---|
| 時差 | | グリニッジ標準時に対する時差（時 : 分）を設定します。<br>コンピュータの設定と同じ時差を設定してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 |
| SNTP | | SNTP サーバーを使って日時を自動的に設定する場合は、チェックボックスをオンにします。 |
| | SNTP サーバーアドレス | SNTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を設定します。 |
| | 周期 | SNTP サーバーから日時の情報を受け取る間隔（時 : 分）を設定します。 |

**お知らせ**

●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワーク再起動］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖3-28）。
●本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
● SNTP 機能を有効にするには、時差を設定する必要があります。
● SNTP 機能が有効のときは、タイムサーバーから日時の情報を取得し、設定を上書きします。
●内蔵時計の時間は、ずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP 機能を使用することをお勧めいたします。

## 3.1.9 セキュリティ設定

メインメニューの[セキュリティ設定]をクリックすると、左の " セキュリティ設定" 画面が表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
"セキュリティ設定" では、パスワードなどの通信に関わるセキュリティの設定を行います。
設定を保存するには［適用］ボタンをクリックしてください。

| 項　目 | | 説　明 |
|---|---|---|
| 管理者権限 | | 管理者 ID とパスワードを設定します。 |
| | 管理者 ID | 管理者 ID を設定します。<br>半角英数字で 32 文字まで設定できます。 |
| | 管理者パスワード | 管理者パスワードを設定します。<br>半角英数字で 255 文字まで設定できます。 |
| | 管理者パスワード再入力 | 確認のために、上記のパスワードを再入力してください。 |
| ユーザー権限 | | ユーザー ID とパスワードを設定します。 |
| | ユーザー ID | ユーザー ID を設定します。<br>半角英数字で 32 文字まで設定できます。 |
| | ユーザーパスワード | ユーザーパスワードを設定します。<br>半角英数字で 255 文字まで設定できます。 |
| | ユーザーパスワード再入力 | 確認のために、上記のパスワードを再入力してください。 |
| ネットワーク制御 | | コマンド制御の認証パスワードを設定します。 |
| | 認証パスワード | 認証パスワードを設定します。<br>半角英数字で 32 文字まで設定できます。 |
| | 認証パスワード再入力 | 確認のために、上記のパスワードを再入力してください。 |
| SNMP | | SNMP 使用時のコミュニティ名を設定します。 |
| | コミュニティ名 | コミュニティ名を設定します。<br>半角英数字で 64 文字まで設定できます。 |

**お知らせ**

●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワーク再起動］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖3-28）。

# 3.1.10 プロジェクター制御

メインメニューの［プロジェクター制御］をクリックすると、左の“プロジェクター制御”画面が表示されます。" プロジェクター制御”では、本機の設定状態を表示し、また、本機を遠隔操作することができます。［プロジェクター制御］をクリックすると表示される、制御メニューを選択すると、制御メニューごとの設定画面が表示されます。
“メイン”項目の内容詳細については【基本編】を、“映像”～“その他”項目の内容詳細については【応用編】をご覧ください。

| 項　目 | | 説　明 |
|---|---|---|
| メイン | | |
| | 電源 | 本機の電源 ( ランプ ) のオン／オフを設定します。 |
| | 入力ソース | 映像入力信号を選択します。<br>設定を変更したら、［適用］ボタンをクリックしてください。 |
| | 映像モード | 映像モードを選択します。<br>設定を変更したら、［適用］ボタンをクリックしてください。 |
| | ブランク オン / オフ | ブランク画面の表示／非表示（通常画面）を設定します。 |
| | 消音 | 消音のオン／オフを設定します。 |
| | 静止 | 映像静止のオン／オフを設定します。 |
| | 拡大 | 画面を拡大します。<br>拡大率を調節するには、[ + ]、[ − ] ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力し、[ 決定 ] ボタンをクリックしてください。<br>画面の拡大を終了するには、[ オフ ] ボタンをクリックしてください。<br>入力信号によっては , 拡大の設定値が最大になる前に拡大が止まる場合があります。 |
| | 拡大位置 V | 画面の拡大位置 ( 垂直方向 ) を設定します。<br>[ 上 ]、[ 下 ] ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力し、[ 決定 ] ボタンをクリックしてください。 |
| | 拡大位置 H | 画面の拡大位置（水平方向）を設定します。<br>[ 左 ]、[ 右 ] ボタンをクリックするか、" 値 :”に数値を入力し、[ 決定 ] ボタンをクリックしてください。 |
| | テンプレート | テンプレート画面の表示／非表示（通常画面）を設定します。 |
| | マイ イメージ | マイ イメージの表示／非表示を設定します。<br>表示する画像ファイル、または“表示しない”を選択し、[ 適用 ] ボタンをクリックしてください。 |
| | マイ イメージ削除 | マイ イメージの画像ファイルを削除します。<br>削除する画像ファイルを選択し、[ 適用 ] ボタンをクリックしてください。 |

( 次ページにつづく）.

| 項　目 | | 説　明 |
|---|---|---|
| 映像 | | 設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。 |
| | 明るさ | 明るさを調節します。 |
| | コントラスト | コントラストを調節します。 |
| | ガンマ | 画面のガンマ設定を調節します。<br>[編集] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。 |
| | 色温度 | 画面の色温度設定を調節します。<br>[編集] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。 |
| | 色の濃さ | 色の濃さを調節します。 |
| | 色あい | 色あいを調節します。 |
| | 画質 | 画質を調節します。 |
| | マイメモリー保存 | 現在の設定をマイメモリー（1 ～ 4）に保存します。 |
| | マイメモリー読み出し | マイメモリー（1 ～ 4）に保存された設定を読み出します。 |
| 表示 | | 設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。 |
| | アスペクト | アスペクト（画面の縦横比）を選択します。 |
| | オーバースキャン | 画面のオーバースキャンを調節します。 |
| | 垂直位置 | 画面の垂直位置を調節します。 |
| | 水平位置 | 画面の水平位置を調節します。 |
| | クロック位相 | 画面のクロック位相を調節します。 |
| | 水平サイズ | 画面の水平サイズを調節します。 |
| | オートアジャスト実行 | ボタンをクリックすると、画面の自動調整を実行します。 |
| 入力 | | 設定を変更したら、[適用] ボタンをクリックしてください。 |
| | プログレッシブ | プログレッシブモードを選択します。 |
| | VIDEO NR | 映像ノイズの低減レベルを選択します。 |
| | 色空間 | 色空間モードを選択します。 |
| | S-VIDEO フォーマット | S-VIDEO 信号のフォーマットを選択します。 |
| | C-VIDEO フォーマット | C-VIDEO 信号のフォーマットを選択します。 |
| | HDMI フォーマット | HDMI 信号のフォーマットを選択します。 |
| | HDMI レンジ | HDMI 信号モードを選択します。 |
| | COMPUTER IN1 | COMPUTER IN1 の SYNC ON G モードを選択します。 |
| | COMPUTER IN2 | COMPUTER IN2 の SYNC ON G モードを選択します。 |
| | フレームロック - COMPUTER IN1 | COMPUTER IN1 のフレームロックを有効／無効にします。 |
| | フレームロック - COMPUTER IN2 | COMPUTER IN2 のフレームロックを有効／無効にします。 |
| | フレームロック - HDMI | HDMI のフレームロックを有効／無効にします。 |

( 次ページにつづく）.

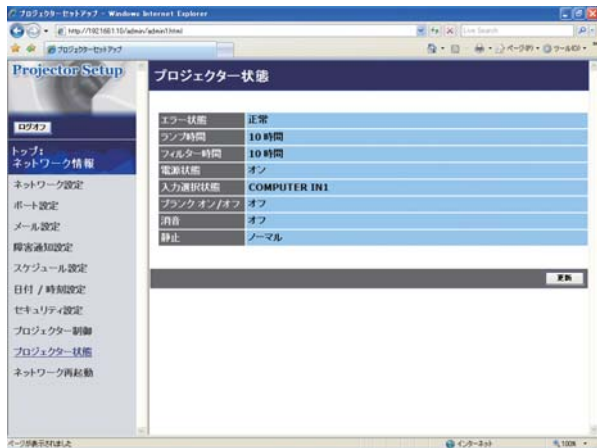
| 項　目 | | 説　明 |
|---|---|---|
| 設置 | | 設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。 |
| | デジタルズーム | デジタルズームを有効／無効にします。 |
| | デジタルシフト V | デジタルズーム位置（垂直方向）を調節します。 |
| | デジタルシフト H | デジタルズーム位置（水平方向）を調節します。 |
| | 画像表示位置 | 画面の垂直位置を調整します。 |
| | キーストン V | 垂直方向のキーストン（台形歪み）を調節します。 |
| | エコモード | エコ モードを選択します。 |
| | 反転表示 | 画面の反転モードを選択します。 |
| | スタンバイモード | スタンバイ モードを選択します。 |
| | モニターアウト - COMPUTER IN1 | COMPUTER IN1 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。 |
| | モニターアウト - COMPUTER IN2 | COMPUTER IN2 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。 |
| | モニターアウト - HDMI | HDMI 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。 |
| | モニターアウト - S-VIDEO | S-VIDEO 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。 |
| | モニターアウト - VIDEO | VIDEO 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。 |
| | モニターアウト - スタンバイ | スタンバイ時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。 |
| オーディオ | | 設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。 |
| | 音量 | 音量を調節します。 |
| | スピーカー | 内蔵スピーカーのオン／ オフを設定します。 |
| | 音声入力設定 - COMPUTER IN1 | COMPUTER IN1 選択時の音声入力端子を設定します。 |
| | 音声入力設定 - COMPUTER IN2 | COMPUTER IN2 選択時の音声入力端子を設定します。 |
| | 音声入力設定 - HDMI | HDMI 選択時の音声入力端子を設定します。 |
| | 音声入力設定 -S-VIDEO | S-VIDEO 選択時の音声入力端子を設定します。 |
| | 音声入力設定 - VIDEO | VIDEO 選択時の音声入力端子を設定します。 |
| | 音声入力設定 - STANDBY | スタンバイ時（AUDIO OUT 端子からのみ出力）の音声入力端子を設定します。 |
| | HDMI AUDIO | HDMI AUDIO 設定を切り替えます。 |

( 次ページにつづく ) .

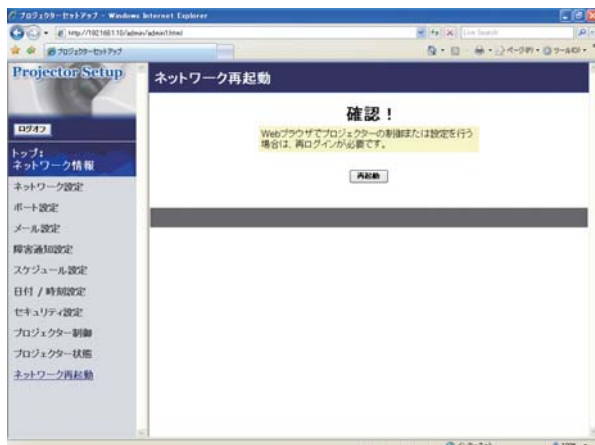
| 項　目 | | 説　明 |
|---|---|---|
| スクリーン | | 設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。 |
| | 表示言語 | 本機のメニューなど、画面の表示言語を選択します。 |
| | メニュー位置 V | メニューの垂直位置を調節します。 |
| | メニュー位置 H | メニューの水平位置を調節します。 |
| | ブランク | ブランク画面を選択します。 |
| | 初期画面 | 初期画面を選択します。 |
| | マイスクリーンロック | マイスクリーンロックをオン／オフします。 |
| | メッセージ | メッセージ表示のオン／オフを設定します。 |
| | テンプレート | テンプレートの画面を選択します。 |
| | C.C. - ディスプレイ | クローズド・キャプションの表示設定を選択します。 |
| | C.C. - モード | クローズド・キャプションのモードを選択します。 |
| | C.C. - チャンネル | クローズド・キャプションのチャンネルを選択します。 |
| その他 | | 設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。 |
| | オートサーチ | 入力信号の自動検索の有効／無効を設定します。 |
| | ダイレクトパワーオン | ダイレクトパワーオン機能の有効／無効を設定します。 |
| | オートパワーオフ | オートパワーオフの実行時間を設定します。 |
| | マイボタン -1 | リモコンのマイボタン 1 に割り付ける機能を選択します。 |
| | マイボタン -2 | リモコンのマイボタン 2 に割り付ける機能を選択します。 |
| | マイソース | リモコンのマイソースボタンで選択できる、映像信号の入力端子を設定します。 |
| | リモコン周波数（標準） | リモコン受光周波数“標準”の有効／無効を設定します。 |
| | リモコン周波数（高） | リモコン受光周波数“高”の有効／無効を設定します。 |

**お知らせ**

● Web コントロール使用中に、本機のメニューやリモコンで設定を変更した場合、ウィンドウの表示と実際の設定が一致しないことがあります。その場合には［更新］ボタンをクリックして本機の設定を再読込みしてください。

# 3.1.11 プロジェクター状態

メインメニューの [ プロジェクター状態 ] をクリックすると、左の“プロジェクター状態”画面が表示されます。“プロジェクター状態”では、現在の本機の状態を表示します。

| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| エラー状態 | 現在起きているエラー状況を表示します。 |
| ランプ時間 | ランプの使用経過時間を表示します。 |
| フィルター時間 | エアーフィルターの使用経過時間を表示します。 |
| 電源状態 | 電源の状態を表示します。 |
| 入力選択状態 | 選択されている映像入力端子を表示します。 |
| ブランク オン / オフ | ブランク画面のオン／オフ状態を表示します。 |
| 消音 | 消音機能のオン／オフ状態を表示します。 |
| 静止 | 画面の静止／通常表示の状態を表示します |

# 3.1.12 ネットワーク再起動

メインメニューの［ネットワーク再起動］をクリックすると、左の " ネットワーク再起動” 画面が表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“ネットワーク再起動” では、本機のネットワーク接続を再起動します。

| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| 再起動 | ボタンをクリックすると、保存した新しい設定を有効にするために、ネットワーク接続を再起動します。 |

**お知らせ**

●ネットワーク接続を再起動した後、再び Web ブラウザで本機を調整、または設定を変更するには、再起動して 1 分以上経ってから再度ログオンする必要があります。

# 3.1.13 ログオフ

メインメニューの [ ログオフ ] ボタンをクリックすると、ネットワークからログオフし、ログオンウィンドウが表示されます。

# 3.2 電子メール機能による自動通知

本機には、メンテナンスが必要な場合やエラーが発生したときに、ユーザーが指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信する機能があります。

本機の警告メール機能の設定は Web ブラウザから下記の通り設定をしてください。
例 : 本機の IP アドレスが“192.168.1.10”の場合
1) Web ブラウザのアドレスバーに“http://192.168.1.10/”を入力します。
2) 管理者 ID とパスワードを入力して［ログオン］をクリックします。
3) メインメニューの［ポート設定］をクリックします。
4) "SMTP ポート " の " ポートオープン "［有効］のチェックボックスをオンにして SMTP ポートを有効にします（**3-13**）。
5) ［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。
"SMTP ポート " の設定を変更した場合は､ネットワーク接続の再起動が必要です。メインメニューの［ネットワーク再起動］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（**3-28**）。
6) メインメニューの［メール設定］をクリックします。
7) " メール送信 " の［有効］チェックボックスをオンし、メールサーバーの IP アドレス、送信者／受信者の電子メールアドレスを設定します（**3-15**）。
8) ［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。
9) 電子メールの設定が正しいことを確認して､［メール設定］の［テストメール送信］ボタンをクリックしてください。 メール設定が正しく機能すれば、下のような内容のメールが、指定したメールアドレスに送信されます。
件名 : Test Mail ＜プロジェクター名＞
本文 : Send Test Mail
Date ＜テスト実施日＞
Time ＜テスト実施時間＞
IP Address ＜本機の IP アドレス＞
MAC Address ＜本機の MAC アドレス＞
10) メインメニューの [ 障害通知設定 ] をクリックします。
11) 通知設定する各エラー／警告項目を選択します（**3-16**）。
12) “メール送信”の［有効］チェックボックスをオンにし、電子メールの件名と本文を入力します。必要に応じて“警告時間”も設定します（**3-17**）。
13) ［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。

エラー／警告メッセージが、次のような形式の電子メールで送信されます。
件名 : ＜メール件名＞ ＜プロジェクター名＞
本文 : ＜メール本文＞
Date ＜エラー / 警告の発生日＞
Time ＜エラー / 警告の発生時間＞
IP Address ＜本機の IP アドレス＞
MAC Address ＜本機の MAC アドレス＞

**お知らせ**
●最大 5 つの受信電子メールアドレスを設定できます。
●本機の電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。

# 3.3 SNMP による自動通知

SNMP を使えるネットワーク環境であれば、SNMP マネージャを使って本機のエラー／警告の通知を受け取ることができます。

SNMP を使用して、本機のエラー／警告を自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。
例：本機の IP アドレスが“192.168.1.10”の場合
1) Web ブラウザのアドレスバーに“http://192.168.1.10/”を入力します。
2) 管理者 ID とパスワードを入力して［ログオン］をクリックします。
3) メインメニューの［ポート設定］をクリックします。
4) "SNMP ポート " の " ポートオープン "[ 有効 ] のチェックボックスをオンにして SNMP ポートを有効にします。また、SNMP トラップの宛先の IP アドレスを設定します（📖**3-14)**。
5) ［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。
"SNMP ポート " の設定を変更した場合は、ネットワーク接続の再起動が必要です。メインメニューの［ネットワーク再起動］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖**3-28**）。
6) メインメニューの［セキュリティ設定］をクリックします。
7) [SNMP] をクリックして、コミュニティ名を設定します（📖**3-22**）。
コミュニティ名は、初期設定では“public”が設定されています。
8) コミュニティ名を変更した場合は、［適用］ボタンをクリックして設定を保存し、メインメニューの［ネットワーク再起動］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください。
9) メインメニューで [ 障害通知設定 ] をクリックします。
10) 通知設定する各エラー／警告項目を選択します（📖**3-16**）。
11) "SNMP トラップ " の［有効］チェックボックスをオンにします（📖**3-17**）。
12) ［適用］ボタンをクリックして、設定を保存してください。

**お知らせ**

● SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めいたします。
● SNMPによって本機を監視できるようにするには、SNMPマネージャがコンピュータにインストールされている必要があります。

# 3.4 スケジュール機能

スケジュール機能を使って、指定した日時に指定したイベントを自動的に実行させることが出来ます。
スケジュール機能には、3 種類の設定方法があります。

・毎日：指定した操作を指定時刻に毎日実行します。
・日曜日〜土曜日：指定した操作を指定曜日の指定時刻に毎週実行します。
・特定日：指定した操作を指定日の指定時刻に毎年実行します。

実行できるイベントは、次の 4 種類です。

・本機の電源オン／オフ
・映像入力信号の切り替え
・マイ イメージ機能（📖**3-33**）で転送された画像の表示
・メッセンジャー機能（📖**3-35**）で転送されたテキストデータの表示

**お知らせ**

●スケジュール設定したイベントの優先順位は、1) 特定日、2) 曜日、3) 毎日の順になります。
●同日の同時刻に複数のイベントを設定すると、" 電源［オン］" のイベントは最後に実行されます。
●同じ日付に実行するイベントは、同一の特定日に設定してください。複数の特定日に同日のイベントを設定すると、特定日の番号（1 〜 5）が最も小さい特定日のイベントのみが実行されます。
●日付と時間が正しく設定されているのに、時刻設定にエラーが生じる場合、内蔵時計用電池が切れている可能性があります。「内蔵時計用電池の交換」（📖**1-39**）に従って電池を交換してください。
●内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。

ネットワーク編

## 3.4.1 日時設定

スケジュールを設定する前に、Web ブラウザから下記の通り日時の設定をしてください。
例：本機の IP アドレスが“192.168.1.10”の場合

1) Web ブラウザのアドレスバーに“http://192.168.1.10/”を入力します。管理者 ID とパスワードを入力して［ログオン］をクリックします。
2) メインメニューの[日付 / 時刻設定]をクリックして、日時を設定します。
3) ［適用］ボタンをクリックして、設定を保存します。

サマータイムや SNTP の設定を変更した場合はネットワーク接続の再起動が必要です。メインメニューの [ネットワーク再起動] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖**3-28**)。

**お知らせ**

●日付と時間が正しく設定されているのに、時刻設定にエラーが生じる場合、内蔵時計用電池が切れている可能性があります。「内蔵時計用電池の交換」（📖**1-39**）に従って電池を交換してください。
●内蔵時計の時間は、ずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。

# 3.4.2 スケジュール設定

スケジュールの日時と実行するイベントを、Web ブラウザから下記の通り設定してください。

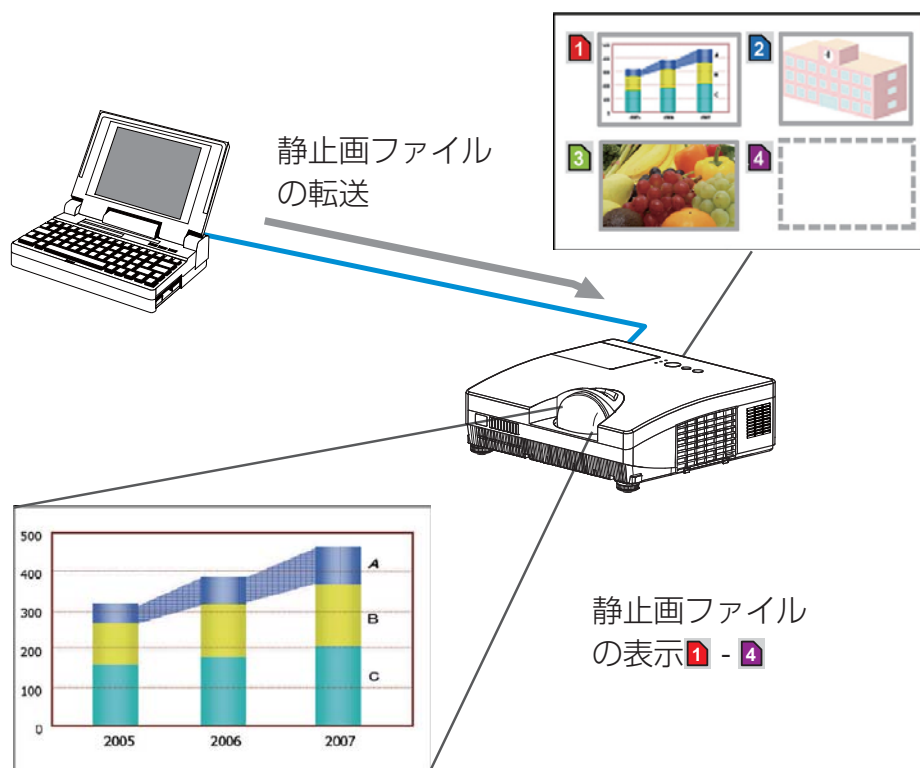
例：本機の IP アドレスが“192.168.1.10”の場合

1) Web ブラウザのアドレスバーに“http://192.168.1.10/”を入力します。
2) 管理者 ID とパスワードを入力して［ログオン］をクリックします。
3) メインメニューの [ スケジュール設定 ] をクリックします。
4) 設定するスケジュールの日程を選択し、［有効］チェックボックスをオンにしてスケジュールを有効にし、［適用］ボタンをクリックして、設定を保存します。
5) 特定日のスケジュールを設定する場合は、日付 ( 月 / 日 ) を入力します。
6) スケジュールを実行する時間、イベントを設定し、［登録］ボタンをクリックします。
   リストに表示されたスケジュールを削除したい場合は、［削除］ボタンを、リストに表示されたすべてのイベントを削除するには［初期化］ボタンをクリックします。

**お知らせ**

●スケジュールを設定する前に、内蔵時計の日時をご確認ください（📖3-20)。
●電源 [ オン ] スケジュール設定が 1 つでも登録されていれば、本機がスタンバイ状態のときに電源インジケータがおよそ 3 秒間周期で緑色に点滅します。
●スケジュール機能をご使用になるためには、本機に電源が供給されている必要があります。本機の電源インジケータが橙色または緑色に点灯していることを確認してください。

# 3.5 マイ イメージ

コンピュータからネットワーク経由で転送された静止画を表示させることができます。

静止画転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。このアプリケーションは日立のホームページからダウンロードできます。

http://www.hitachi.co.jp/proj/

アプリケーションに関する説明は、アプリケーションに付属のマニュアルをご覧ください。
転送された静止画を表示させるには、【応用編】「マイ イメージ」(📖2-38)をご覧ください。

**お知らせ**

●最大 4 つの画像ファイルを本機に転送、表示することができます。
●画像ファイルはマイ イメージを割り当てられたマイボタン 1/2 を押すことによっても表示することができます(📖2-28)。
●静止画転送機能で本機に転送した画像は、スケジュール機能を使用して表示することができます(📖3-32)。

## 3.5 マイ イメージ （つづき）

静止画転送を行うには、Web ブラウザから下記の通り通信ポートを設定してください。
例：本機の IP アドレスが“192.168.1.10”の場合
1) Web ブラウザのアドレスバーに“http://192.168.1.10/”を入力します。
2) 管理者 ID とパスワードを入力して［ログオン］をクリックします。
3) メインメニューの［ポート設定］をクリックします。
4) " 画像転送ポート（ポート :9716）" の " ポートオープン " ［有効］のチェックボックスをオンにして画像転送ポート（ポート :9716）を有効にします。

認証設定が必要なときは、" 認証 " のチェックボックスをオンにして認証を有効にします。

5) ［適用］ボタンをクリックして、設定を保存します。
   認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。
6) メインメニューの [ セキュリティ設定 ] をクリックします。
7) [ ネットワーク制御 ] を選び、認証用のパスワードを設定してください。
8) ［適用］ボタンをクリックして、設定を保存します。

**お知らせ**

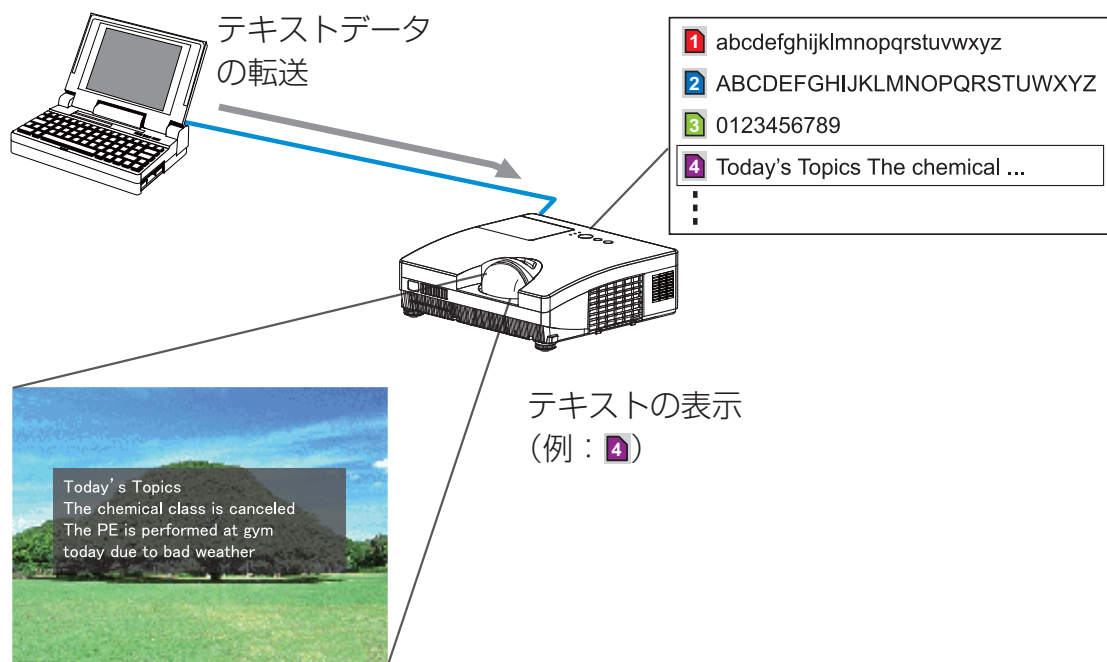
● " セキュリティ設定 " で設定した認証パスワードは、ネットワーク制御ポート１(ポート : 23)、ネットワーク制御ポート２(ポート : 9715)、PJLink™ ポート(ポート : 4352)、画像転送ポート(ポート : 9716)、テキスト転送ポート（ポート : 9719）で共通になります。

●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワーク再起動］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖**3-28**）。

# 3.6 メッセンジャー機能

メッセンジャー機能を使うと、テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し表示させることができます。テキストデータをネットワーク経由で転送してリアルタイムで表示させる使い方と、あらかじめネットワーク経由で本機に転送・登録されたテキストから選択して１つずつ表示させる使い方が可能です。
メッセンジャー機能を使用するためには、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。このアプリケーションで、テキストデータを編集、転送、表示させることができます。このアプリケーションは日立のホームページからダウンロードできます。

http://www.hitachi.co.jp/proj/

アプリケーションに関する説明は、アプリケーションに付属のマニュアルをご覧ください。

**お知らせ**

●本機には最大 12 項目のテキストデータを登録することができます。
●登録されたテキストデータの表示 / 非表示はメッセンジャー機能を割り当てられたマイボタン 1/2 を押すことによっても切り替えることができます（📖**2-28**）。
●メッセンジャー機能で本機に転送したテキストデータは、スケジュール機能を使用して表示することができます（📖**3-32**）。

テキストデータの転送を行う前に、Web コントロールで、下記の通り通信ポートと、必要に応じてセキュリティを設定してください。

**■ポート設定**

1)「3.1.1 ログオン」（📖**3-10**）にしたがって、Web コントロールにログオンします。
2) メインメニューの［ポート設定］をクリックします。
3) “メッセンジャーポート（ポート :9719）” の “ポートオープン” [ 有効 ] のチェックボックスをオンにしてメッセンジャーポートを有効にします（📖**3-20**）。
認証設定が必要なときは、" 認証” [ 有効 ] のチェックボックスをオンにして認証を有効にします。
4)［適用］ボタンをクリックして設定を保存し、「3.1.12 ネットワーク再起動」（📖**3-28**）にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

**■セキュリティ設定**

メッセンジャーポートの認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。

1) メインメニューの [ セキュリティ設定 ] をクリックします。
2) [ ネットワーク制御 ] を選択し、認証パスワードを設定してください（📖**3-22**）。
3)［適用］ボタンをクリックして、設定を保存します。

お知らせ

- "" セキュリティ設定” で設定した認証パスワードは、ネットワーク制御ポート1（ポート :23）、ネットワーク制御ポート2（ポート :9715）、PJLink™ ポート（ポート :4352）、マイ イメージポート（ポート :9716）、メッセンジャーポート（ポート :9719）で共通になります。
- " 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワーク再起動］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください。

# 3.7 ネットワークからのコマンド制御

RS-232C コマンドを使用し、ネットワークから本機を操作、設定することができます。

## 3.7.1 ポートの種類

コマンド制御には、以下の 2 ポートが割り当てられています。

TCP #23　( ネットワーク制御 ポート 1 ( ポート : 23))

TCP #9715　( ネットワーク制御 ポート 2 ( ポート : 9715))

**お知らせ**

●コマンド制御は、上記2ポートでのみ可能です。※静止画転送に使用しているポート (TCP #9716)（📖**3-33**）でのコマンド制御はできません。

## 3.7.2 コマンド制御の設定

ネットワーク経由で本機をコマンド制御するには、Web ブラウザから下記の通り通信ポートを設定してください。

例 : 本機の IP アドレスが“192.168.1.10”の場合

1) Web ブラウザのアドレスバーに“http://192.168.1.10/”を入力します。
2) 管理者 ID とパスワードを入力して［ログオン］をクリックします。
3) メインメニューの［ポート設定］をクリックします。
4) " ネットワーク制御 ポート 1 ( ポート :23)" の " ポートオープン " [ 有効 ] のチェックボックスをオンにして、ネットワーク制御 ポート 1 ( ポート :23) を有効にします。
   認証設定が必要なときは、" 認証 " のチェックボックスをオンにして認証を有効にします。

5) " ネットワーク制御 ポート 2 ( ポート : 9715)" の " ポート オープン " のチェックボックスをオンにして、ネットワーク制御 ポート 2 ( ポート : 9715) を有効にします。
   認証設定が必要なときは、" 認証 " のチェックボックスをオンにして認証を有効にします。
6) ［適用］ボタンをクリックして、設定を保存します。

認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。

7) メインメニューの [ セキュリティ設定 ] をクリックします。
8) [ ネットワーク制御 ] を選び、認証用のパスワードを設定してください。
9) ［適用］ボタンをクリックして、設定を保存します。

**お知らせ**

● " セキュリティ設定 " で設定した認証パスワードは、ネットワーク制御ポート 1 ( ポート : 23)、ネットワーク制御 ポート 2 ( ポート :9715)、PJLink® ポート ( ポート : 4352)、画像転送ポート（ポート : 9716)、テキスト転送ポート（ポート : 9719）で共通になります。

● 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの［ネットワーク再起動］をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖**3-28**)。

ネットワーク編

# 3.7.3 コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります。

● TCP #23

・送信データ形式

RS-232C コマンドと同じものをそのまま使用できます。コマンドの詳細については【技術情報編】「コマンド 制御」（📖**4-11**）を、対応コマンドについては【技術情報編】「RS-232C ／ネットワークコマンド一覧」（📖**4-15**）をご参照ください。

・応答データ形式

RS-232C コマンドと同じですが、認証エラーが発生した場合は、以下の応答が返されます。

＜認証エラー応答＞

| 応答 | エラーコード | |
|---|---|---|
| 0x1F | 0x04 | 0x00 |

● TCP #9715

・送信データ形式

送信データ形式は以下のように、RS-232C コマンドにヘッダ（0x02)、データ長（0x0D)、チェックサム（1 バイト)、接続 ID（1 バイト）が加わります。

| ヘッダ | データ長 | RS-232C コマンド | チェックサム | 接続 ID |
|---|---|---|---|---|
| 0x02 | 0x0D | 13 バイト | 1 バイト | 1 バイト |

ヘッダ　：0x02、固定
データ長　：RS-232C コマンドのバイト長（0x0D、固定）
RS-232C コマンド　：RS-232C コマンド、0xBE 0xEF から始まる 13 バイトのコマンド
チェックサム　：ヘッダからチェックサムまでの和の下位 8 ビットが 0 となる値
接続 ID　：0 ～ 255 のランダムな値（この数値は応答データに付加されます）

・応答データ形式

RS-232C コマンドに、接続 ID（送信データの接続 ID と同じ）が加わります。

＜ ACK 応答＞

| 応答 | 接続 ID |
|---|---|
| 0x06 | 1 バイト |

＜ NAK 応答＞

| 応答 | 接続 ID |
|---|---|
| 0x15 | 1 バイト |

＜エラー応答＞

| 応答 | エラーコード | 接続 ID |
|---|---|---|
| 0x1C | 2 バイト | 1 バイト |

＜データ応答＞

| 応答 | データ | 接続 ID |
|---|---|---|
| 0x1D | 2 バイト | 1 バイト |

＜ビジー応答＞

| 応答 | ステータスコード | 接続 ID |
|---|---|---|
| 0x1F | 2 バイト | 1 バイト |

＜認証エラー応答＞

| 応答 | 認証エラーコード | | 接続 ID |
|---|---|---|---|
| 0x1F | 0x04 | 0x00 | 1 バイト |

## 3.7.4 ネットワーク接続の自動切断

接続後に 30 秒間通信がなければ、TCP 接続は自動的に切断されます。

## 3.7.5 認証

本機の認証には MD5（Message Digest 5）というアルゴリズムを使用しています。認証機能を有効にして本機をコマンド制御するには、本機から送信されるランダムな 8 バイトデータと認証パスワードを、MD5 アルゴリズムで処理した認証データを、送信コマンドの先頭に追加する必要があります。

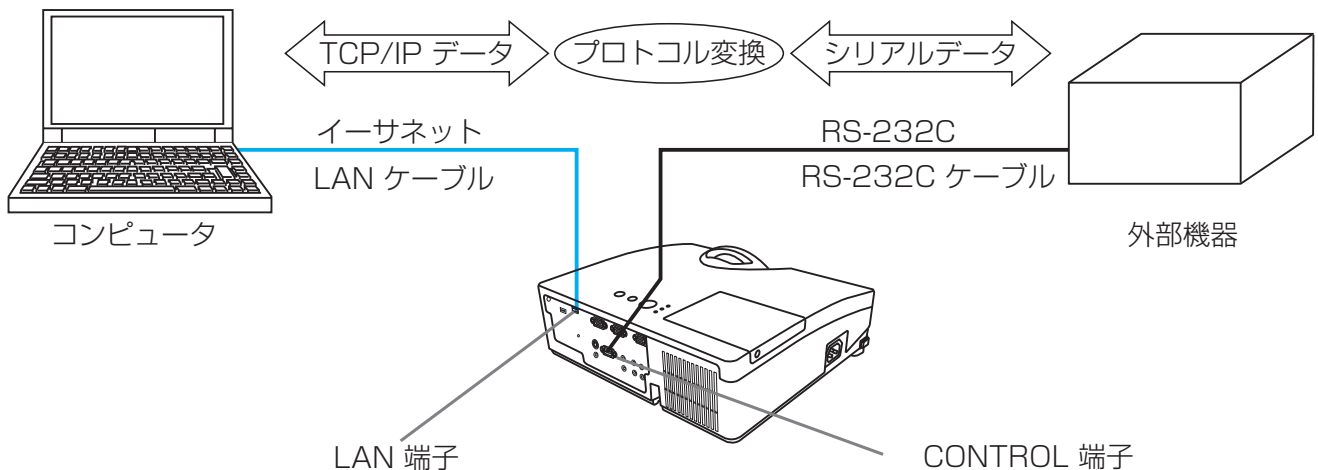
（例）認証パスワード：password
ランダムな 8 バイトデータ：a572f60c

1) 本機とコンピュータをネットワークで接続し、本機からランダムな 8 バイトデータを受信します。
2) 受信したランダムな 8 バイトデータと認証パスワードを結合した値、
   a572f60cpassword
   を MD5 アルゴリズムで処理します。
3) MD5 アルゴリズムでの処理の結果、
   e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde
   という認証データを得られます。
5) 認証データをコマンドの先頭に付加し、
   e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde ＋コマンド
   というデータを送信します。
6) 送信データが正しければ、コマンドが実行されて ACK またはデータ応答が返されます。送信データが正しくない場合、認証エラー応答が返されます。

**お知らせ**

●接続している間、２回目以降のコマンドデータ送信では認証データを省略できます。

# 3.8 プロジェクターを経由して外部機器を制御する（ネットワークブリッジ機能を使う）

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。
ネットワークブリッジ機能を使うと、本機とイーサネット通信（LAN）で接続したコンピュータから本機を経由して、本機と RS-232C で接続した外部機器を、ネットワーク端末と同様に制御することができます。

## 3.8.1 機器の接続

1） 本機のLAN端子とコンピュータのLAN端子をイーサネット通信用にLANケーブルで接続します。
2） 本機の CONTROL 端子と外部機器の RS-232C 端子を RS-232C 通信用に RS-232C ケーブルで接続します。

**お知らせ**

●接続の前に接続する各機器の説明書をお読みになり、正しく接続してください。
● RS-232C 接続については、各々の端子の仕様を確認の上、適切な通信ケーブルを使用してください（📖**4-11**）。

## 3.8.2 通信設定

1) 本機のネットワークブリッジに関する通信設定は、本機の通信設定メニュー（📖**2-32**）から設定を行ってください。

1) 本機の電源を入れ、詳細メニューを表示させます（📖**2-2**）。

2)「 その他」メニュー（📖**2-25**）の「特別な設定」から「通信設定」（📖**2-32**）を選択し、通信設定メニューを表示します。

3)「 通信タイプ」で、「ネットワークブリッジ」を選択してください。

4)「 シリアル設定」で、「ボーレート」と「パリティ」を、接続した外部機器との RS-232C 通信に合わせて選択してください。（📖**2-33**）。データ長、スタートビット、ストップビットは以下のように固定されています。

| 設定項目 | 仕様 |
|---|---|
| ボーレート | 4800bps/9600bps/19200bps/38400bps |
| パリティ | なし / 奇数 / 偶数 |
| データ長 | 8 ビット ( 固定 ) |
| スタートビット | 1 ビット ( 固定 ) |
| ストップビット | 1 ビット ( 固定 ) |

5)「 通信方式」で、接続した外部機器、またはコンピュータの仕様に合わせた方式を選択してください。

**通信方式：半二重通信／全二重通信**

半二重通信を選択した場合は、接続した外部機器の仕様に合わせ、「応答データ受信期間」も設定してください。

**応答データ受信期間：オフ／ 1s ／ 2s ／ 3s**

**お知らせ**

- 工場出荷時、通信タイプには「オフ」が選択されています。
- 本機の通信設定メニューを操作し、通信方式の設定を行ってください。設定が適切でないと、外部機器を正しく制御することができませんのでご注意ください。
- 通信タイプをネットワークブリッジに設定している時は、RS-232C コマンドを使用した本機の制御はできません。

## 3.8.3 通信ポート

コンピュータから本機へのデータ送信には、Web ブラウザの“ポート設定”で“ネットワークブリッジポート”に設定されているポートを使用してください（📖**3-14**）。

**お知らせ**

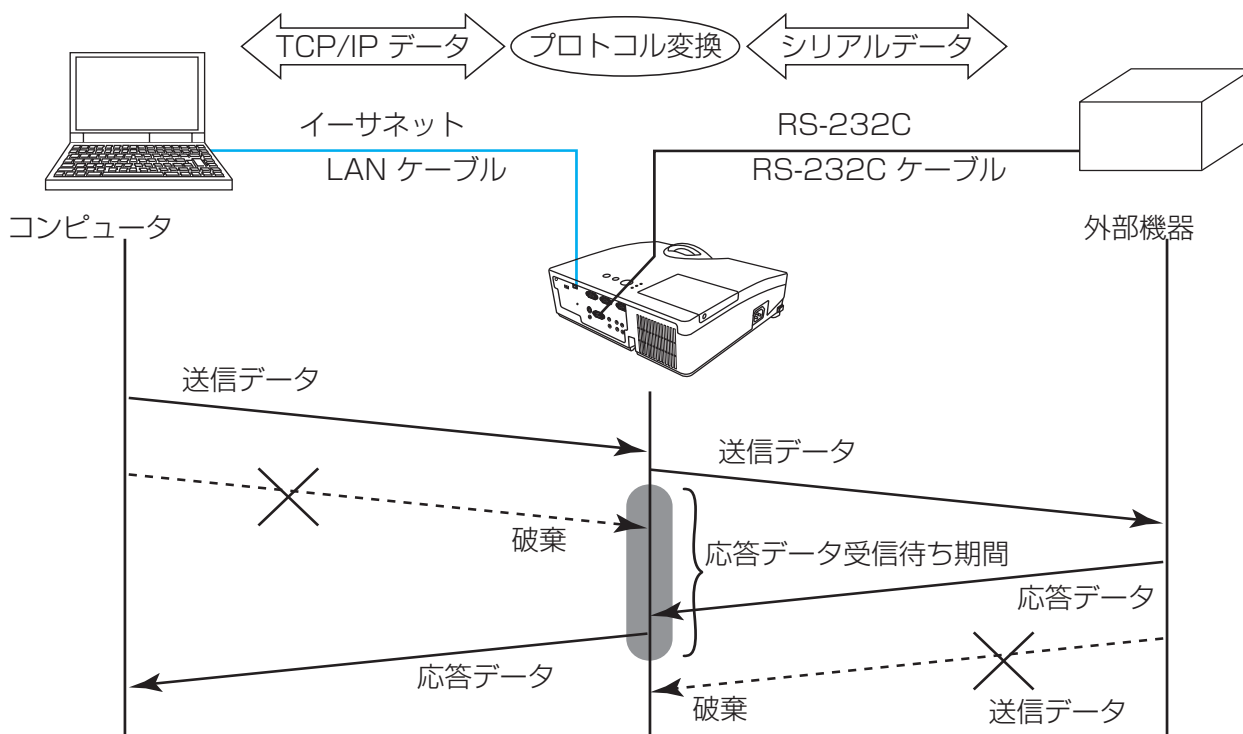
- 通信ポートは 1024 ～ 65535 の範囲 ( 但し、9715, 9716, 9719, 4352 を除く ) で任意に設定することができます。工場出荷時は、ネットワークブリッジ ポート は“9717”が設定されています。

# 3.8.4 通信方式

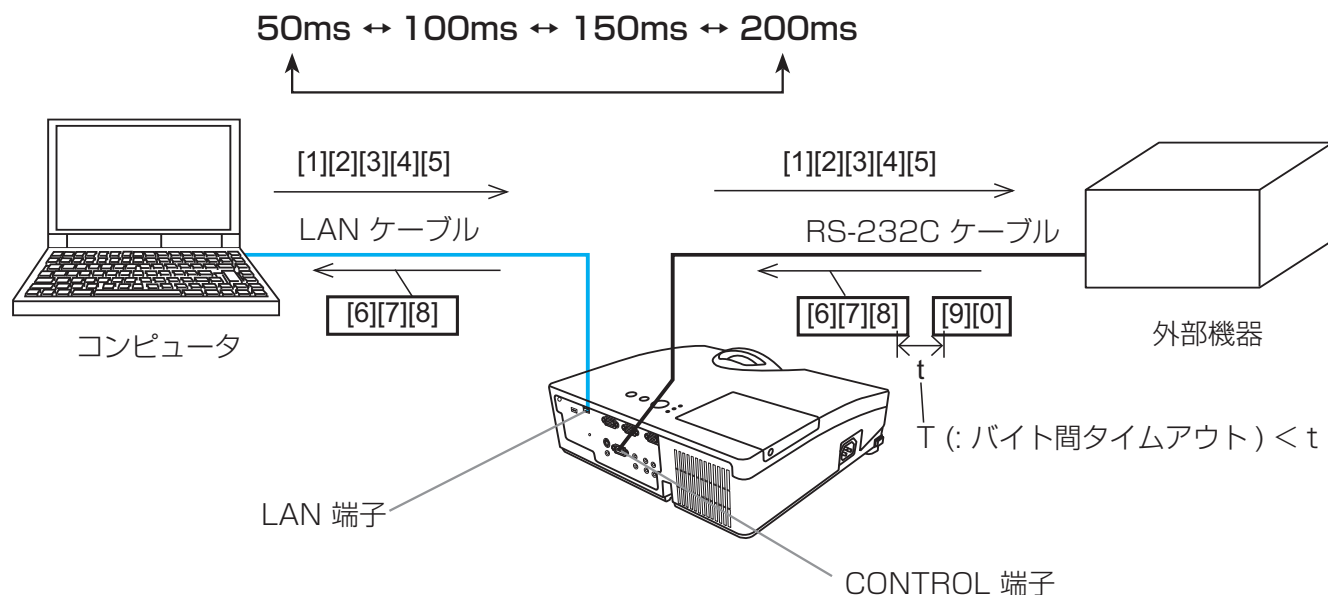
本機の通信タイプにネットワークブリッジが選択されているとき、CONTROL 端子には、次の通信方式を選択して使用できます（📖2-33）。

**半二重通信 ↔ 全二重通信**

3.8.4.1 半二重通信

この方式では、本機は一度に送信または受信のどちらか一方のみ行います。
コンピュータから本機を経由して一度外部機器へデータを送信すると、外部機器からの応答データを受信するか、一定の時間（応答データ受信期間）が経過するまで、本機はコンピュータとの送受信を行いません。本機は、データの送信と受信を制御し、通信の同期をとります。
半二重通信で通信を行う場合は、以下に従って、応答データ受信期間とバイト間タイムアウトの設定を行ってください。

1）応答データ受信期間メニューを操作して、外部機器からの応答を待つ時間を選択してください（📖2-33）。

**オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s**

2 ) 外部機器からの応答データのバイトとバイトの間隔が一定期間（バイト間タイムアウト）を超えると、本機は応答が終了したと判定して受信を打ち切り、次の送信を開始します。
応答データのバイト間隔が設定した時間より長いと、コンピュータへ送信する応答データに欠落が生じ、正しく制御できない場合があります。
バイト間タイムアウトメニューを操作して、受信を継続するバイト間隔の最大時間を適切に選択してください（📖**2-34**）。

3.8.4.2 全二重通信
この方式では、本機は外部機器の応答を監視せず、コンピュータと外部機器の両方と随時に送受信を行います。
コンピュータと外部機器の双方から非同期でデータが送信されます。送信データと応答データの同期をとりたいときは、コンピュータから、送受信の制御を行ってください。

**お知らせ**

●半二重通信では、本機は一度に最大 254 バイトまで送信できます。
●半二重通信方式でも、外部機器からの応答を監視しないシステムでは、「応答データ受信期間」を「オフ」に設定すると、コンピュータからのコマンドを連続して送信することができます。工場出荷時は「オフ」に設定されています。
●全二重通信方式で、コンピュータから送受信の制御を行う場合も、本機のデータ処理状況によっては、送受信データに欠落が生じ、正しく制御できない場合があります。

# 取扱説明書 - 詳細版 -

## 液晶プロジェクター

# CP-D30NJ (形名 CP-D30N)

# 【技術情報編】

**技術情報編では、本機の仕様や通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処についてご説明します。保証とアフターサービスについては、巻末をご覧ください。**

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

## もくじ



技術情報編

# 仕様

## コンピュータ信号について

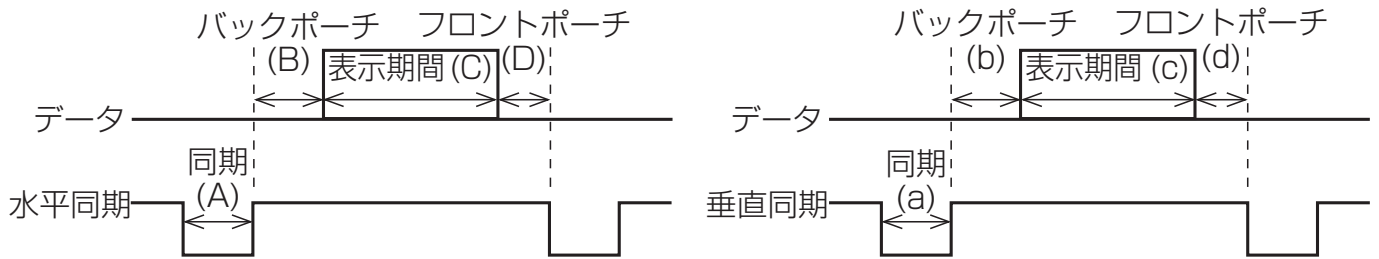
### 対応信号例

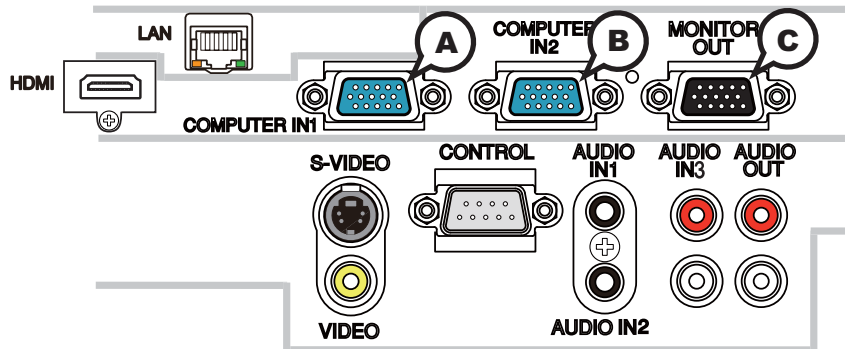
| 解像度（水平 x 垂直） | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | 規格 | 信号モード |
|---|---|---|---|---|
| 720 x 400 | 37.9 | 85.0 | VESA | TEXT |
| 640 x 480 | 31.5 | 59.9 | VESA | VGA (60Hz) |
| 640 x 480 | 37.9 | 72.8 | VESA | VGA (72Hz) |
| 640 x 480 | 37.5 | 75.0 | VESA | VGA (75Hz) |
| 640 x 480 | 43.3 | 85.0 | VESA | VGA (85Hz) |
| 800 x 600 | 35.2 | 56.3 | VESA | SVGA (56Hz) |
| 800 x 600 | 37.9 | 60.3 | VESA | SVGA (60Hz) |
| 800 x 600 | 48.1 | 72.2 | VESA | SVGA (72Hz) |
| 800 x 600 | 46.9 | 75.0 | VESA | SVGA (75Hz) |
| 800 x 600 | 53.7 | 85.1 | VESA | SVGA (85Hz) |
| 832 x 624 | 49.7 | 74.5 | — | Mac 16” mode |
| 1024 x 768 | 48.4 | 60.0 | VESA | XGA (60Hz) |
| 1024 x 768 | 56.5 | 70.1 | VESA | XGA (70Hz) |
| 1024 x 768 | 60.0 | 75.0 | VESA | XGA (75Hz) |
| 1024 x 768 | 68.7 | 85.0 | VESA | XGA (85Hz) |
| 1152 x 864 | 67.5 | 75.0 | VESA | 1152 x 864 (75Hz) |
| 1280 x 768 | 47.7 | 60.0 | VESA | W-XGA(60Hz) |
| 1280 x 800 | 49.7 | 60.0 | VESA | 1280 x 800 (60Hz) |
| 1280 x 960 | 60.0 | 60.0 | VESA | 1280 x 960 (60Hz) |
| 1280 x 1024 | 64.0 | 60.0 | VESA | SXGA (60Hz) |
| 1280 x 1024 | 80.0 | 75.0 | VESA | SXGA (75Hz) |
| 1280 x 1024 | 91.1 | 85.0 | VESA | SXGA (85Hz) |
| 1400 x 1050 | 65.2 | 60.0 | VESA | SXGA+ (60Hz) |
| 1600 x 1200 | 75.0 | 60.0 | VESA | UXGA (60Hz) |

**お知らせ**

- ●本機とコンピュータを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性をあらかじめご確認ください。
- ●コンピュータによっては複数ディスプレイ表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合があります。
- ●入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。上記の解像度をご参照ください。
- ●本機では UXGA(1600 × 1200) の信号まで表示することができますが、信号処理の過程でプロジェクターの液晶パネルの解像度に変換、表示されます。入力信号と液晶パネルの解像度が同一の場合に、映像表示は最良となります。
- ●画面の自動調節は入力信号によって正しく動作しない場合があります。
- ● SYNC ON G、コンポジットシンク信号などの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。

# 初期設定信号

本機では下記の信号を初期設定していますが、コンピュータは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じて「表示」メニューの「垂直位置」「水平位置」の調節を行ってください。

| 解像度（水平 x 垂直） | 水平信号タイミング (μs) | | | | 垂直信号タイミング（ライン数） | | | | 信号モード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | (A) | (B) | (C) | (D) | (a) | (b) | (c) | (d) | |
| 720 x 400 | 2.0 | 3.0 | 20.3 | 1.0 | 3 | 42 | 400 | 1 | TEXT |
| 640 x 480 | 3.8 | 1.9 | 25.4 | 0.6 | 2 | 33 | 480 | 10 | VGA (60Hz) |
| 640 x 480 | 1.3 | 4.1 | 20.3 | 0.8 | 3 | 28 | 480 | 9 | VGA (72Hz) |
| 640 x 480 | 2.0 | 3.8 | 20.3 | 0.5 | 3 | 16 | 480 | 1 | VGA (75Hz) |
| 640 x 480 | 1.6 | 2.2 | 17.8 | 1.6 | 3 | 25 | 480 | 1 | VGA (85Hz) |
| 800 x 600 | 2.0 | 3.6 | 22.2 | 0.7 | 2 | 22 | 600 | 1 | SVGA (56Hz) |
| 800 x 600 | 3.2 | 2.2 | 20.0 | 1.0 | 4 | 23 | 600 | 1 | SVGA (60Hz) |
| 800 x 600 | 2.4 | 1.3 | 16.0 | 1.1 | 6 | 23 | 600 | 37 | SVGA (72Hz) |
| 800 x 600 | 1.6 | 3.2 | 16.2 | 0.3 | 3 | 21 | 600 | 1 | SVGA (75Hz) |
| 800 x 600 | 1.1 | 2.7 | 14.2 | 0.6 | 3 | 27 | 600 | 1 | SVGA (85Hz) |
| 832 x 624 | 1.1 | 3.9 | 14.5 | 0.6 | 3 | 39 | 624 | 1 | Mac 16”mode |
| 1024 x 768 | 2.1 | 2.5 | 15.8 | 0.4 | 6 | 29 | 768 | 3 | XGA (60Hz) |
| 1024 x 768 | 1.8 | 1.9 | 13.7 | 0.3 | 6 | 29 | 768 | 3 | XGA (70Hz) |
| 1024 x 768 | 1.2 | 2.2 | 13.0 | 0.2 | 3 | 28 | 768 | 1 | XGA (75Hz) |
| 1024 x 768 | 1.0 | 2.2 | 10.8 | 0.5 | 3 | 36 | 768 | 1 | XGA (85Hz) |
| 1152 x 864 | 1.2 | 2.4 | 10.7 | 0.6 | 3 | 32 | 864 | 1 | 1152 x 864 (75Hz) |
| 1280 x 768 | 1.7 | 2.5 | 16.0 | 0.8 | 3 | 23 | 768 | 1 | W-XGA(60Hz) |
| 1280 x 800 | 1.6 | 2.4 | 15.3 | 0.8 | 3 | 24 | 800 | 1 | 1280 x 800(60Hz) |
| 1280 x 960 | 1.0 | 2.9 | 11.9 | 0.9 | 3 | 36 | 960 | 1 | 1280 x 960(60Hz) |
| 1280 x 1024 | 1.0 | 2.3 | 11.9 | 0.4 | 3 | 38 | 1024 | 1 | SXGA (60Hz) |
| 1280 x 1024 | 1.1 | 1.8 | 9.5 | 0.1 | 3 | 38 | 1024 | 1 | SXGA (75Hz) |
| 1280 x 1024 | 1.0 | 1.4 | 8.1 | 0.4 | 3 | 44 | 1024 | 1 | SXGA (85Hz) |
| 1400 x 1050 | 1.2 | 2.0 | 11.4 | 0.7 | 3 | 33 | 1050 | 1 | SXGA+ (60Hz) |
| 1600 x 1200 | 1.2 | 1.9 | 9.9 | 0.4 | 3 | 46 | 1200 | 1 | UXGA (60Hz) |

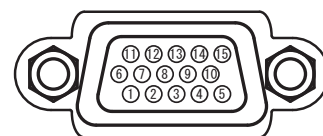
# 入出力信号端子

## Ⓐ COMPUTER IN1, Ⓑ COMPUTER IN2, Ⓒ MONITOR OUT

### D-sub 15 ピン ミニシュリンクジャック

< コンピュータ信号 >

・映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω終端（正極性）

・水平 / 垂直同期信号（セパレートシンク）：TTL レベル（正極性 / 負極性）

・複合同期信号（コンポジットシンク）；TTL レベル

| ピン No. | 信号 | ピン No. | 信号 | ピン No. | 信号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 映像信号 赤 | 6 | 接地 赤 | 11 | − |
| 2 | 映像信号 緑 | 7 | 接地 緑 | 12 | Ⓐ：SDA (DDC データ ) Ⓑ , Ⓒ：− |
| 3 | 映像信号 青 | 8 | 接地 青 | 13 | 水平同期信号 / 複合同期信号 |
| 4 | − | 9 | − | 14 | 垂直同期信号 |
| 5 | 接地 | 10 | 接地 | 15 | Ⓐ：SCL (DDC クロック ) Ⓑ , Ⓒ：− |

< コンポーネントビデオ信号 >

・Y：1.0 ± 0.1Vp-p( 同期信号含む )、75 Ω終端

・Cb/Pb：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端

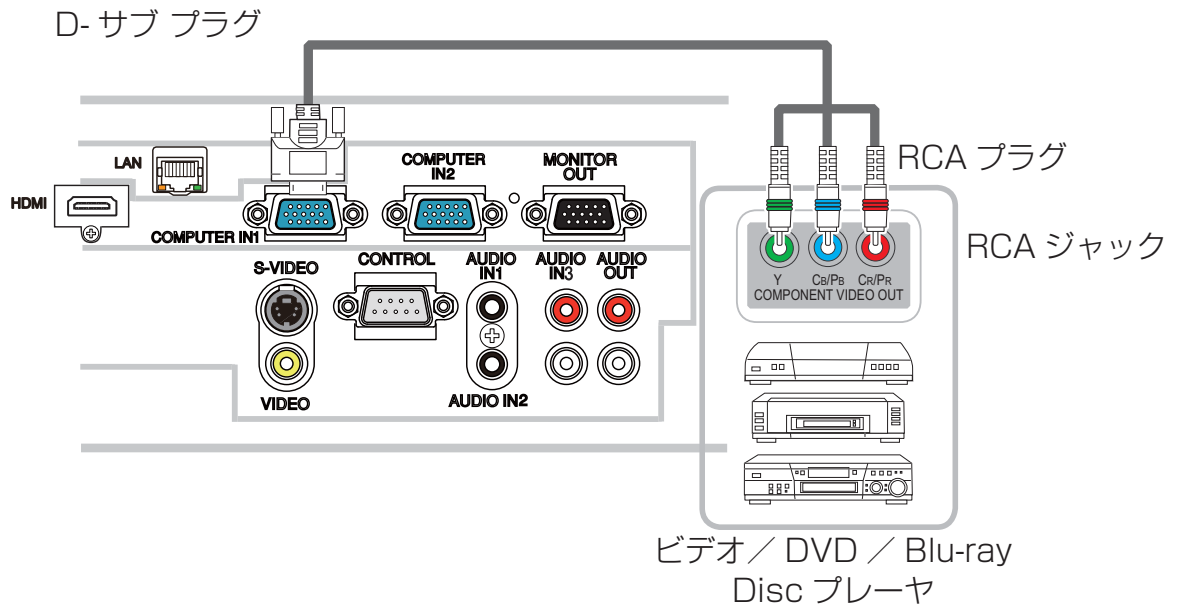
・Cr/Pr：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端

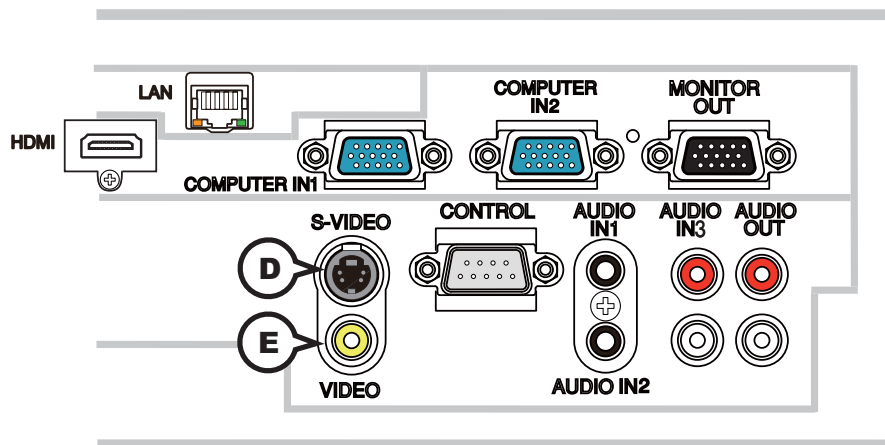
・システム：480i@60,480p@60,576i@50,576p@50,720p@50/60,1080i@50/60,
1080p@50/60

| ピン No. | 信号 | ピン No. | 信号 | ピン No. | 信号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | Cr/Pr | 6 | 接地 Cr/Pr | 11 | − |
| 2 | Y | 7 | 接地 Y | 12 | − |
| 3 | Cb/Pb | 8 | 接地 Cb/Pb | 13 | − |
| 4 | − | 9 | − | 14 | − |
| 5 | 接地 | 10 | 接地 | 15 | − |

## お守りください

●本機の各接続端子は凹んでいるので、L 形ではなく、ストレート形プラグのケーブルを使用してください。

## COMPUTER IN 端子へのコンポーネントビデオ信号の入力について

COMPUTER IN1/2 端子へのコンポーネントビデオ信号の入力には RCA-D サブ変換ケーブルまたはアダプタを使用してください。ケーブルまたはアダプタに要求されるピン仕様については、Ⓐ COMPUTER IN1, Ⓑ COMPUTER IN2(📖**4-4**) を参照してください。

技術情報編

## Ⓓ S-VIDEO

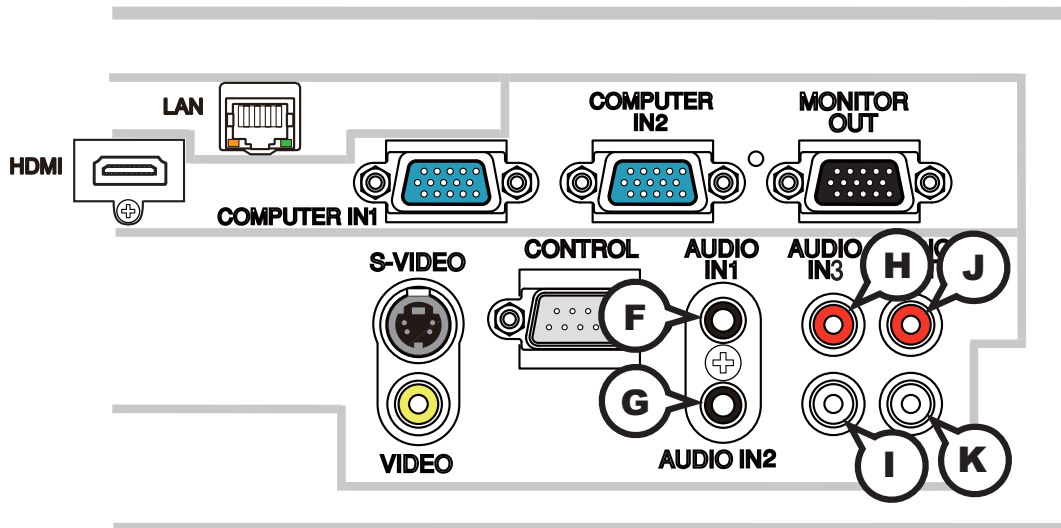
### ミニ DIN4 ピンジャック

・信号方式：NTSC, PAL, SECAM,PAL-M, PAL-N, NTSC4.43,PAL(60Hz)

| ピン No. | 信号 |
|---|---|
| 1 | C（色信号）：0.286Vp-p(NTSC, burst), 75 Ω終端<br>0.300Vp-p(PAL / SECAM, burst), 75 Ω終端 |
| 2 | Y（輝度信号）： 1.0Vp-p, 75 Ω終端 |
| 3 | 接地 |
| 4 | 接地 |

## Ⓔ VIDEO

### RCA ジャック

・信号方式：NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43,PAL(60Hz)
・入力信号：1.0 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端

## Ⓕ AUDIO IN1，Ⓖ AUDIO IN2

**φ 3.5 ステレオミニジャック**

・入力信号：200mVrms、47k Ω終端

## AUDIO IN3　Ⓗ R，Ⓘ L

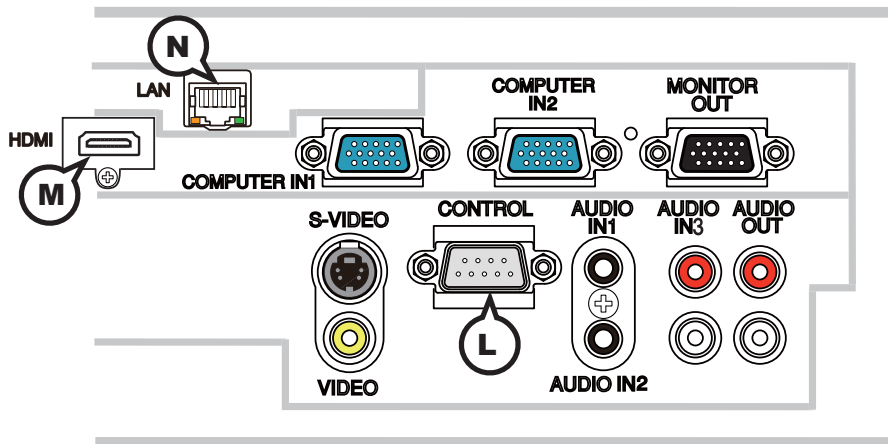
**RCA ジャック**× 2

・入力信号：200mVrms、47k Ω終端

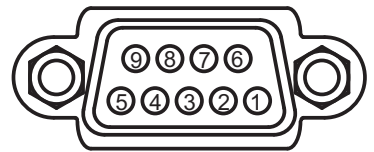
## AUDIO OUT　Ⓙ R，Ⓚ L

**RCA ジャック**× 2

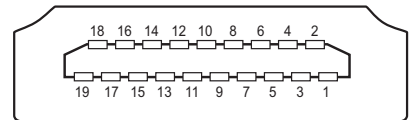
・出力信号：200mVrms、出力インピーダンス 1k Ω

技術情報編

## Ⓛ CONTROL

### D-sub 9 ピンプラグ

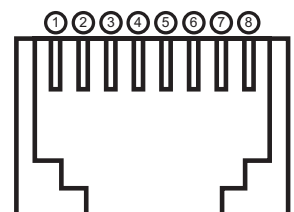
・RS-232C 通信については、次章「コマンド制御」をご参照ください。

| ピン No. | 信号 | ピン No. | 信号 | ピン No. | 信号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | − | 4 | − | 7 | RTS |
| 2 | RD | 5 | 接地 | 8 | CTS |
| 3 | TD | 6 | − | 9 | − |

## Ⓜ HDMI

### HDMI デジタルオーディオ / ビデオコネクタ

| ピン No. | 信号 | ピン No. | 信号 |
|---|---|---|---|
| 1 | T.M.D.S. データ 2 + | 11 | T.M.D.S. データ 1 シールド |
| 2 | T.M.D.S. データ 2 シールド | 12 | T.M.D.S. クロック − |
| 3 | T.M.D.S. データ 2 − | 13 | CEC |
| 4 | T.M.D.S. データ 2 1+ | 14 | 予備（非結線） |
| 5 | T.M.D.S. データ 1 シールド | 15 | SCL |
| 6 | T.M.D.S. データ 1 − . | 16 | SDA |
| 7 | T.M.D.S. データ 0 + | 17 | DDC/CEC グランド |
| 8 | T.M.D.S. データ 0 シールド | 18 | ＋ 5V 電源 |
| 9 | T.M.D.S. データ 0 − | 19 | ホットプラグ検出 |
| 10 | クロック ＋ | | |

## Ⓝ LAN

### RJ-45 ジャック

| ピン No. | 信号 | ピン No.. | 信号 | ピン No. | 信号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | TX+ | 4 | − | 7 | − |
| 2 | TX- | 5 | − | 8 | − |
| 3 | RX+ | 6 | RX- | | |

# PJ Link™

本機は、PJLink™ の Class 1 に適合しています。

PJLink™ のパスワードは、Web ブラウザコントロールで設定したパスワードと同じです。認証なしで PJLink™ を使用する場合は、Web ブラウザコントロールにパスワードを設定しないでください。

PJLink™ の仕様については PJLink™ の web サイトをご覧ください。

URL: http://pjlink.jbmia.or.jp/ （2010 年 6 月現在）

PJLink™ プロトコルを使用してプロジェクターを制御するには、下表をご参照ください。

**お知らせ**

- PJLink™ はデータプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。

| コマンド | 制御説明 | 送信又は回答パラメータ |
|---|---|---|
| POWR | パワーオン / オフ | 0 = スタンバイ<br>1 = 電源入 |
| POWR ? | パワーステータス確認 | 0 = スタンバイ<br>1 = 電源入<br>2 = 冷却中 |
| INPT | 入力 ( 受信 ) 信号確認 | 11 = COMPUTER IN 1<br>12 = COMPUTER IN 2<br>22 = S-VIDEO<br>23 = VIDEO 1<br>31 = HDMI |
| INPT ? | 受信信号確認 | 11 = COMPUTER IN 1<br>12 = COMPUTER IN 2<br>22 = S-VIDEO<br>23 = VIDEO 1<br>31 = HDMI |

技術情報編

（次ページにつづく）

PJLink™（つづき）

| コマンド | 制御説明 | 送信 又は 回答パラメータ |
| --- | --- | --- |
| AVMT | AV ミュート ( ブランク ) | 10 = 通常画面表示（ブランクオフ）<br>11 = ブランク画面表示（ブランクオン）<br>20 = 消音オフ<br>21 = 消音オン<br>30 = AV ミュートオフ<br>31 = AV ミュートオン |
| AVMT ? | AV ミュート（ブランク）状態確認 | 10 = 通常画面表示（ブランクオフ）<br>11 = ブランク画面表示（ブランクオン）<br>20 = 消音オフ<br>21 = 消音オン<br>30 = AV ミュートオフ<br>31 = AV ミュートオン |
| ERST? | エラーステータス確認 | 1st byte : ファンエラー<br>2nd byte : ランプエラー<br>3rd byte : 温度エラー<br>4th byte : ランプカバーエラー<br>5th byte : フィルターエラー<br>6th byte : その他のエラー<br>※ 6 byte の回答コードが返されます。回答コードの各エラーステータスは以下の通りです。<br>0 = 正常　1 = 警告　2 = エラー |
| LAMP ? | ランプステータス確認 | 1 データ目 : ランプ使用時間（1 から 5 桁、0 ～ 99999 時間）<br>2 データ目 : 0 = ランプ点灯中、1 = ランプ消灯中 |
| INST ? | 入力端子確認 | 11 12 22 23 31<br>※本機の入力端子が回答されます。 |
| NAME ? | プロジェクターネーム確認 | ※「ネットワーク」メニューの「プロジェクター名」で設定した、本機の名前が回答されます。 |
| INF1 ? | 製造者名 | HITACHI |
| INF2 ? | 機種名確認 | CP-D30N<br>※ご使用のプロジェクターの機種名が回答されます。 |
| INFO ? | その他の情報確認 | ※工場調節などに関する情報が回答されます。 |
| CLSS ? | クラス情報確認 | 1 |

# コマンド制御

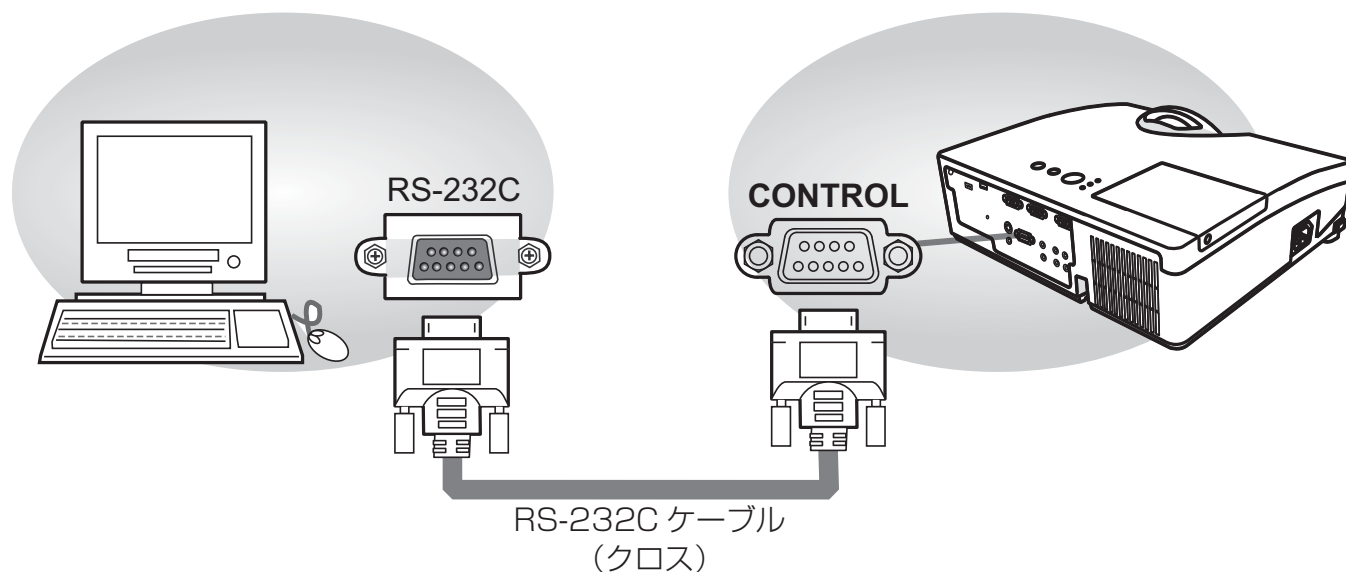
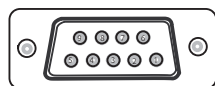
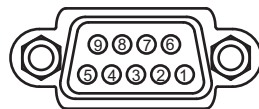
本機を RS-232C 通信または LAN 通信でコンピュータに接続すると、コンピュータから RS-232C コマンドを使用して本機を制御することができます。

LAN 接続については、【ネットワーク編】の「3.7 ネットワークからのコマンド制御」（📖**3-37**）をご覧ください。

RS-232C コマンドの詳細は、本編の「RS-232C/ ネットワークコマンド一覧」（📖**4-15**）をご参照ください。

## RS232C 通信によるコマンド制御

### 機器の接続

1．本機とコンピュータの電源を切ってください。
2．コンピュータの RS-232C 端子と本機の **CONTROL** 端子を、RS-232C( クロス ) ケーブルで接続してください。ケーブルは下図の配線仕様のものをご使用ください。
3．コンピュータの電源を入れ、コンピュータが起動した後に、本機の電源を入れてください。

# 通信設定

## 1. プロトコル

■通信速度：19200bps

■シリアル設定：8N1

## 2. 通信コマンド　("h" は 16 進数を示します。)

| バイト番号 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コマンド／機能 | ヘッダ | | | | | | | データ | | | | | |
| | ヘッダコード | | パケット | データサイズ | | CRCフラグ | | アクション | | タイプ | | セッティング | |
| | L | H | | L | H | L | H | L | H | L | H | L | H |
| **《設定》**設定値 [(cL)(cH)] に基づき、プロジェクターの設定を変更します。 | BEh | EFh | 03h | 06h | 00h | (aL) | (aH) | 01h | 00h | (bL) | (bH) | (cL) | (cH) |
| **《取得》**プロジェクターの、項目 [(bL)(bH)] の設定値を読み出します。 | | | | | | (aL) | (aH) | 02h | 00h | (bL) | (bH) | 00h | 00h |
| **《増加》**プロジェクターの、項目 [(bL)(bH)] の設定値を１増やします。 | | | | | | (aL) | (aH) | 04h | 00h | (bL) | (bH) | 00h | 00h |
| **《減少》**プロジェクターの、項目 [(bL)(bH)] の設定値を１減らします。 | | | | | | (aL) | (aH) | 05h | 00h | (bL) | (bH) | 00h | 00h |
| **《実行》**プロジェクターの、機能 [(bL)(bH)] を実行します。 | | | | | | (aL) | (aH) | 06h | 00h | (bL) | (bH) | 00h | 00h |

**(1) [ ヘッダコード ] [ パケット ] [ データサイズ ]**
バイト番号 0 ～ 4 の 5 バイトには、常に [BEh, EFh, 03h, 06h, 00h] を設定してください。

**(2) [CRC フラグ ]**
バイト番号 5, 6 については、「RS-232C/ ネットワークコマンド一覧」(📖**4-15**) に従ってください。

**(3) [ アクション ]**
バイト番号 7, 8 には、機能別コードを設定してください。
《設定》=[01h, 00h]、《取得》=[02h, 00h]、
《増加》=[04h, 00h]、《減少》=[05h, 00h]、《実行》=[06h, 00h]、
上表をご参照ください。

**(4) [ タイプ ] [ セッティング ]**
バイト番号 9 ～ 12 については、「RS-232C/ ネットワークコマンド一覧」(📖**4-15**) に従ってください。

## 3. 応答コードおよびエラーコード　("h" は 16 進数を示します。)

**(1) 本機の設定を変更する場合《設定》**
コマンドを正常受信すると、[ タイプ ] で指定された項目を [ セッティング ] で指定した値に従って設定し、応答コード [06h] をコンピュータへ返信します。

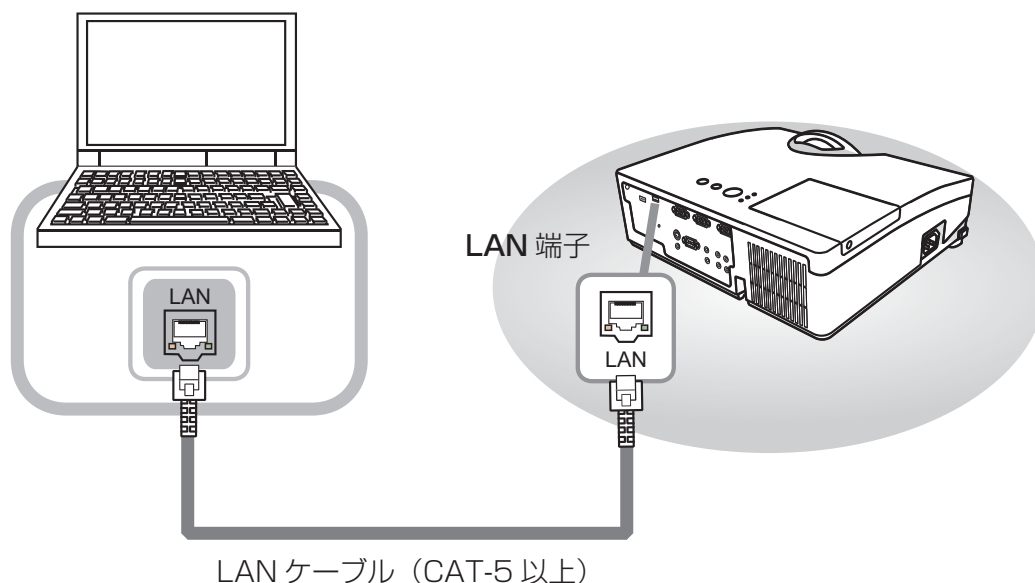
**(2) 本機の状態を問い合わせる場合《取得》**
コマンドを正常受信すると、応答コード [1Dh + ( 回答 2 バイト )] をコンピュータへ返信します。

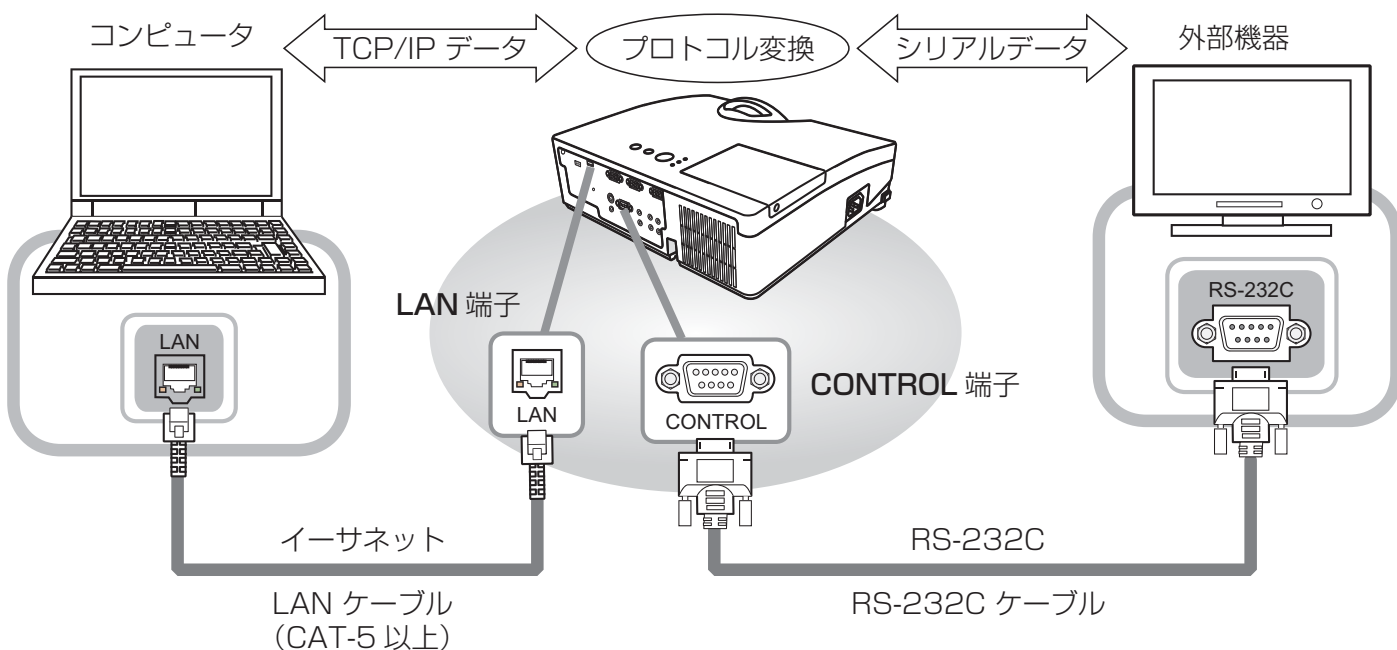
**(3) 本機が受信したコマンドを理解できない場合**
無効なコマンドを受信した場合や、本機がコマンドを正しく受信できなかった場合は、エラーコード [15h] をコンピュータへ返信します。
この場合は、送信したコマンドをご確認のうえ、再度送信してください。

**(4) 本機が受信したコマンドを実行できない場合**
正常なコマンドを受信し、何らかの理由で実行できなかった場合は、
エラーコード [1Ch,00h,00h] をコンピュータへ返信します。
この場合は、送信したコマンドや本機の設定状態をご確認ください。

**お知らせ**

- ●機器の接続については、各機器の説明書をよくお読みの上、適切なケーブルで正しく接続してください。
- ●本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- ●応答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
- ●コマンドの長さが所定より長い場合は余分なコードを無視し、短い場合は、《エラーコード =**15**h》をコンピュータへ送信します。
- ●本機に電源を接続したときやランプ点灯後に、本機からテスト用のデータが出力されますが、故障ではありません。
- ●ウォームアップ中、本機はコマンドを受信できません。

# ネットワークからのコマンド制御

本機をネットワークに接続すると、ネットワークに接続されたコンピュータから RS-232C 通信／ネットワークコマンドを使用して本機を制御することができます。
詳しくは【ネットワーク編】「8．ネットワークからのコマンド制御」（3-37）をご覧ください。

# ネットワークブリッジによるコマンド制御

本機はネットワークブリッジ機能に対応しています。本機と RS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とイーサネット（LAN）通信で接続したコンピュータから、ネットワーク端末と同様に制御することができます。
詳しくは【ネットワーク編】「7．ネットワークブリッジ」（3-40）をご覧ください。

# RS-232C/ ネットワーク コマンド一覧

| 項目名 | オペレーションタイプ | 設定内容 | ヘッダコード | | | CRC フラグ | コマンドデータ アクション | タイプ | セッティングコード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パワー | Set | オフ（スタンバイ） | BE EF | 03 | 06 00 | 2A D3 | 01 00 | 00 60 | 00 00 |
| | | オン | BE EF | 03 | 06 00 | BA D2 | 01 00 | 00 60 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 19 D3 | 02 00 | 00 60 | 00 00 |
| | | | 回答コード data(2 bytes) 例<br>00 00 [ オフ ]　01 00 [ オン ]　02 00 [ 冷却動作中 ] | | | | | | |
| 入力切替 | Set | COMPUTER IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | FE D2 | 01 00 | 00 20 | 00 00 |
| | | COMPUTER IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | 3E D0 | 01 00 | 00 20 | 04 00 |
| | | HDMI | BE EF | 03 | 06 00 | 0E D2 | 01 00 | 00 20 | 03 00 |
| | | S-VIDEO | BE EF | 03 | 06 00 | 9E D3 | 01 00 | 00 20 | 02 00 |
| | | VIDEO | BE EF | 03 | 06 00 | 6E D3 | 01 00 | 00 20 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | CD D2 | 02 00 | 00 20 | 00 00 |
| エラーステータス | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | D9 D8 | 02 00 | 20 60 | 00 00 |
| | | | 回答コード data(2 bytes) 例<br>00 00 [ 正常 ]　01 00 [ ランプカバーエラー ]　02 00 [ ファンエラー ]　03 00 [ ランプエラー ]<br>04 00 [ 温度エラー ]　05 00 [ 吸気エラー ]　07 00 [ 低温エラー ]　08 00 [ フィルターエラー ] | | | | | | |
| 拡大 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 7C D2 | 02 00 | 07 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 1A D2 | 04 00 | 07 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | CB D3 | 05 00 | 07 30 | 00 00 |
| 拡大位置 H | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | C8 D7 | 02 00 | 10 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | AE D7 | 04 00 | 10 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 7F D6 | 05 00 | 10 30 | 00 00 |
| 拡大位置 V | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 34 D6 | 02 00 | 11 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 52 D6 | 04 00 | 11 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 83 D7 | 05 00 | 11 30 | 00 00 |
| 静止 | Set | 通常表示 | BE EF | 03 | 06 00 | 83 D2 | 01 00 | 02 30 | 00 00 |
| | | 静止 | BE EF | 03 | 06 00 | 13 D3 | 01 00 | 02 30 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | B0 D2 | 02 00 | 02 30 | 00 00 |
| 映像モード | Set | ノーマル | BE EF | 03 | 06 00 | 23 F6 | 01 00 | BA 30 | 00 00 |
| | | シネマ | BE EF | 03 | 06 00 | B3 F7 | 01 00 | BA 30 | 01 00 |
| | | ダイナミック | BE EF | 03 | 06 00 | E3 F4 | 01 00 | BA 30 | 04 00 |
| | | 黒板 ( 黒 ) | BE EF | 03 | 06 00 | E3 EF | 01 00 | BA 30 | 20 00 |
| | | 黒板 ( 緑 ) | BE EF | 03 | 06 00 | 73 EE | 01 00 | BA 30 | 21 00 |
| | | ホワイトボード | BE EF | 03 | 06 00 | 83 EE | 01 00 | BA 30 | 22 00 |
| | | デイタイム | BE EF | 03 | 06 00 | E3 C7 | 01 00 | BA 30 | 40 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 10 F6 | 02 00 | BA 30 | 00 00 |
| | | | 回答コード data(2 bytes) 例<br>00 00 [ ノーマル ]　01 00 [ シネマ ]　04 00 [ ダイナミック ]　10 00 [ カスタム ]<br>20 00 [ 黒板（黒）]　21 00 [ 黒板（緑）]　22 00 [ ホワイトボード ]　40 00 [ デイタイム ] | | | | | | |
| 明るさ | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 89 D2 | 02 00 | 03 20 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | EF D2 | 04 00 | 03 20 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 3E D3 | 05 00 | 03 20 | 00 00 |

## RS-232C/ ネットワーク コマンド一覧（つづき）

| 項目名 | オペレーションタイプ | | ヘッダコード | | | | コマンドデータ | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 設定内容 | | | | | CRC フラグ | アクション | タイプ | セッティング コード |
| 明るさ リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 58 D3 | 06 00 | 00 70 | 00 00 |
| コントラスト | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | FD D3 | 02 00 | 04 20 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 9B D3 | 04 00 | 04 20 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 4A D2 | 05 00 | 04 20 | 00 00 |
| コントラスト リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | A4 D2 | 06 00 | 01 70 | 00 00 |
| ガンマ | Set | デフォルト -1 | BE EF | 03 | 06 00 | 07 E9 | 01 00 | A1 30 | 20 00 |
| | | カスタム -1 | BE EF | 03 | 06 00 | 07 FD | 01 00 | A1 30 | 10 00 |
| | | デフォルト -2 | BE EF | 03 | 06 00 | 97 E8 | 01 00 | A1 30 | 21 00 |
| | | カスタム -2 | BE EF | 03 | 06 00 | 97 FC | 01 00 | A1 30 | 11 00 |
| | | デフォルト -3 | BE EF | 03 | 06 00 | 67 E8 | 01 00 | A1 30 | 22 00 |
| | | カスタム -3 | BE EF | 03 | 06 00 | 67 FC | 01 00 | A1 30 | 12 00 |
| | | デフォルト -4 | BE EF | 03 | 06 00 | F7 E9 | 01 00 | A1 30 | 23 00 |
| | | カスタム -4 | BE EF | 03 | 06 00 | F7 FD | 01 00 | A1 30 | 13 00 |
| | | デフォルト -5 | BE EF | 03 | 06 00 | C7 EB | 01 00 | A1 30 | 24 00 |
| | | カスタム -5 | BE EF | 03 | 06 00 | C7 FF | 01 00 | A1 30 | 14 00 |
| | | デフォルト -6 | BE EF | 03 | 06 00 | 57 EA | 01 00 | A1 30 | 25 00 |
| | | カスタム -6 | BE EF | 03 | 06 00 | 57 FE | 01 00 | A1 30 | 15 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | F4 F0 | 02 00 | A1 30 | 00 00 |
| ガンマ カスタム パターン | Set | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | FB FA | 01 00 | 80 30 | 00 00 |
| | | 9 ステップ グレイスケール | BE EF | 03 | 06 00 | 6B FB | 01 00 | 80 30 | 01 00 |
| | | 15 ステップ グレイスケール | BE EF | 03 | 06 00 | 9B FB | 01 00 | 80 30 | 02 00 |
| | | ランプ波形 | BE EF | 03 | 06 00 | 0B FA | 01 00 | 80 30 | 03 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | C8 FA | 02 00 | 80 30 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -1 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 08 FE | 02 00 | 90 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 6E FE | 04 00 | 90 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | BF FF | 05 00 | 90 30 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -1 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 58 C2 | 06 00 | 50 70 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -2 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | F4 FF | 02 00 | 91 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 92 FF | 04 00 | 91 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 43 FE | 05 00 | 91 30 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -2 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | A4 C3 | 06 00 | 51 70 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -3 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | B0 FF | 02 00 | 92 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | D6 FF | 04 00 | 92 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 07 FE | 05 00 | 92 30 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -3 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | E0 C3 | 06 00 | 52 70 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -4 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 4C FE | 02 00 | 93 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 2A FE | 04 00 | 93 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | FB FF | 05 00 | 93 30 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -4 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 1C C2 | 06 00 | 53 70 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -5 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 38 FF | 02 00 | 94 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 5E FF | 04 00 | 94 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 8F FE | 05 00 | 94 30 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -5 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 68 C3 | 06 00 | 54 70 | 00 00 |

| 項目名 | オペレーションタイプ | 設定内容 | ヘッダコード | | | CRCフラグ | アクション | タイプ | セッティングコード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| カスタムガンマ ポイント -6 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | C4 FE | 02 00 | 95 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | A2 FE | 04 00 | 95 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 73 FF | 05 00 | 95 30 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -6 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 94 C2 | 06 00 | 55 70 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -7 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 80 FE | 02 00 | 96 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | E6 FE | 04 00 | 96 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 37 FF | 05 00 | 96 30 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -7 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | D0 C2 | 06 00 | 56 70 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -8 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 7C FF | 02 00 | 97 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 1A FF | 04 00 | 97 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | CB FE | 05 00 | 97 30 | 00 00 |
| カスタムガンマ ポイント -8 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 2C C3 | 06 00 | 57 70 | 00 00 |
| 色温度 | Set | 高 | BE EF | 03 | 06 00 | 0B F5 | 01 00 | B0 30 | 03 00 |
| | | カスタム -1 | BE EF | 03 | 06 00 | CB F8 | 01 00 | B0 30 | 13 00 |
| | | 中 | BE EF | 03 | 06 00 | 9B F4 | 01 00 | B0 30 | 02 00 |
| | | カスタム -2 | BE EF | 03 | 06 00 | 5B F9 | 01 00 | B0 30 | 12 00 |
| | | 低 | BE EF | 03 | 06 00 | 6B F4 | 01 00 | B0 30 | 01 00 |
| | | カスタム -3 | BE EF | 03 | 06 00 | AB F9 | 01 00 | B0 30 | 11 00 |
| | | ハイブライト -1 | BE EF | 03 | 06 00 | 3B F2 | 01 00 | B0 30 | 08 00 |
| | | カスタム -4 | BE EF | 03 | 06 00 | FB FF | 01 00 | B0 30 | 18 00 |
| | | ハイブライト -2 | BE EF | 03 | 06 00 | AB F3 | 01 00 | B0 30 | 09 00 |
| | | カスタム -5 | BE EF | 03 | 06 00 | 6B FE | 01 00 | B0 30 | 19 00 |
| | | ハイブライト -3 | BE EF | 03 | 06 00 | 5B F3 | 01 00 | B0 30 | 0A 00 |
| | | カスタム -6 | BE EF | 03 | 06 00 | 9B FE | 01 00 | B0 30 | 1A 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | C8 F5 | 02 00 | B0 30 | 00 00 |
| 色温度 ゲイン -R | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 34 F4 | 02 00 | B1 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 52 F4 | 04 00 | B1 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 83 F5 | 05 00 | B1 30 | 00 00 |
| 色温度 ゲイン -R リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 10 C6 | 06 00 | 46 70 | 00 00 |
| 色温度 ゲイン -G | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 70 F4 | 02 00 | B2 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 16 F4 | 04 00 | B2 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | C7 F5 | 05 00 | B2 30 | 00 00 |
| 色温度 ゲイン -G リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | EC C7 | 06 00 | 47 70 | 00 00 |
| 色温度 ゲイン -B | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 8C F5 | 02 00 | B3 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | EA F5 | 04 00 | B3 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 3B F4 | 05 00 | B3 30 | 00 00 |
| 色温度ゲイン -B リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | F8 C4 | 06 00 | 48 70 | 00 00 |
| 色温度 オフセット -R | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 04 F5 | 02 00 | B5 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 62 F5 | 04 00 | B5 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | B3 F4 | 05 00 | B5 30 | 00 00 |
| 色温度 オフセット -R リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 40 C5 | 06 00 | 4A 70 | 00 00 |

技術情報編

## RS-232C/ ネットワーク コマンド一覧（つづき）

| 項目名 | オペレーションタイプ | 設定内容 | ヘッダコード | | | CRC フラグ | アクション | タイプ | セッティング コード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 色温度オフセット -G | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 40 F5 | 02 00 | B6 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 26 F5 | 04 00 | B6 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | F7 F4 | 05 00 | B6 30 | 00 00 |
| 色温度オフセット -G リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | BC C4 | 06 00 | 4B 70 | 00 00 |
| 色温度 オフセット -B | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | BC F4 | 02 00 | B7 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | DA F4 | 04 00 | B7 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 0B F5 | 05 00 | B7 30 | 00 00 |
| 色温度 オフセット -B リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | C8 C5 | 06 00 | 4C 70 | 00 00 |
| 色の濃さ | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | B5 72 | 02 00 | 02 22 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | D3 72 | 04 00 | 02 22 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 02 73 | 05 00 | 02 22 | 00 00 |
| 色の濃さ リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 80 D0 | 06 00 | 0A 70 | 00 00 |
| 色あい | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 49 73 | 02 00 | 03 22 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 2F 73 | 04 00 | 03 22 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | FE 72 | 05 00 | 03 22 | 00 00 |
| 色あい リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 7C D1 | 06 00 | 0B 70 | 00 00 |
| 画質 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | F1 72 | 02 00 | 01 22 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 97 72 | 04 00 | 01 22 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 46 73 | 05 00 | 01 22 | 00 00 |
| 画質 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | C4 D0 | 06 00 | 09 70 | 00 00 |
| マイメモリー ロード | Set | 1 | BE EF | 03 | 06 00 | 0E D7 | 01 00 | 14 20 | 00 00 |
| | | 2 | BE EF | 03 | 06 00 | 9E D6 | 01 00 | 14 20 | 01 00 |
| | | 3 | BE EF | 03 | 06 00 | 6E D6 | 01 00 | 14 20 | 02 00 |
| | | 4 | BE EF | 03 | 06 00 | FE D7 | 01 00 | 14 20 | 03 00 |
| マイメモリー セーブ | Set | 1 | BE EF | 03 | 06 00 | F2 D6 | 01 00 | 15 20 | 00 00 |
| | | 2 | BE EF | 03 | 06 00 | 62 D7 | 01 00 | 15 20 | 01 00 |
| | | 3 | BE EF | 03 | 06 00 | 92 D7 | 01 00 | 15 20 | 02 00 |
| | | 4 | BE EF | 03 | 06 00 | 02 D6 | 01 00 | 15 20 | 03 00 |
| アスペクト | Set | 4:3 | BE EF | 03 | 06 00 | 9E D0 | 01 00 | 08 20 | 00 00 |
| | | 16:9 | BE EF | 03 | 06 00 | 0E D1 | 01 00 | 08 20 | 01 00 |
| | | リアル | BE EF | 03 | 06 00 | 5E D7 | 01 00 | 08 20 | 08 00 |
| | | 14:9 | BE EF | 03 | 06 00 | CE D6 | 01 00 | 08 20 | 09 00 |
| | | 16:10 | BE EF | 03 | 06 00 | 3E D6 | 01 00 | 08 20 | 0A 00 |
| | | ノーマル | BE EF | 03 | 06 00 | 5E DD | 01 00 | 08 20 | 10 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | AD D0 | 02 00 | 08 20 | 00 00 |
| オーバースキャン | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 91 70 | 02 00 | 09 22 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | F7 70 | 04 00 | 09 22 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 26 71 | 05 00 | 09 22 | 00 00 |
| オーバースキャン リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | EC D9 | 06 00 | 27 70 | 00 00 |
| 垂直位置 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 0D 83 | 02 00 | 00 21 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 6B 83 | 04 00 | 00 21 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | BA 82 | 05 00 | 00 21 | 00 00 |
| 垂直位置 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | E0 D2 | 06 00 | 02 70 | 00 00 |

| 項目名 | オペレーションタイプ | | ヘッダコード | | | | コマンドデータ | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 設定内容 | | | | | CRC フラグ | アクション | タイプ | セッティング コード |
| 水平位置 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | F1 82 | 02 00 | 01 21 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 97 82 | 04 00 | 01 21 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 46 83 | 05 00 | 01 21 | 00 00 |
| 水平位置 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 1C D3 | 06 00 | 03 70 | 00 00 |
| クロック位相 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 49 83 | 02 00 | 03 21 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 2F 83 | 04 00 | 03 21 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | FE 82 | 05 00 | 03 21 | 00 00 |
| 水平サイズ | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | B5 82 | 02 00 | 02 21 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | D3 82 | 04 00 | 02 21 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 02 83 | 05 00 | 02 21 | 00 00 |
| 水平サイズ リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 68 D2 | 06 00 | 04 70 | 00 00 |
| オートアジャスト 実行 | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 91 D0 | 06 00 | 0A 20 | 00 00 |
| プログレッシブ | Set | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | 4A 72 | 01 00 | 07 22 | 00 00 |
| | | TV | BE EF | 03 | 06 00 | DA 73 | 01 00 | 07 22 | 01 00 |
| | | フィルム | BE EF | 03 | 06 00 | 2A 73 | 01 00 | 07 22 | 02 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 79 72 | 02 00 | 07 22 | 00 00 |
| VIDEO NR | Set | 弱 | BE EF | 03 | 06 00 | 26 72 | 01 00 | 06 22 | 01 00 |
| | | 中 | BE EF | 03 | 06 00 | D6 72 | 01 00 | 06 22 | 02 00 |
| | | 強 | BE EF | 03 | 06 00 | 46 73 | 01 00 | 06 22 | 03 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 85 73 | 02 00 | 06 22 | 00 00 |
| 色空間 | Set | オート | BE EF | 03 | 06 00 | 0E 72 | 01 00 | 04 22 | 00 00 |
| | | RGB | BE EF | 03 | 06 00 | 9E 73 | 01 00 | 04 22 | 01 00 |
| | | SMPTE240 | BE EF | 03 | 06 00 | 6E 73 | 01 00 | 04 22 | 02 00 |
| | | REC709 | BE EF | 03 | 06 00 | FE 72 | 01 00 | 04 22 | 03 00 |
| | | REC601 | BE EF | 03 | 06 00 | CE 70 | 01 00 | 04 22 | 04 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 3D 72 | 02 00 | 04 22 | 00 00 |
| ビデオフォーマット - S-VIDEO | Set | オート | BE EF | 03 | 06 00 | E6 70 | 01 00 | 12 22 | 0A 00 |
| | | NTSC | BE EF | 03 | 06 00 | 86 74 | 01 00 | 12 22 | 04 00 |
| | | PAL | BE EF | 03 | 06 00 | 16 75 | 01 00 | 12 22 | 05 00 |
| | | SECAM | BE EF | 03 | 06 00 | 16 70 | 01 00 | 12 22 | 09 00 |
| | | NTSC4.43 | BE EF | 03 | 06 00 | 26 77 | 01 00 | 12 22 | 02 00 |
| | | M-PAL | BE EF | 03 | 06 00 | 86 71 | 01 00 | 12 22 | 08 00 |
| | | N-PAL | BE EF | 03 | 06 00 | 76 74 | 01 00 | 12 22 | 07 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 75 76 | 02 00 | 12 22 | 00 00 |
| ビデオフォーマット - VIDEO | Set | オート | BE EF | 03 | 06 00 | A2 70 | 01 00 | 11 22 | 0A 00 |
| | | NTSC | BE EF | 03 | 06 00 | C2 74 | 01 00 | 11 22 | 04 00 |
| | | PAL | BE EF | 03 | 06 00 | 52 75 | 01 00 | 11 22 | 05 00 |
| | | SECAM | BE EF | 03 | 06 00 | 52 70 | 01 00 | 11 22 | 09 00 |
| | | NTSC4.43 | BE EF | 03 | 06 00 | 62 77 | 01 00 | 11 22 | 02 00 |
| | | M-PAL | BE EF | 03 | 06 00 | C2 71 | 01 00 | 11 22 | 08 00 |
| | | N-PAL | BE EF | 03 | 06 00 | 32 74 | 01 00 | 11 22 | 07 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 31 76 | 02 00 | 11 22 | 00 00 |
| HDMI フォーマット | Set | オート | BE EF | 03 | 06 00 | BA 77 | 01 00 | 13 22 | 00 00 |
| | | VIDEO | BE EF | 03 | 06 00 | 2A 76 | 01 00 | 13 22 | 01 00 |
| | | COMPUTER | BE EF | 03 | 06 00 | DA 76 | 01 00 | 13 22 | 02 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 89 77 | 02 00 | 13 22 | 00 00 |

## RS-232C/ ネットワーク コマンド一覧（つづき）

| 項目名 | オペレーションタイプ | | ヘッダコード | | | | コマンドデータ | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 設定内容 | | | | | CRC フラグ | アクション | タイプ | セッティング コード |
| HDMI レンジ | Set | オート | BE EF | 03 | 06 00 | 86 D8 | 01 00 | 22 20 | 00 00 |
| | | ノーマル | BE EF | 03 | 06 00 | 16 D9 | 01 00 | 22 20 | 01 00 |
| | | 拡張 | BE EF | 03 | 06 00 | E6 D9 | 01 00 | 22 20 | 02 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | B5 D8 | 02 00 | 22 20 | 00 00 |
| COMPUTER- イン COMPUTER IN1 | Set | オート | BE EF | 03 | 06 00 | CE D6 | 01 00 | 10 20 | 03 00 |
| | | SYNC ON G オフ | BE EF | 03 | 06 00 | 5E D7 | 01 00 | 10 20 | 02 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 0D D6 | 02 00 | 10 20 | 00 00 |
| COMPUTER- イン COMPUTER IN2 | Set | オート | BE EF | 03 | 06 00 | 32 D7 | 01 00 | 11 20 | 03 00 |
| | | SYNC ON G オフ | BE EF | 03 | 06 00 | A2 D6 | 01 00 | 11 20 | 02 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | F1 D7 | 02 00 | 11 20 | 00 00 |
| フレームロック - COMPUTER IN1 | Set | 無効 | BE EF | 03 | 06 00 | 3B C2 | 01 00 | 50 30 | 00 00 |
| | | 有効 | BE EF | 03 | 06 00 | AB C3 | 01 00 | 50 30 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 08 C2 | 02 00 | 50 30 | 00 00 |
| フレームロック - COMPUTER IN2 | Set | 無効 | BE EF | 03 | 06 00 | 0B C3 | 01 00 | 54 30 | 00 00 |
| | | 有効 | BE EF | 03 | 06 00 | 9B C2 | 01 00 | 54 30 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 38 C3 | 02 00 | 54 30 | 00 00 |
| フレームロック - HDMI | Set | 無効 | BE EF | 03 | 06 00 | 7F C2 | 01 00 | 53 30 | 00 00 |
| | | 有効 | BE EF | 03 | 06 00 | EF C3 | 01 00 | 53 30 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 4C C2 | 02 00 | 53 30 | 00 00 |
| 垂直キーストン | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | B9 D3 | 02 00 | 07 20 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | DF D3 | 04 00 | 07 20 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 0E D2 | 05 00 | 07 20 | 00 00 |
| 垂直キーストン リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 08 D0 | 06 00 | 0C 70 | 00 00 |
| エコモード | Set | ノーマル | BE EF | 03 | 06 00 | 3B 23 | 01 00 | 00 33 | 00 00 |
| | | エコ | BE EF | 03 | 06 00 | AB 22 | 01 00 | 00 33 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 08 23 | 02 00 | 00 33 | 00 00 |
| 反転表示 | Set | 通常表示 | BE EF | 03 | 06 00 | C7 D2 | 01 00 | 01 30 | 00 00 |
| | | 左右反転 | BE EF | 03 | 06 00 | 57 D3 | 01 00 | 01 30 | 01 00 |
| | | 上下反転 | BE EF | 03 | 06 00 | A7 D3 | 01 00 | 01 30 | 02 00 |
| | | 上下左右反転 | BE EF | 03 | 06 00 | 37 D2 | 01 00 | 01 30 | 03 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | F4 D2 | 02 00 | 01 30 | 00 00 |
| スタンバイモード | Set | 通常 | BE EF | 03 | 06 00 | D6 D2 | 01 00 | 01 60 | 00 00 |
| | | 節約 | BE EF | 03 | 06 00 | 46 D3 | 01 00 | 01 60 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | E5 D2 | 02 00 | 01 60 | 00 00 |
| モニターアウト - COMPUTER IN1 | Set | COMPUTER IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | 3E F4 | 01 00 | B0 20 | 00 00 |
| | | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | CE B5 | 01 00 | B0 20 | FF 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 0D F4 | 02 00 | B0 20 | 00 00 |
| モニターアウト - COMPUTER IN2 | Set | COMPUTER IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | CE F7 | 01 00 | B4 20 | 04 00 |
| | | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | FE B4 | 01 00 | B4 20 | FF 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 3D F5 | 02 00 | B4 20 | 00 00 |
| モニターアウト - HDMI | Set | COMPUTER IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | 7A F4 | 01 00 | B3 20 | 00 00 |
| | | COMPUTER IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | BA F6 | 01 00 | B3 20 | 04 00 |
| | | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | 8A B5 | 01 00 | B3 20 | FF 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 49 F4 | 02 00 | B3 20 | 00 00 |
| モニターアウト - S-VIDEO | Set | COMPUTER IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | 86 F5 | 01 00 | B2 20 | 00 00 |
| | | COMPUTER IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | 46 F7 | 01 00 | B2 20 | 04 00 |
| | | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | 76 B4 | 01 00 | B2 20 | FF 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | B5 F5 | 02 00 | B2 20 | 00 00 |

| 項目名 | オペレーションタイプ | 設定内容 | ヘッダコード | | | CRC フラグ | コマンドデータ アクション | タイプ | セッティングコード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| モニターアウト - VIDEO | Set | COMPUTER IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | C2 F5 | 01 00 | B1 20 | 00 00 |
| | Set | COMPUTER IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | 02 F7 | 01 00 | B1 20 | 04 00 |
| | Set | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | 32 B4 | 01 00 | B1 20 | FF 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | F1 F5 | 02 00 | B1 20 | 00 00 |
| モニターアウト - スタンバイ | Set | COMPUTER IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | 2A F7 | 01 00 | BF 20 | 00 00 |
| | Set | COMPUTER IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | EA F5 | 01 00 | BF 20 | 04 00 |
| | Set | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | DA B6 | 01 00 | BF 20 | FF 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 19 F7 | 02 00 | BF 20 | 00 00 |
| 音量 -COMPUTER IN1 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | CD CC | 02 00 | 60 20 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | AB CC | 04 00 | 60 20 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 7A CD | 05 00 | 60 20 | 00 00 |
| 音量 -COMPUTER IN2 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | FD CD | 02 00 | 64 20 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 9B CD | 04 00 | 64 20 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 4A CC | 05 00 | 64 20 | 00 00 |
| 音量 -HDMI | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 89 CC | 02 00 | 63 20 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | EF CC | 04 00 | 63 20 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 3E CD | 05 00 | 63 20 | 00 00 |
| 音量 -S-VIDEO | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 75 CD | 02 00 | 62 20 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 13 CD | 04 00 | 62 20 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | C2 CC | 05 00 | 62 20 | 00 00 |
| 音量 -VIDEO | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 31 CD | 02 00 | 61 20 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 57 CD | 04 00 | 61 20 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 86 CC | 05 00 | 61 20 | 00 00 |
| 音量 - オーディオ アウト スタンバイ | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | D9 CF | 02 00 | 6F 20 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | BF CF | 04 00 | 6F 20 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 6E CE | 05 00 | 6F 20 | 00 00 |
| 消音 | Set | 通常 | BE EF | 03 | 06 00 | 46 D3 | 01 00 | 02 20 | 00 00 |
| | Set | 消音 | BE EF | 03 | 06 00 | D6 D2 | 01 00 | 02 20 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 75 D3 | 02 00 | 02 20 | 00 00 |
| スピーカー | Set | オン | BE EF | 03 | 06 00 | FE D4 | 01 00 | 1C 20 | 01 00 |
| | Set | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | 6E D5 | 01 00 | 1C 20 | 00 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 5D D5 | 02 00 | 1C 20 | 00 00 |
| 音声入力設定 COMPUTER IN1 | Set | AUDIO IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | 6E DC | 01 00 | 30 20 | 01 00 |
| | Set | AUDIO IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | 9E DC | 01 00 | 30 20 | 02 00 |
| | Set | AUDIO IN3 | BE EF | 03 | 06 00 | 0E DD | 01 00 | 30 20 | 03 00 |
| | Set | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | FE DD | 01 00 | 30 20 | 00 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | CD DD | 02 00 | 30 20 | 00 00 |
| 音声入力設定 COMPUTER IN2 | Set | AUDIO IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | 5E DD | 01 00 | 34 20 | 01 00 |
| | Set | AUDIO IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | AE DD | 01 00 | 34 20 | 02 00 |
| | Set | AUDIO IN3 | BE EF | 03 | 06 00 | 3E DC | 01 00 | 34 20 | 03 00 |
| | Set | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | CE DC | 01 00 | 34 20 | 00 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | FD DC | 02 00 | 34 20 | 00 00 |
| 音声入力設定 HDMI AUDIO | Set | OFF | BE EF | 03 | 06 00 | BA DD | 01 00 | 33 20 | 00 00 |
| | Set | AUDIO1 | BE EF | 03 | 06 00 | 2A DC | 01 00 | 33 20 | 01 00 |
| | Set | AUDIO2 | BE EF | 03 | 06 00 | DA DC | 01 00 | 33 20 | 02 00 |
| | Set | AUDIO3 | BE EF | 03 | 06 00 | 4A DD | 01 00 | 33 20 | 03 00 |
| | Set | AUDIO_HDMI | BE EF | 03 | 06 00 | 7A C4 | 01 00 | 33 20 | 20 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 89 DD | 02 00 | 33 20 | 00 00 |

| 項目名 | オペレーションタイプ | | ヘッダコード | | | | コマンドデータ | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| | 設定内容 | | | | | CRC フラグ | アクション | タイプ | セッティング コード |
| 音声入力設定 S-VIDEO | Set | AUDIO IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | D6 DD | 01 00 | 32 20 | 01 00 |
| | | AUDIO IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | 26 DD | 01 00 | 32 20 | 02 00 |
| | | AUDIO IN3 | BE EF | 03 | 06 00 | B6 DC | 01 00 | 32 20 | 03 00 |
| | | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | 46 DC | 01 00 | 32 20 | 00 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 75 DC | 02 00 | 32 20 | 00 00 |
| 音声入力設定 VIDEO | Set | AUDIO IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | 92 DD | 01 00 | 31 20 | 01 00 |
| | | AUDIO IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | 62 DD | 01 00 | 31 20 | 02 00 |
| | | AUDIO IN3 | BE EF | 03 | 06 00 | F2 DC | 01 00 | 31 20 | 03 00 |
| | | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | 02 DC | 01 00 | 31 20 | 00 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 31 DC | 02 00 | 31 20 | 00 00 |
| 音声入力設定 オーディオアウト スタンバイ | Set | AUDIO IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | 7A DF | 01 00 | 3F 20 | 01 00 |
| | | AUDIO IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | 8A DF | 01 00 | 3F 20 | 02 00 |
| | | AUDIO IN3 | BE EF | 03 | 06 00 | 1A DE | 01 00 | 3F 20 | 03 00 |
| | | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | EA DE | 01 00 | 3F 20 | 00 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | D9 DE | 02 00 | 3F 20 | 00 00 |
| 音声設定 HDMI | Set | 1 | BE EF | 03 | 06 00 | AE C6 | 01 00 | 40 20 | 01 00 |
| | | 2 | BE EF | 03 | 06 00 | 5E C6 | 01 00 | 40 20 | 02 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 0D C7 | 02 00 | 40 20 | 00 00 |
| 表示言語 * | Set | ENGLISH | BE EF | 03 | 06 00 | F7 D3 | 01 00 | 05 30 | 00 00 |
| | | FRANÇAIS | BE EF | 03 | 06 00 | 67 D2 | 01 00 | 05 30 | 01 00 |
| | | DEUTSCH | BE EF | 03 | 06 00 | 97 D2 | 01 00 | 05 30 | 02 00 |
| | | ESPAÑOL | BE EF | 03 | 06 00 | 07 D3 | 01 00 | 05 30 | 03 00 |
| | | ITALIANO | BE EF | 03 | 06 00 | 37 D1 | 01 00 | 05 30 | 04 00 |
| | | NORSK | BE EF | 03 | 06 00 | A7 D0 | 01 00 | 05 30 | 05 00 |
| | | NEDERLANDS | BE EF | 03 | 06 00 | 57 D0 | 01 00 | 05 30 | 06 00 |
| | | PORTUGUÊS | BE EF | 03 | 06 00 | C7 D1 | 01 00 | 05 30 | 07 00 |
| | | 日本語 | BE EF | 03 | 06 00 | 37 D4 | 01 00 | 05 30 | 08 00 |
| | | 简体中文 | BE EF | 03 | 06 00 | A7 D5 | 01 00 | 05 30 | 09 00 |
| | | 繁體中文 | BE EF | 03 | 06 00 | 37 DE | 01 00 | 05 30 | 10 00 |
| | | 한글 | BE EF | 03 | 06 00 | 57 D5 | 01 00 | 05 30 | 0A 00 |
| | | SVENSKA | BE EF | 03 | 06 00 | C7 D4 | 01 00 | 05 30 | 0B 00 |
| | | Р У ССК И Й | BE EF | 03 | 06 00 | F7 D6 | 01 00 | 05 30 | 0C 00 |
| | | SUOMI | BE EF | 03 | 06 00 | 67 D7 | 01 00 | 05 30 | 0D 00 |
| | | POLSKI | BE EF | 03 | 06 00 | 97 D7 | 01 00 | 05 30 | 0E 00 |
| | | TÜRKÇE | BE EF | 03 | 06 00 | 07 D6 | 01 00 | 05 30 | 0F 00 |
| | | DANSK | BE EF | 03 | 06 00 | A7 DF | 01 00 | 05 30 | 11 00 |
| | | ČESKY | BE EF | 03 | 06 00 | 57 DF | 01 00 | 05 30 | 12 00 |
| | | MAGYAR | BE EF | 03 | 06 00 | C7 DE | 01 00 | 05 30 | 13 00 |
| | | ROMÂNĂ | BE EF | 03 | 06 00 | F7 DC | 01 00 | 05 30 | 14 00 |
| | | SLOVENSKI | BE EF | 03 | 06 00 | 67 DD | 01 00 | 05 30 | 15 00 |

* 上記コマンド表に記載の表示言語で一部サポートされていない場合があります。
詳しくはお手元のプロジェクターの表示言語設定メニューでご確認ください。

| 項目名 | オペレーションタイプ | | ヘッダコード | | | CRC フラグ | コマンドデータ アクション | タイプ | セッティングコード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 設定内容 | | | | | | | | |
| 表示言語 *（つづき） | | HRVATSKI | BE EF | 03 | 06 00 | 97 DD | 01 00 | 05 30 | 16 00 |
| | | ΕΛΛΗΝΙΚΑ | BE EF | 03 | 06 00 | 07 DC | 01 00 | 05 30 | 17 00 |
| | | LIETUVIŲ | BE EF | 03 | 06 00 | F7 D9 | 01 00 | 05 30 | 18 00 |
| | | EESTI | BE EF | 03 | 06 00 | 67 D8 | 01 00 | 05 30 | 19 00 |
| | | LATVIEŠU | BE EF | 03 | 06 00 | 97 D8 | 01 00 | 05 30 | 1A 00 |
| | | ไทย | BE EF | 03 | 06 00 | 07 D9 | 01 00 | 05 30 | 1B 00 |
| | | اللغة العربية | BE EF | 03 | 06 00 | 37 DB | 01 00 | 05 30 | 1C 00 |
| | | فارسی | BE EF | 03 | 06 00 | A7 DA | 01 00 | 05 30 | 1D 00 |
| | | PORTUGUÊS BRA | BE EF | 03 | 06 00 | 57 DA | 01 00 | 05 30 | 1E 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | C4 D3 | 02 00 | 05 30 | 00 00 |
| メニュー水平位置 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 04 D7 | 02 00 | 15 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 62 D7 | 04 00 | 15 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | B3 D6 | 05 00 | 15 30 | 00 00 |
| メニュー水平位置リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | DC C6 | 06 00 | 43 70 | 00 00 |
| メニュー垂直位置 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 40 D7 | 02 00 | 16 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 26 D7 | 04 00 | 16 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | F7 D6 | 05 00 | 16 30 | 00 00 |
| メニュー垂直位置リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | A8 C7 | 06 00 | 44 70 | 00 00 |
| ブランク | Set | マイスクリーン | BE EF | 03 | 06 00 | FB CA | 01 00 | 00 30 | 20 00 |
| | | オリジナル | BE EF | 03 | 06 00 | FB E2 | 01 00 | 00 30 | 40 00 |
| | | 青 | BE EF | 03 | 06 00 | CB D3 | 01 00 | 00 30 | 03 00 |
| | | 白 | BE EF | 03 | 06 00 | 6B D0 | 01 00 | 00 30 | 05 00 |
| | | 黒 | BE EF | 03 | 06 00 | 9B D0 | 01 00 | 00 30 | 06 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 08 D3 | 02 00 | 00 30 | 00 00 |
| ブランク オン / オフ | Set | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | FB D8 | 01 00 | 20 30 | 00 00 |
| | | オン | BE EF | 03 | 06 00 | 6B D9 | 01 00 | 20 30 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | C8 D8 | 02 00 | 20 30 | 00 00 |
| 初期画面 | Set | マイスクリーン | BE EF | 03 | 06 00 | CB CB | 01 00 | 04 30 | 20 00 |
| | | オリジナル | BE EF | 03 | 06 00 | 0B D2 | 01 00 | 04 30 | 00 00 |
| | | 表示しない | BE EF | 03 | 06 00 | 9B D3 | 01 00 | 04 30 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 38 D2 | 02 00 | 04 30 | 00 00 |
| マイスクリーンロック | Set | 無効 | BE EF | 03 | 06 00 | 3B EF | 01 00 | C0 30 | 00 00 |
| | | 有効 | BE EF | 03 | 06 00 | AB EE | 01 00 | C0 30 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 08 EF | 02 00 | C0 30 | 00 00 |
| メッセージ | Set | 表示しない | BE EF | 03 | 06 00 | 8F D6 | 01 00 | 17 30 | 00 00 |
| | | 表示する | BE EF | 03 | 06 00 | 1F D7 | 01 00 | 17 30 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | BC D6 | 02 00 | 17 30 | 00 00 |

* 上記コマンド表に記載の表示言語で一部サポートされていない場合があります。
詳しくはお手元のプロジェクターの表示言語設定メニューでご確認ください。

## RS-232C/ ネットワーク コマンド一覧（つづき）

| 項目名 | オペレーションタイプ | 設定内容 | ヘッダコード | | | CRCフラグ | コマンドデータ アクション | タイプ | セッティングコード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| テンプレート | Set | テストパターン | BE EF | 03 | 06 00 | 43 D9 | 01 00 | 22 30 | 00 00 |
| | | 点線 1 | BE EF | 03 | 06 00 | D3 D8 | 01 00 | 22 30 | 01 00 |
| | | 点線 2 | BE EF | 03 | 06 00 | 23 D8 | 01 00 | 22 30 | 02 00 |
| | | 点線 3 | BE EF | 03 | 06 00 | B3 D9 | 01 00 | 22 30 | 03 00 |
| | | 点線 4 | BE EF | 03 | 06 00 | 83 DB | 01 00 | 22 30 | 04 00 |
| | | 円 1 | BE EF | 03 | 06 00 | 13 DA | 01 00 | 22 30 | 05 00 |
| | | 円 2 | BE EF | 03 | 06 00 | E3 DA | 01 00 | 22 30 | 06 00 |
| | | 地図 1 | BE EF | 03 | 06 00 | 83 D4 | 01 00 | 22 30 | 10 00 |
| | | 地図 2 | BE EF | 03 | 06 00 | 13 D5 | 01 00 | 22 30 | 11 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 70 D9 | 02 00 | 22 30 | 00 00 |
| テンプレート オン / オフ | Set | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | BF D8 | 01 00 | 23 30 | 00 00 |
| | | オン | BE EF | 03 | 06 00 | 2F D9 | 01 00 | 23 30 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 8C D8 | 02 00 | 23 30 | 00 00 |
| C.C. ディスプレイ | Set | 無効 | BE EF | 03 | 06 00 | FA 62 | 01 00 | 00 37 | 00 00 |
| | | 有効 | BE EF | 03 | 06 00 | 6A 63 | 01 00 | 00 37 | 01 00 |
| | | オート | BE EF | 03 | 06 00 | 9A 63 | 01 00 | 00 37 | 02 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | C9 62 | 02 00 | 00 37 | 00 00 |
| C.C. モード | Set | キャプション | BE EF | 03 | 06 00 | 06 63 | 01 00 | 01 37 | 00 00 |
| | | テキスト | BE EF | 03 | 06 00 | 96 62 | 01 00 | 01 37 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 35 63 | 02 00 | 01 37 | 00 00 |
| C.C. チャンネル | Set | 1 | BE EF | 03 | 06 00 | D2 62 | 01 00 | 02 37 | 01 00 |
| | | 2 | BE EF | 03 | 06 00 | 22 62 | 01 00 | 02 37 | 02 00 |
| | | 3 | BE EF | 03 | 06 00 | B2 63 | 01 00 | 02 37 | 03 00 |
| | | 4 | BE EF | 03 | 06 00 | 82 61 | 01 00 | 02 37 | 04 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 71 63 | 02 00 | 02 37 | 00 00 |
| オートサーチ | Set | 無効 | BE EF | 03 | 06 00 | B6 D6 | 01 00 | 16 20 | 00 00 |
| | | 有効 | BE EF | 03 | 06 00 | 26 D7 | 01 00 | 16 20 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 85 D6 | 02 00 | 16 20 | 00 00 |
| ダイレクトパワー オン | Set | 無効 | BE EF | 03 | 06 00 | 3B 89 | 01 00 | 20 31 | 00 00 |
| | | 有効 | BE EF | 03 | 06 00 | AB 88 | 01 00 | 20 31 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 08 89 | 02 00 | 20 31 | 00 00 |
| オートパワーオフ | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 08 86 | 02 00 | 10 31 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 6E 86 | 04 00 | 10 31 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | BF 87 | 05 00 | 10 31 | 00 00 |
| ランプ時間 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | C2 FF | 02 00 | 90 10 | 00 00 |
| ランプ時間 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 58 DC | 06 00 | 30 70 | 00 00 |
| フィルター時間 | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | C2 F0 | 02 00 | A0 10 | 00 00 |
| フィルター時間 リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 98 C6 | 06 00 | 40 70 | 00 00 |

| 項目名 | オペレーションタイプ<br>設定内容 | | ヘッダコード | | | | コマンドデータ | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | CRC フラグ | アクション | タイプ | セッティングコード |
| マイボタン -1 | Set | COMPUTER IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | 3A 33 | 01 00 | 00 36 | 00 00 |
| | | COMPUTER IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | FA 31 | 01 00 | 00 36 | 04 00 |
| | | HDMI | BE EF | 03 | 06 00 | CA 33 | 01 00 | 00 36 | 03 00 |
| | | S-VIDEO | BE EF | 03 | 06 00 | 5A 32 | 01 00 | 00 36 | 02 00 |
| | | VIDEO | BE EF | 03 | 06 00 | AA 32 | 01 00 | 00 36 | 01 00 |
| | | インフォメーション | BE EF | 03 | 06 00 | FA 3E | 01 00 | 00 36 | 10 00 |
| | | マイメモリー | BE EF | 03 | 06 00 | 9A 3F | 01 00 | 00 36 | 12 00 |
| | | 映像モード | BE EF | 03 | 06 00 | 0A 3E | 01 00 | 00 36 | 13 00 |
| | | フィルターリセット | BE EF | 03 | 06 00 | 3A 3C | 01 00 | 00 36 | 14 00 |
| | | マイイメージ | BE EF | 03 | 06 00 | 5A 3D | 01 00 | 00 36 | 16 00 |
| | | AV ミュート | BE EF | 03 | 06 00 | AA 38 | 01 00 | 00 36 | 19 00 |
| | | テンプレート | BE EF | 03 | 06 00 | CA 39 | 01 00 | 00 36 | 1B 00 |
| | | デジタルズーム | BE EF | 03 | 06 00 | FA 3B | 01 00 | 00 36 | 1C 00 |
| | | デジタルシフト | BE EF | 03 | 06 00 | 6A 3A | 01 00 | 00 36 | 1D 00 |
| | | 解像度 | BE EF | 03 | 06 00 | 9A 3A | 01 00 | 00 36 | 1E 00 |
| | | メッセンジャー | BE EF | 03 | 06 00 | AA 29 | 01 00 | 00 36 | 25 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 09 33 | 02 00 | 00 36 | 00 00 |
| マイボタン -2 | Set | COMPUTER IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | C6 32 | 01 00 | 01 36 | 00 00 |
| | | COMPUTER IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | 06 30 | 01 00 | 01 36 | 04 00 |
| | | HDMI | BE EF | 03 | 06 00 | 36 32 | 01 00 | 01 36 | 03 00 |
| | | S-VIDEO | BE EF | 03 | 06 00 | A6 33 | 01 00 | 01 36 | 02 00 |
| | | VIDEO | BE EF | 03 | 06 00 | 56 33 | 01 00 | 01 36 | 01 00 |
| | | インフォメーション | BE EF | 03 | 06 00 | 06 3F | 01 00 | 01 36 | 10 00 |
| | | マイメモリー | BE EF | 03 | 06 00 | 66 3E | 01 00 | 01 36 | 12 00 |
| | | 映像モード | BE EF | 03 | 06 00 | F6 3F | 01 00 | 01 36 | 13 00 |
| | | フィルターリセット | BE EF | 03 | 06 00 | C6 3D | 01 00 | 01 36 | 14 00 |
| | | マイイメージ | BE EF | 03 | 06 00 | A6 3C | 01 00 | 01 36 | 16 00 |
| | | AV ミュート | BE EF | 03 | 06 00 | 56 39 | 01 00 | 01 36 | 19 00 |
| | | テンプレート | BE EF | 03 | 06 00 | 36 38 | 01 00 | 01 36 | 1B 00 |
| | | デジタルズーム | BE EF | 03 | 06 00 | 06 3A | 01 00 | 01 36 | 1C 00 |
| | | デジタルシフト | BE EF | 03 | 06 00 | 96 3B | 01 00 | 01 36 | 1D 00 |
| | | 解像度 | BE EF | 03 | 06 00 | 66 3B | 01 00 | 01 36 | 1E 00 |
| | | メッセンジャー | BE EF | 03 | 06 00 | 56 28 | 01 00 | 01 36 | 25 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | F5 32 | 02 00 | 01 36 | 00 00 |
| マイソース | Set | COMPUTER IN1 | BE EF | 03 | 06 00 | FA 38 | 01 00 | 20 36 | 00 00 |
| | | COMPUTER IN2 | BE EF | 03 | 06 00 | 3A 3A | 01 00 | 20 36 | 04 00 |
| | | HDMI | BE EF | 03 | 06 00 | 0A 38 | 01 00 | 20 36 | 03 00 |
| | | S-VIDEO | BE EF | 03 | 06 00 | 9A 39 | 01 00 | 20 36 | 02 00 |
| | | VIDEO | BE EF | 03 | 06 00 | 6A 39 | 01 00 | 20 36 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | C9 38 | 02 00 | 20 36 | 00 00 |
| リモコン周波数 - 標準 | Set | 無効 | BE EF | 03 | 06 00 | FF 3D | 01 00 | 30 26 | 00 00 |
| | | 有効 | BE EF | 03 | 06 00 | 6F 3C | 01 00 | 30 26 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | CC 3D | 02 00 | 30 26 | 00 00 |
| リモコン周波数 - 高 | Set | 無効 | BE EF | 03 | 06 00 | 03 3C | 01 00 | 31 26 | 00 00 |
| | | 有効 | BE EF | 03 | 06 00 | 93 3D | 01 00 | 31 26 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 30 3C | 02 00 | 31 26 | 00 00 |
| デジタル - ズーム | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | D0 D0 | 02 00 | 0A 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | B6 D0 | 04 00 | 0A 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 67 D1 | 05 00 | 0A 30 | 00 00 |

技術情報編

## RS232C/ ネットワーク コマンド一覧（つづき）

| 項目名 | オペレーションタイプ | | ヘッダコード | | | | コマンドデータ | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 設定内容 | | | | | CRC フラグ | アクション | タイプ | セッティングコード |
| デジタルズーム リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 98 C9 | 06 00 | 70 70 | 00 00 |
| デジタルシフト V | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 2C D1 | 02 00 | 0B 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 4A D1 | 04 00 | 0B 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | 9B D0 | 05 00 | 0B 30 | 00 00 |
| デジタルシフト V リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | A8 C8 | 06 00 | 74 70 | 00 00 |
| デジタルシフト H | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 58 D0 | 02 00 | 0C 30 | 00 00 |
| | Increment | | BE EF | 03 | 06 00 | 3E D0 | 04 00 | 0C 30 | 00 00 |
| | Decrement | | BE EF | 03 | 06 00 | EF D1 | 05 00 | 0C 30 | 00 00 |
| デジタルシフト H リセット | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 54 C9 | 06 00 | 75 70 | 00 00 |
| 画像表示位置 | Set | 上 | BE EF | 03 | 06 00 | 02 D0 | 01 00 | 09 20 | 02 00 |
| | | 中 | BE EF | 03 | 06 00 | 62 D1 | 01 00 | 09 20 | 00 00 |
| | | 下 | BE EF | 03 | 06 00 | F2 D0 | 01 00 | 09 20 | 01 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 51 D1 | 02 00 | 09 20 | 00 00 |
| マイイメージ | Set | オフ | BE EF | 03 | 06 00 | 3A C3 | 01 00 | 00 35 | 00 00 |
| | | 映像 -1 | BE EF | 03 | 06 00 | AA C2 | 01 00 | 00 35 | 01 00 |
| | | 映像 -2 | BE EF | 03 | 06 00 | 5A C2 | 01 00 | 00 35 | 02 00 |
| | | 映像 -3 | BE EF | 03 | 06 00 | CA C3 | 01 00 | 00 35 | 03 00 |
| | | 映像 -4 | BE EF | 03 | 06 00 | FA C1 | 01 00 | 00 35 | 04 00 |
| | Get | | BE EF | 03 | 06 00 | 09 C3 | 02 00 | 00 35 | 00 00 |
| マイイメージ 映像 -1 削除 | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 71 C3 | 06 00 | 01 35 | 00 00 |
| マイイメージ 映像 -2 削除 | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | 35 C3 | 06 00 | 02 35 | 00 00 |
| マイイメージ 映像 -3 削除 | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | C9 C2 | 06 00 | 03 35 | 00 00 |
| マイイメージ 映像 -4 削除 | Execute | | BE EF | 03 | 06 00 | BD C3 | 06 00 | 04 35 | 00 00 |

# 故障かなと思ったら

## ⚠ 警告

電源プラグを
コンセント
から抜け

**●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く**
煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、などの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。その後、煙やにおい、音などが止まったことを確認し、販売店にご連絡ください。

電源プラグを
コンセント
から抜け

**●次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店に相談する**
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
また、**お客様による修理は危険ですので絶対におやめ**ください。
▶内部に異物や液体（金属や水）が入った
▶落とした、強い衝撃をあたえた
▶本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある

ご使用のまえに、必ず「正しくお使いいただくために」(📖**1-2 ～ 11)** をお読みください。
異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、以下の「一括して初期設定にもどす」、「メッセージ表示について」、「インジケータ表示について」、「シャットダウンスイッチを使う」、「故障と間違えやすい現象について」をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口（📖**4-36**）にご相談ください。

## 一括して初期設定にもどす

誤って本機のメニュー設定を行い、元に戻せなくなったときには、一括初期化機能をご使用ください。
「その他」メニューの「特別な設定」－「工場出荷設定」(📖**2-34**）で「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。

**お知らせ**

- ●マイスクリーンパスワード（📖**2-41**）が設定されていない場合は、マイスクリーン画像もクリアされます。
- ●マイスクリーンパスワードが設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。
- ●「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」、「ネットワーク」、「スタンバイモード」および「表示言語」、また「セキュリティ」メニューの各項目は、一括初期化機能では初期化されません。「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」を初期化するには、個別にリセットボタンを押すなどの初期化操作を行ってください。

技術情報編

# メッセージ表示

本機の電源を入れたときに、下表のようなメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたら下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

| メッセージ | 内　容 |
|---|---|
| **信号が入力されていません**<br>＊＊＊ | 入力信号が見つかりません。以下のことをご確認ください。<br>・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？（📖**1-18**）<br>・信号源（DVD、ビデオ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？ |
| **信号は同期範囲外です**<br>＊＊＊<br>**fH ＊＊ kHz fV ＊＊ Hz** | 入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。<br>・入力している信号は本機の仕様（📖**4-2**）に合っていますか？<br>・信号源（DVD、ビデオ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？ |
| **入力信号が不安定です**<br>＊＊＊ | 入力信号の水平又は垂直周波数が安定していません。<br>以下のことをご確認ください。<br>・入力している信号は本機の仕様（📖**4-2**）に合っていますか？<br>・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？（📖**1-18**）<br>・信号源（DVD、ビデオ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？<br>信号入力切替機を介して信号源と本機を接続している場合は、信号源と本機を直接接続してみてください。左記のメッセージが表示されなくなる場合は、ご使用の信号入力切替機の仕様をご確認ください。 |
| **吸気口をチェックしてください** | 本機内部の温度が上がりすぎているか、短時間に大きく上昇、下降した可能性があります。すぐに本機の電源を抜き、20 分以上冷ましてから、以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。<br>・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（📖**1-7,13**）<br>・エアーフィルターは汚れていませんか？（📖**1-37**）<br>・周囲温度が 35℃を超えていませんか？<br>・エアコンなどの風が本機にあたっていませんか？<br>再度電源を入れたときに左記のメッセージがまだ表示される場合は、「その他」メニューの「特別な設定」ー「ファン速度」（📖**2-30**）を「高速」に設定してみてください。 |
| **ご注意**<br>**前回のエアーフィルター交換から**<br>**＊＊＊ 時間経過しました。**<br>**エアーフィルターの交換をお願いします。**<br>**エアーフィルター交換後、**<br>**フィルター時間をリセットしてください。**<br>**詳しくは取扱説明書をご覧ください。** | エアーフィルターのお手入れ時期です。すぐに電源を切って電源プラグを抜きしばらく待って十分冷ましてから、エアーフィルターを掃除または交換（📖**1-37**）してもう一度電源を入れてください。エアーフィルターを掃除または交換したら、「その他」メニューの「フィルター時間」（📖**2-27**）を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。 |
| **操作できないボタンが入力されました。** | 無効なボタンが押されました。<br>ご利用になるボタンを再度確認してください。 |

# インジケータ表示

電源、温度、ランプの各インジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。処置後もインジケータが同様に点灯、点滅したり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は、販売店にご相談ください。

| 電源 | 温度 | ランプ | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 橙色の点灯 | 消　灯 | 消　灯 | 本機はスタンバイ状態です。<br>この状態で電源を入れる（ランプを点灯させる）または電源プラグを抜くことができます。（📖1-26,27） |
| 緑色の点滅 | 消　灯 | 消　灯 | 本機はウォームアップ中です。<br>電源インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。 |
| 緑色の点灯 | 消　灯 | 消　灯 | 本機は通常の動作状態です。 |
| 橙色の点滅 | 消　灯 | 消　灯 | 本機は冷却動作中です。<br>電源インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。 |
| 赤色の点滅 | ー | ー | 不具合が見つかったため、本機は冷却動作中です。<br>電源インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、ランプインジケータおよび温度インジケータの状態により、以下に従って処置してください。 |
| 赤色の点灯<br>または<br>赤色の点滅 | 消　灯 | 赤色の点灯 | ランプが点灯しない、または本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。<br>すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。<br>・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（📖1-7,13）<br>・エアーフィルターは汚れていませんか？（📖1-37）<br>・周囲温度が 35℃を超えていませんか？<br>・ランプは正しく取り付けられていますか？<br>再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、ランプを交換してください。（📖1-35,36） |
| 赤色の点灯<br>または<br>赤色の点滅 | 消　灯 | 赤色の点滅 | ランプまたはランプカバーがはずれているか、取付けが不完全です。<br>すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプまたはランプカバーの取付け状態をご確認（📖1-36）のうえ、もう一度電源を入れてください。 |
| 赤色の点灯<br>または<br>赤色の点滅 | 赤色の点滅 | 消　灯 | 冷却ファンが動作しません。<br>すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。<br>・ファンに異物がはさまったりしていませんか？<br>・本機の周辺に磁気を発生するものがありませんか？ |
| 赤色の点灯<br>または<br>赤色の点滅 | 赤色の点灯 | 消　灯 | 本機内部の温度が上がりすぎているか、短時間に大きく上昇、下降した可能性があります。<br>すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。<br>・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（📖1-7,13）<br>・エアーフィルターは汚れていませんか？（📖1-37）<br>・周囲温度が 35℃を超えていませんか？<br>・エアコンなどの風が本機にあたっていませんか？<br>再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、「その他」メニューの「特別な設定」ー「ファン速度」（📖2-30）を「高速」に設定してみてください。 |

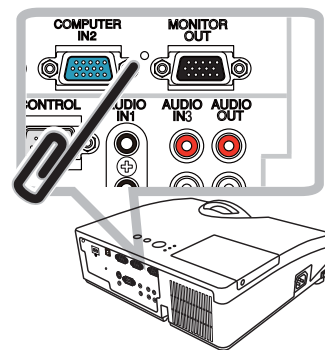
## インジケータ表示について ( つづき )

| 電源 | 温度 | ランプ | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 緑色の点灯 | **ランプインジケータと温度インジケータが同時に赤色の点滅** | | エアーフィルターが汚れている可能性があります。エアーフィルターのお手入れ時期です。<br>すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからエアーフィルターを掃除または交換（**1-37**）し、もう一度電源を入れてください。エアーフィルターを掃除または交換したら、「その他」メニューの「フィルター時間」（**2-27**）を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。 |
| 緑色の点灯 | **ランプインジケータと温度インジケータが交互に赤色の点滅** | | 内部温度が下がりすぎている可能性があります。<br>適切な温度環境（5 ～ 35℃）でご使用ください。本機の電源を切り、周囲の気温をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 |
| **緑色の点滅（約 3 秒間）** | **消　灯** | **消　灯** | 少なくとも 1 つの” 電源オン” スケジュールが本機に保存されています。<br>詳細は（**3-18** ネットワーク編「スケジュール設定」）をご覧ください。 |

**お知らせ**

●内部温度が上がりすぎたり、ランプやランプカバーの取付けが不完全な場合など、本機では安全のため、自動的に電源が切れることがあります。このときインジケータランプも消灯することがありますのでご注意ください。この場合はすぐに電源コードを抜いて、45 分以上待って冷ましてください。ランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。「ランプを交換する」（**1-35,36**）をご覧ください。

# シャットダウンスイッチを使う

内蔵マイコンの誤作動などで、正常な操作で本機の電源を切る (📖1-27) ことができない場合があります。この場合シャットダウンスイッチを押すと本機の動作を終了し、ランプを消灯することができます。
シャットダウンスイッチは、細い棒状のものを差し込んで押してください。
シャットダウンスイッチを押した後は、電源を切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。再起動する場合は、電源プラグを抜いてから 10 分以上待って行ってください。

## お守りください

●シャットダウンスイッチは、正しい手順で電源を切れない場合にだけご使用ください。
シャットダウンスイッチで電源を切ったときは、電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

# 故障と間違えやすい現象について

以下のような現象は故障ではない場合があります。
修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。
処置後も現象が改善しない場合は販売店にご相談ください。

| 現　象 | 確認内容 | 参考頁 |
|---|---|---|
| 電源が入らない | 電源コードは正しく接続されていますか？<br>電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。 | 📖1-24 |
| | 停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか？<br>その場合は電源コードを抜いて 10 分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。 | 📖1-26 |
| | ランプおよびランプカバーは正しく取付けられていますか？<br>すぐに電源コードを抜いて 45 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 | 📖1-27<br>📖1-36 |
| 映像も音声も出ない | 信号ケーブルは正しく接続されていますか？<br>信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 | 📖1-18 |
| | 信号源（DVD、ビデオ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？<br>信号源の電源や設定を確認してください。 | – |
| | 信号が入力されている端子を選んでいますか？<br>映像信号を選択しなおしてください。 | 📖1-29 |
| | AV ミュート機能が働いていませんか？<br>ブランクボタンまたは消音ボタンを押して確認してください。 | 📖1-28,34 |
| 映像は出るが音声が出ない | 音声信号は正しく接続されていますか？<br>信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 | 📖1-18 |
| | 音量が小さく調節されていませんか？<br>音量を調節して大きくしてください。 | 📖1-28 |
| | 音声を消していませんか？<br>消音ボタンまたは音量＋ / －ボタンを押し、音声を復帰させてください。 | 📖1-28 |
| | 音声信号の入力端子および内蔵スピーカーが正しく設定されていますか？「オーディオ」メニューの「スピーカー」、「音声入力設定」の設定を確認してください。 | 📖2-19 |

## 故障と間違えやすい現象について（つづき）

| 現　象 | 確認内容 | 参考頁 |
|---|---|---|
| 映像は出るが<br>音声が出ない<br>（HDMI 選択時） | 接続した HDMI 出力機器のオーディオは Linear PCM に設定されていますか？<br>本機の HDMI 入力は Linear PCM オーディオのみに対応しています。<br>HDMI 出力機器のオーディオ設定を確認してください。 | – |
| | HDMI 入力の「音声入力設定」が消音になっていませんか？<br>「オーディオ」メニューの「音声入力設定」で設定を変えてください。 | 📖2-19 |
| | HDMI 信号のデジタル・オーディオ信号が正常に動作していない可能性があります。<br>RCA オーディオケーブルかステレオミニケーブルを接続して、アナログオーディオ信号を入力して使用してください。 | – |
| | 本機の「HDMI AUDIO」は正しく設定されていますか？<br>「オーディオ」メニューの「HDMI AUDIO」の設定を切り替えてみてください。 | 📖2-19 |
| 音声は出るが映像が<br>出ない | レンズカバーは外れていますか？<br>レンズカバーを外してください | 📖1-12 |
| | 信号ケーブルは正しく接続されていますか？<br>信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 | 📖1-18 |
| | 画面の明るさが極端に暗く調節されていませんか？<br>「映像」メニューの「明るさ」を調節して明るくしてください。 | 📖2-6 |
| | 接続しているコンピュータがプラグ＆プレイ・モニターを検知できますか？<br>他のプラグ･アンド･プレイ･モニターを使用して、コンピュータがプラグ･アンド・プレイ・モニターを検知することができるか確認してください。 | 📖1-20 |
| | ブランク画面になっていませんか？<br>ブランクボタンを押して確認してください。 | 📖1-34 |
| 映像が出ない<br>または<br>映像が乱れる<br>（HDMI 選択時） | 信号ケーブルは正しく接続されていますか？<br>信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 | 📖1-18<br>～ 20 |
| | 本機が対応している HDMI 出力機器を接続していますか？<br>本機は HDMI および DVI 出力機器との接続ができますが、一部の機器では正常に動作しない場合があります。 | 📖1-20 |
| | 本機、および HDMI 出力機器がお互いを認識していない可能性があります。一度、本機及び HDMI 出力機器の電源を切り、再度電源を入れてみてください。 | – |
| | 本機が対応していない HDMI 信号が入力されていませんか？<br>ご使用の HDMI 出力機器の設定をご確認ください。 | 📖1-20 |
| 映像が動かない<br>（静止している） | 静止ボタンで映像を静止させていませんか？<br>静止ボタンを押して確認してください。 | 📖1-34 |
| 色が薄い、<br>色あいが悪い | 色の濃さや色あいが正しく調節されていますか？<br>「映像」メニューの「色の濃さ」、「色あい」を調節してください。 | 📖2-7 |
| | 色空間、信号方式は正しく選択されていますか？<br>「入力」メニューの「色空間」、「ビデオフォーマット」の設定を変更してください。 | 📖2-12,13 |
| 映像が暗い | 画面の明るさやコントラストが暗く設定されていませんか？<br>「映像」メニューの、「明るさ」、「コントラスト」を調節して明るくしてください。 | 📖2-6 |
| | 「エコ」モードが設定されていませんか？<br>「設置メニュー」の「エコ」モードを「ノーマル」モードにしてください。 | 📖2-17 |
| | ランプの寿命は近づいていませんか？<br>ランプを交換してください。 | 📖1-35,36 |

| 現　象 | 確認内容 | 参考頁 |
|---|---|---|
| 映像がぼやける、<br>もやがかかってみえる、<br>映像周辺が明るい | フォーカスは調節されていますか？クロック位相は調節されていますか？<br>フォーカス、および「表示」メニューの「クロック位相」を調節してください。 | 1-31<br>2-10 |
| | レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？<br>レンズをお手入れしてください。 | 1-40 |
| 映像のちらつきが発生する | 「エコ」モードで使用していますか？<br>「エコ」モードでのご使用中には、ちらつきが発生する場合があります。気になる場合は、「設置メニュー」の「エコ」モードを「ノーマル」に設定してご使用ください。 | 2-17 |
| AUDIO OUT 端子から信号が出力されない（スタンバイ時） | 「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されていませんか？<br>「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。 | 2-18 |
| アスペクトがリアルに設定されているとき、画像のサイズが表示領域に一致していなくても画像位置が調整できない。 | 入力された信号の垂直解像度が、デジタルズームで拡大された表示域の垂直解像度と同等以上です。<br>入力された信号の垂直解像度を小さくするか、デジタルズームの調整値を大きくして、入力された信号の垂直解像度が、デジタルズームで拡大された表示域の垂直解像度より小さくなるようにしてください。 | 2-16 |
| MONITOR OUT にも AUDIO OUT にも何も信号が出ない。 | 「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されていませんか？<br>「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。 | 2-18 |
| RS-232C が動かない | | |
| RS-232C が動かない | 通信タイプがネットワークブリッジに設定されています。<br>通信設定メニューの通信タイプの項目をオフに設定してください。 | 2-32 |
| ネットワークが動かない | 「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されていませんか？<br>「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。 | 2-18 |
| ネットワークブリッジが動かない | 通信タイプがオフに設定されています。<br>通信設定メニューの通信タイプの項目をネットワークブリッジに設定してください。 | 2-32 |
| スケジュール機能が動かない | 「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されていませんか？<br>「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。 | 2-18 |
| スケジュール電源コマンドが動かない | エラーが発生しています。本機パネルの電源、温度、ランプ各インジケータの表示を 4-29,30 ページと照合してください。 | 4-29,30 |
| Scheduled Input Source コマンド機能が動かない | セキュリティが有効になっており本機はロックされています。<br>セキュリティのロックを解除してください。 | 2-40 |

| 現　象 | 確認内容 | 参考頁 |
|---|---|---|
| スケジュール画像表示の機能が動かない | ランプが点灯していません。<br>本機がスタンバイモードの場合は、ランプをつけるために、点灯／消灯ボタンを押してください。本機の操作パネルの電源、温度、ランプの各インジケータの表示が異常の場合､その意味する問題（例えば温度エラー､ランプエラー）を 📖4-29,30 ページを参照して解決してください。 | 📖1-26<br>📖4-29,30 |
| | セキュリティが有効になっており本機はロックされています。<br>セキュリティのロックを解除してください。 | 📖2-40 |
| | 表示するイメージデータが本機に保存されていません。<br>イメージデータが指定されたイメージデータ・ストア番号で登録されていません。<br>表示するために本機にイメージデータを保存してください。<br>( ネットワーク編マイイメージ）を参照してください。 | – |
| スケジュール機能でテキストを表示できない | ランプが点灯していません。<br>本機がスタンバイモードの場合は、ランプをつけるために、点灯／消灯ボタンを押してください。本機の操作パネルの電源、温度、ランプの各インジケータの表示が異常の場合、その意味する問題（例えば温度エラー、ランプエラー）を（📖4-29,30）を参照して解決してください。 | 📖1-26<br>📖4-29,30 |
| | 表示するテキストデータが本機に保存されていません。<br>テキストデータが指定されたテキストデータ・ストア番号で登録されていません。<br>表示するために本機にテキストデータを保存してください。<br>( 📖3-33 ネットワーク編マイイメージ）を参照してください。 | – |
| | 優先度の高いテキストデータを表示しています。<br>本機は、優先度の高いテキストデータを表示するために、強制的にランプをつけます。<br>スケジュール機能によるテキストは、優先度の高いテキストデータを表示するために表示されないことがあります。 | – |

**お知らせ**

- ●画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- ●静止画、動きの少ない映像や液晶パネルの仕様と異なる縦横比（16：10 など）の映像を長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて残像が残ることがあります。この場合は白画面（白い無地の映像）を 1 時間以上投映し続けるか､または電源を切って数時間放置してください。白画面表示には、ブランク機能（📖1-34）をご利用ください。

# 保証とアフターサービスについて(必ずお読みください。)

## 修理を依頼されるときは

### (出張修理)

「故障かなと思ったら」(📖4-27 ～ 34) に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

**保証書**

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後大切に保管してください。
保証期間については保証書をご覧ください。

**ご不明な点や修理に関するご相談は**

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

**補修用性能部品保有期間**

補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後 6 年です。

**保証期間中は**

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

**保証期間が過ぎているときは**

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

**ご連絡していただきたい内容**

| 品　　名 | 液晶プロジェクター |
|---|---|
| 本体形名 | CP-D30NJ（CP-D30N） |
| お買上げ日 | 年　　月　　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| 梱包材の有無 | 輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。 |
| ご　住　所 | 付近の目印なども合わせてお知らせください。 |
| お　名　前 | |
| 電話番号 | |
| 訪問ご希望日 | |

**修理料金のしくみ**

| | |
|---|---|
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。 |

＋

| | |
|---|---|
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。 |

＋

| | |
|---|---|
| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。 |

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

| ご購入店名 | ご購入年月日 |
|---|---|
| 電話（　　） | 年　　月　　日 |

## 長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

**愛情点検**

**このような症状はありませんか**

- ●電源を入れても映像が出ない。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源を切っても、映像が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。
- ●ランプが破裂した。

**ご使用中止**

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

技術情報編

# お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

**修理などアフターサービスに関するご相談は**
**TEL 0120-3121-68**
**FAX 0120-3121-87**
(受付時間) 365日/9:00～19:00

**商品情報やお取り扱いについてのご相談は**
**TEL 0120-3121-19**
**FAX 0120-3121-34**
(受付時間) 9:00～17:30/携帯電話、PHSからもご利用できます。(日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。)

●本窓口等で取得致しましたお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
※弊社の「個人情報保護に関して」は、下記をご参照ください。
URL http://www.hitachi-ce.co.jp/privacy/index.html



**日立コンシューマエレクトロニクス株式会社**
**ソリューションビジネス事業部**

〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地

Printed in China